4CH
フルハイビジョンレコーダー(AHD)

取扱説明書

NS-6043AHR

NS-M6043AHR

日本セキュリティー機器販売

Ver.201912

※インターネット経由でご使用の場合、心ない第三者にアクセスをされる恐れがあります。
ネットワークに接続してご使用の方は、以下の設定を必ず行ってください。

■パスワード変更方法

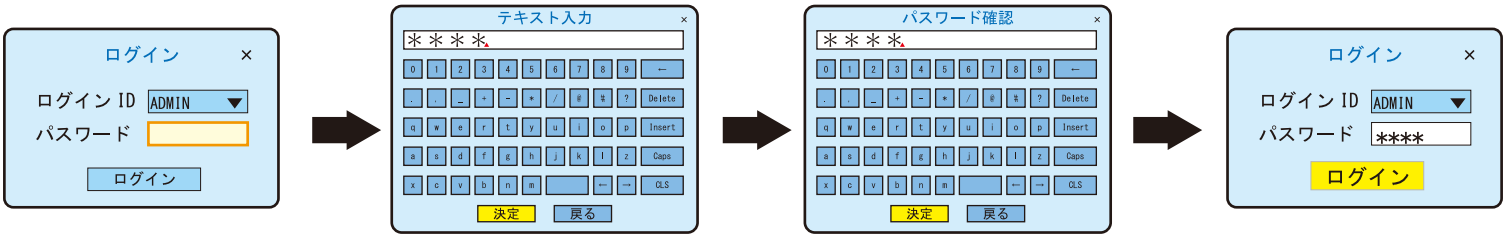
①はじめにログインします

リモコン「Menu」ボタンを押してログイン画面を呼出します。

下図のようにパスワードを入力した後、ログインします。

※パスワード初期値は、「0000」（ゼロ 4 回）です。

※マウス操作であれば右クリックでログイン画面を呼出します。



②メインメニューを呼出して基本設定を選択します

リモコン「Menu」ボタンを押してメインメニューを呼出します。

基本設定アイコンを選択して基本設定画面へ進みます。

③システムからパスワードを変更します

「システム」内にある「使用者」を確認します。下図のように「パスワード」が表示されているので、「＊＊＊＊」を任意の値に変更します。（必ず数字を入力してください。空白にはしないでください。）また、確認のためにもう一度同じパスワードを入力しなければいけません。

※パスワードは ”数字 1 ～ 8 桁 ” の範囲で設定することができます。▲は、カーソル位置になります。← で消すと新しい数字を入力できます。

― 基本設定画面 ―

システム	画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　① システム　終了
ビデオタイプ 設定ファイル管理 時刻管理 ② システム ID/ キーボード ▶使用者 アップグレード 再起動 システム電源オフ	使用者　ADMIN 使用者名　ADMIN ③ パスワード　**** 設定権限　☑ DVR 操作権限　録画　再生　バックアップ　PTZ ネットワーク　☑ 映像可能 CH(DVR)　1　2 映像可能 CH(NET)　1　2 スタートログイン　オフ 自動ログアウト　オフ　05　(分)　映像表示検索　オフ ④ 決定 ○　戻る ×

「決定」を選択して設定を反映させます。

リモコン「Menu」ボタンで、前の画面に戻ることができます。

目次

P2…パスワード変更方法
P3…目次
P5…接続前にお読みください

P6…1. 製品概要
1.1. 製品の内容物のチェック

P7…2. 各部名称
2.1. フロントパネル
P8…2.2. バックパネル

P9…3.DVR の制御
3.1. 操作用リモコン・基本説明
P10…3.2. リモコンの主な機能
3.2.1. シーケンスモードボタン (SEQ)
3.2.2. ピクチャーインピクチャー (PIP)
3.2.3. メニューボタン (Menu)
3.2.4. スポットボタン (SPOT)
3.2.5. 上下左右移動 / 決定ボタン (ENTER)
3.2.6. 録画停止ボタン (■)
3.2.7. 録画検索ボタン (Search)

P11…4. 操作方法
4.1. はじめの手順 (電源の入れ方 / ログイン)
マウスの使い方
P12…4.2. 画面に表示されるアイコンについて
P13…4.3. 再生中のアイコンについて
P14…4.4. 設定を変更した場合の保存方法

P15…5. メニュー
5.1. 基本設定
P16…5.1.1. 画面設定
5.1.1.1.OSD 表示 (1)(2)
P18…5.1.1.2. シーケンシャル
P18…5.1.1.3. モニター解像度

P19…5.1.2. カメラ
5.1.2.1. 基本設定 (カメラ)
P20…5.1.2.2. プライバシーゾーン設定
5.1.2.3.PTZ
P21…DVR でカメラの OSD メニュー操作をするには
P22…5.1.2.4. プリセット
P23…5.1.2.5. スキャン
P24…5.1.2.6. カラー
5.1.2.7.POS(使用しません)

PTZ の画面上のコントローラーについて

P25…5.1.3. 録画
5.1.3.1. 録画設定

P25… 録画時間の目安

P26…5.1.3.2. スケジュール
P27…5.1.3.3. その他 (録画)

P28…5.1.4. イベント
5.1.4.1. モーション
P29…5.1.4.2. センサー
P30…5.1.4.3. ビデオロス
5.1.4.4. 保存装置エラー
5.1.4.5. 録画停止
P31…5.1.4.6.E メール
5.1.4.7.FTP
P32…5.1.4.8. イベントスケジュール
P33…5.1.4.9. その他 (イベント)

P34…5.1.5. デバイス管理
5.1.5.1.HDD フォーマット
P35…5.1.5.2.HDD スマート
P36…5.1.5.3. デバイス設定

P37…5.1.6. ネットワーク
5.1.6.1. 設定
P38…5.1.6.2.DDNS Proeye2 設定メモ欄
P39…5.1.6.3. サブストリーミング
5.1.6.4.QR コード
5.1.6.5.WiFi

P40…5.1.7. システム
5.1.7.1. ビデオタイプ
P41…5.1.7.2.CONFIG ファイル管理
P42…5.1.7.3. 時刻管理
P43…5.1.7.4. システム ID/ キーボード
P44…5.1.7.5. 使用者
P45…5.1.7.6. アップグレード
P46…5.1.7.7. 再起動
5.1.7.8. システム電源 OFF

P47…5.2. 映像検索
5.2.1. 検索
5.2.1.1. 時間検索
P48…5.2.1.2. イベント検索
P49…5.2.1.3. パノラマ
P50…5.2.1.4. ブックマーク
5.2.1.5. バックアップ

P51…5.3. 音量設定

P51…5.4. スポット (本機にこの機能はありません。)

P52…5.5. バックアップ (1) バックアップ設定
P53…5.5. バックアップ (2) パスワード確認
P54…5.5. バックアップ (3) ブックマーク機能
P55…5.5. バックアップ (4) 専用ソフトでの再生 1
P56…5.5. バックアップ (5) 専用ソフトでの再生 2

P57…5.6. ログ表示

P58…5.7. 録画

P58…5.8.OSD 表示切替

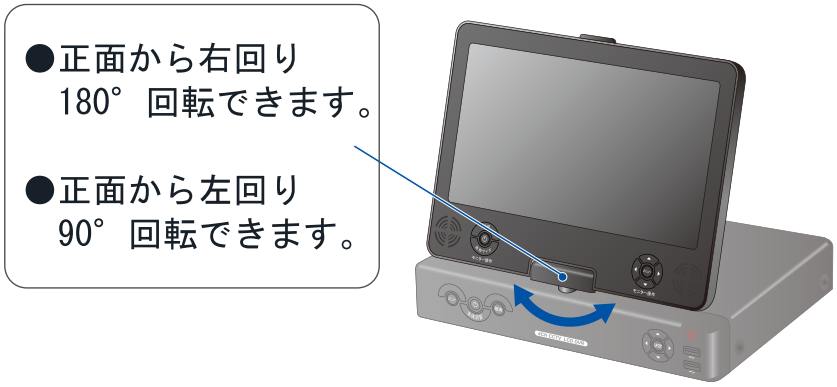
P58…5.9. ログアウト

※バージョンによって記載の内容と違うことがあります。ご了承ください。また、イラストは全てイメージです。

モニター付きレコーダーをお使いのお客様へ

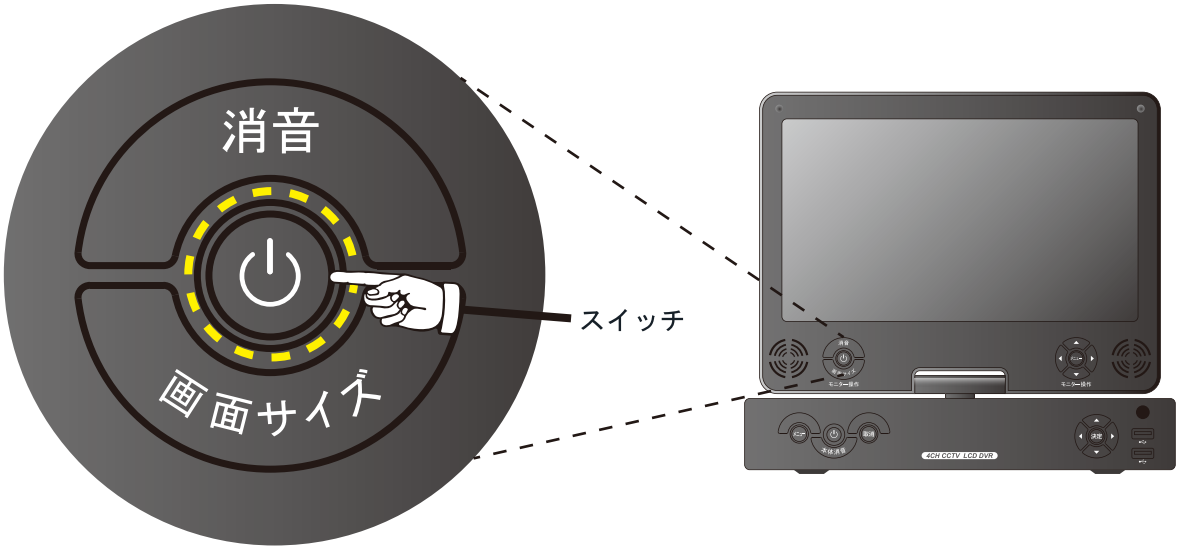
◆モニター角度調整

モニターを見やすい角度に調整します。
力を入れ過ぎないように慎重に行なってください。



◆モニター電源 ON/OF

モニターを連続使用すると早期劣化の原因となります。
モニターの電源は、こまめにお切りください。



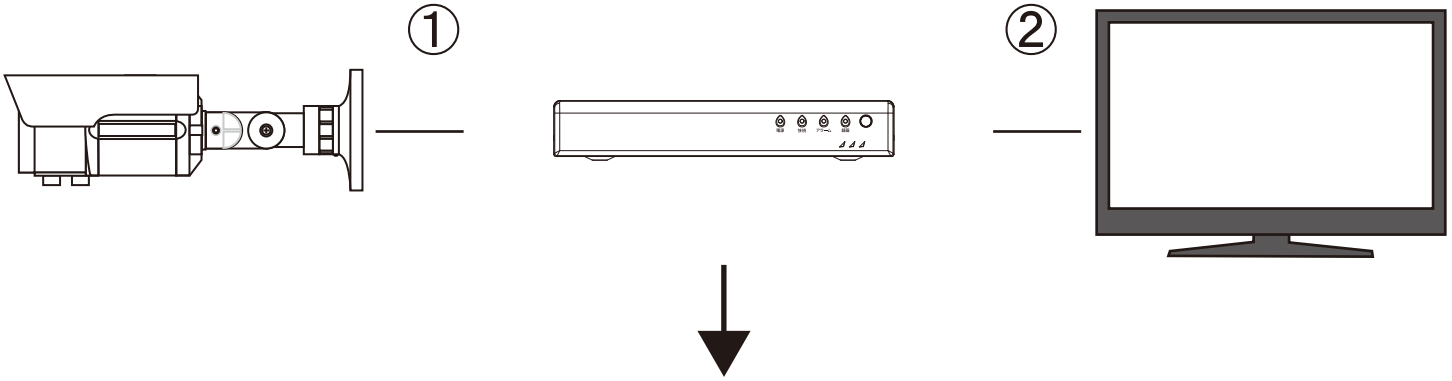
※接続前にお読みください※

本機の電源を入れる前に!!

①本機に、記録媒体（SD カード/SATA-HDD）を挿入（接続）してください。

②「カメラ」と「本機」を接続します。

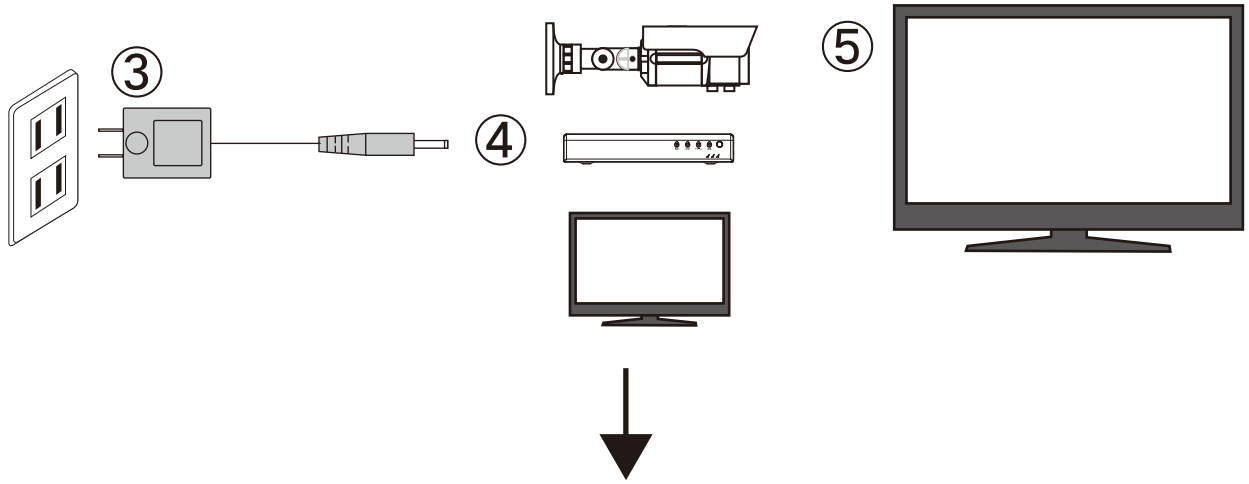
③HDMI ケーブル等で「本機」と「モニター（電源はオフの状態）」を接続してください。



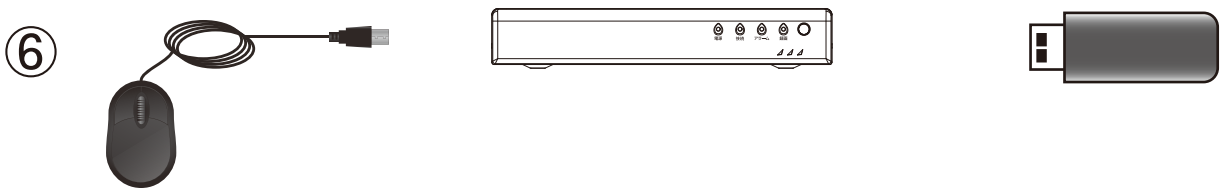
③「カメラ」、「本機」、「モニター」それぞれの AC アダプターをコンセントにさします。

④続いて「カメラ」、「本機」、「モニター」の順番で、それぞれの本体に DC ジャック（DC 端子）をさします。

⑤「モニター」の電源を入れます。



⑥電源が入っていることを確認して、最後に USB マウスや USB メモリを「本機」に接続してください。本機が自動的に検出します。



※この方法でも、USB マウスが正しく動作しない場合は、購入先にお問い合わせください。

※イラストは全てイメージです。

1. 製品概要

1.1. 製品の内容物のチェック

製品の箱を最初に開いた時は、次のすべての内容物があるかチェックしてください。

これらの内容物のいずれかが欠落または破損している場合、製品を使用する前に直ちに購入元にお問い合わせ下さい。

□ DVR

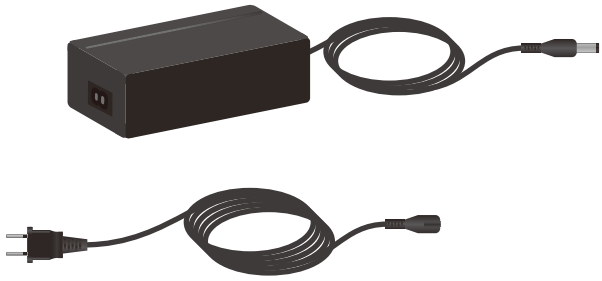
NS-M6043AHR

NS-6043AHR

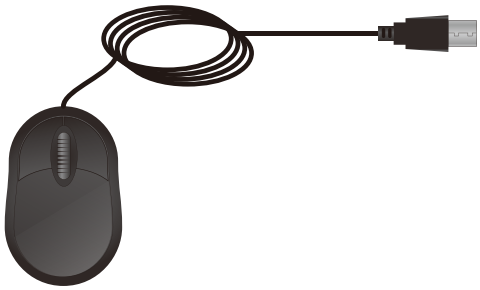
□ リモコン

□ 電源アダプターと電源ケーブル

DC12V/3.3A



□ マウス



□ ソフトウェア / ユーザーマニュアル CD

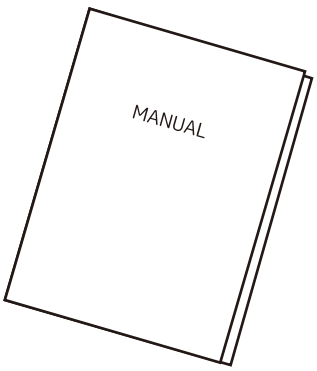
□ シール

同封されている型番の記載されたシールを、レコーダーの任意の場所に貼ってください。

Model No：**NS-OOOOO**

※修理や問い合わせの際に必要となります。

□ ユーザーマニュアル

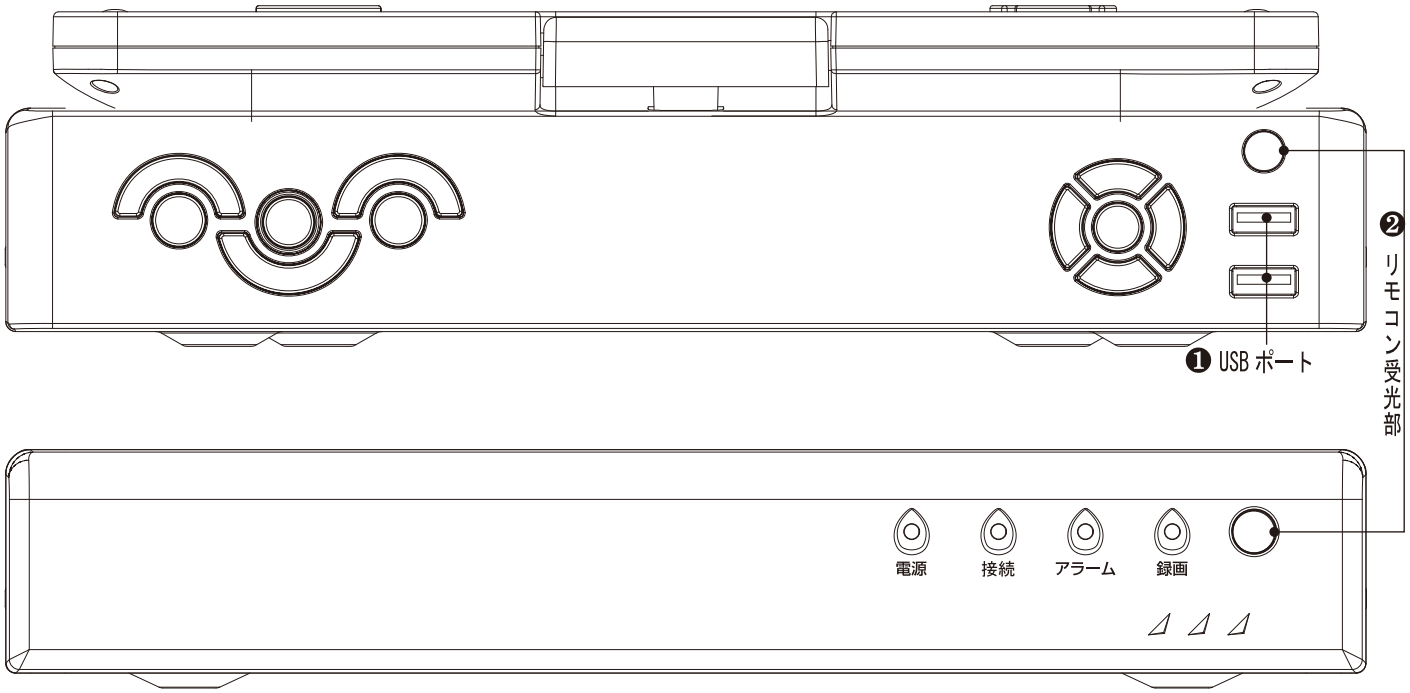


□ 型番の記載されたシール…レコーダーの任意の場所に貼ってください。

Model No：**NS-OOOOO**

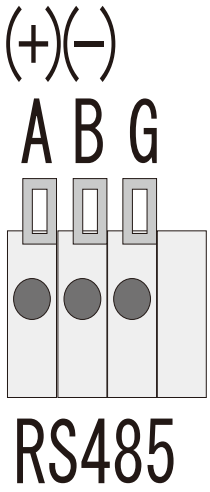
2. 各部名称

2.1. フロントパネル（上段：NS-M6043AHR/ 下段：NS-6043AHR）

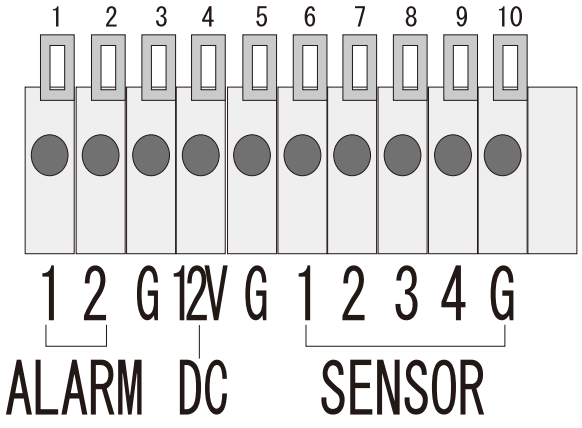


番号	名　称	機　能
❶	USB ポート	USB デバイスを接続（二か所）
❷	リモコン受光部	リモコンを受光します。塞がないでください。

次頁⑨拡大図



次頁⑩拡大図



- ALARM の耐電圧は AC120V　DC24V
- 3,5,10 の G は共通
- 12V は AC アダプター直結（MAX1.5A）

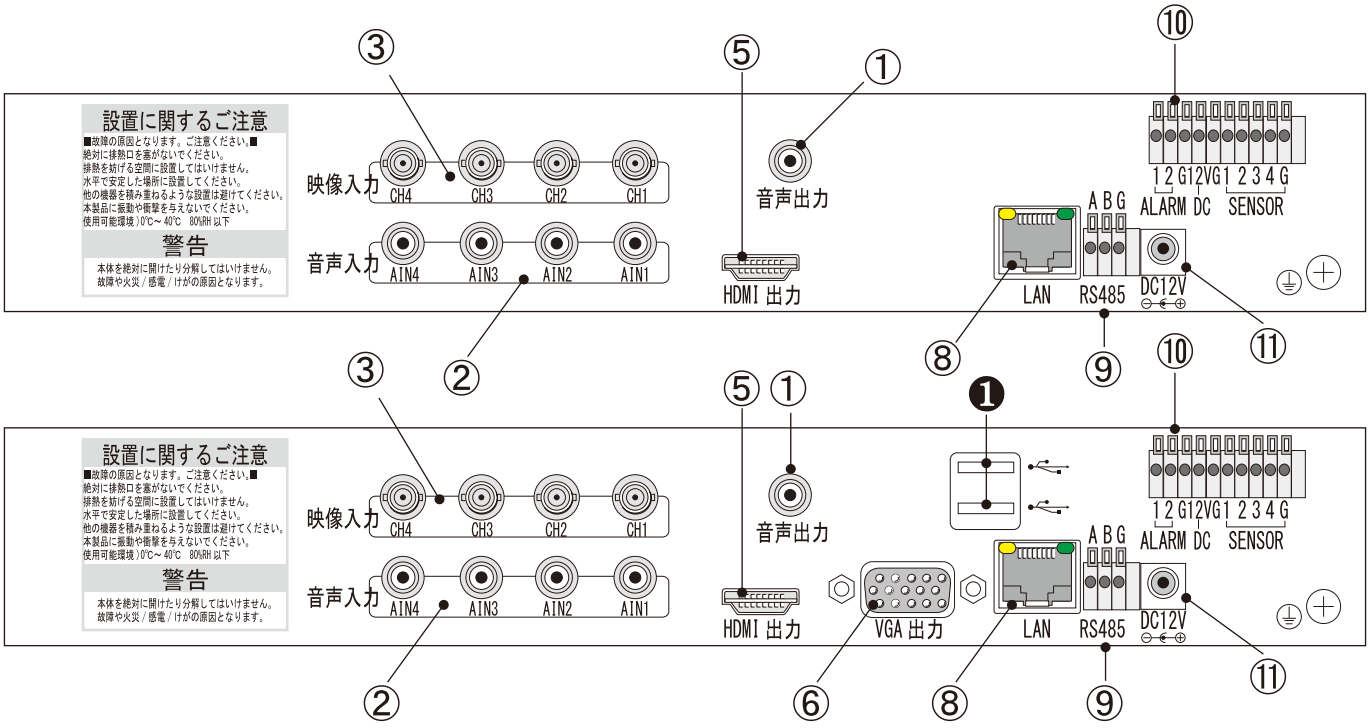
アラーム接続箇所
- ALARM1 と ALARM2 に接続してください

センサー接続箇所
- SENSOR1 ～ 4 と G（グランド）に接続してください。

※イラストは全てイメージです。

2. 各部名称

2.2. バックパネル（上段：NS-M6043AHR/ 下段：NS-6043AHR）

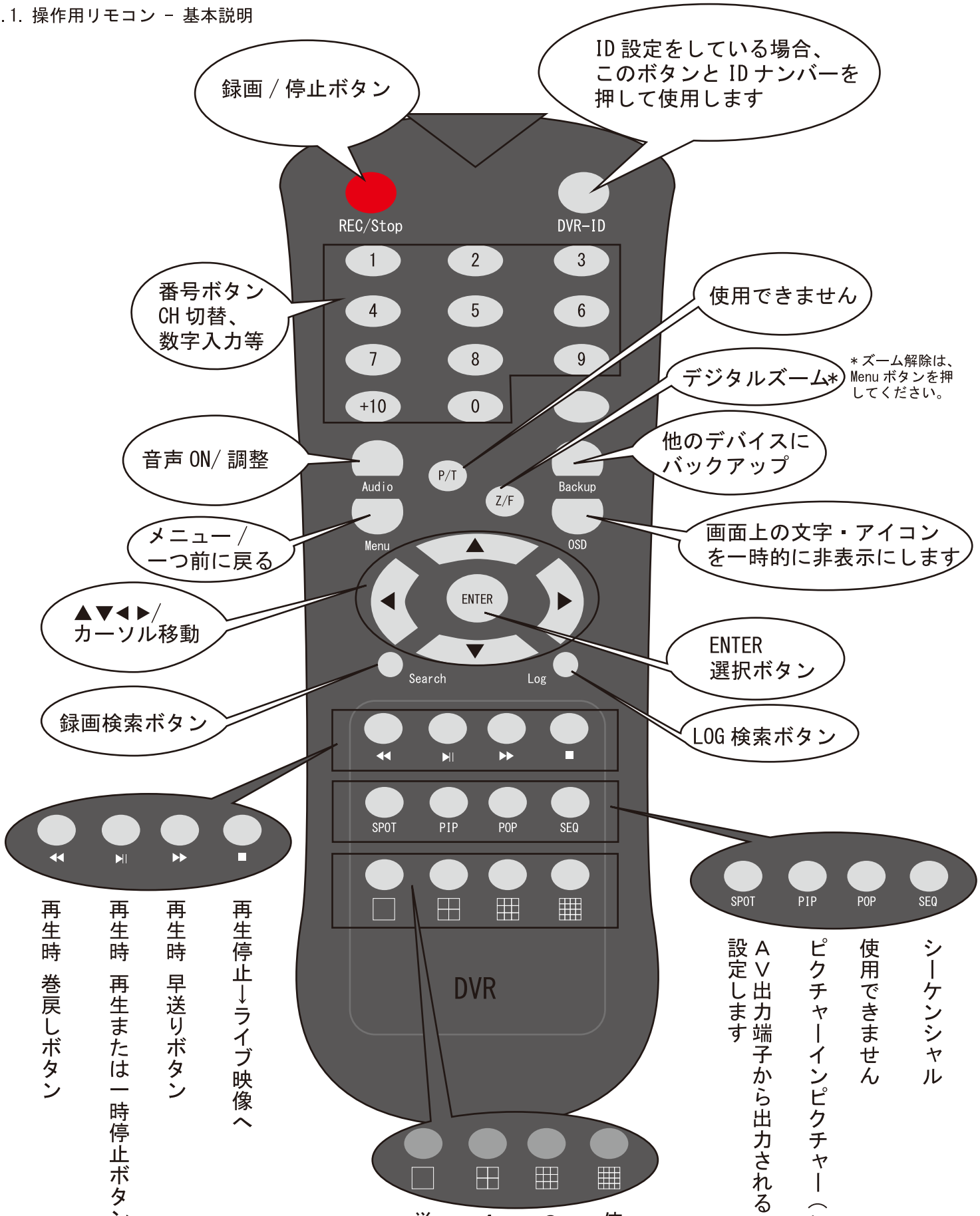


番号	名　称	機　能
①	音声出力（RCA）	音声出力装置との接続（主にモニターの音声入力へ接続）
②	音声入力（RCA）	音声入力装置との接続（音声付カメラの音声端子等と接続）
③	映像入力（BNC）	カメラからの映像線を接続する端子
④	欠番	
⑤	HDMI 出力	HDMI 端子ポートへ接続
⑥	VGA 出力	（NS-6043AHR のみ）VGA 端子（Dsub-15Pin）ポートへ接続
⑦	欠番	
⑧	LAN	LAN
⑨	RS485	S-485 通信　A(+)、B(-)、G（グランド） センサー類の入出力端子（⑨拡大図参照）
⑩	ALARM	アラーム出力
	DC12V	最大 0.7A
	SENSOR	センサー入力
		⑩拡大図を参考に接続してください。
⑪	DC12V	電源アダプターの接続

※イラストは全てイメージです。

3. DVR の制御

3.1. 操作用リモコン – 基本説明



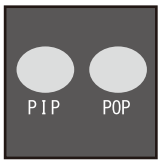
3.DVR の制御

3.2. リモコンの主な機能

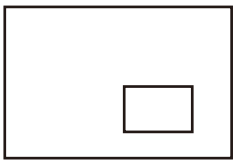
3.2.1. シーケンスモードボタン

リモコンの [SEQ] ボタンを押すと、画面は、自動的に切り替わっていきます。(シーケンシャル解除は、リモコンの ボタンを押してください。)
「基本設定」→「画面設定」→「シーケンシャル」の「ライブ画面切替」で、表示の順番や表示時間の設定ができます。

3.2.2. ピクチャーインピクチャー (PIP 解除は、単画面切替ボタンを押してください。)



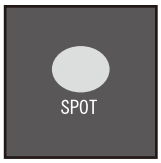
PIP:



3.2.3. メニューボタン

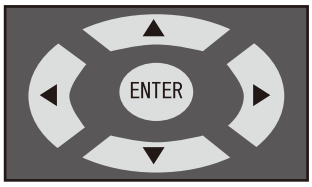
メニュー画面を表示する時や、戻る時などに使用します。

3.2.4. スポットボタン



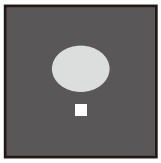
使用しません。

3.2.5. 上下左右移動 / 決定ボタン



◄: 左に移動します。
▲: 上に移動します。
►: 右に移動します。
▼: 下に移動します。
ENTER: 決定をする時に押します。

3.2.6. 録画停止ボタン



再生中の映像をライブ映像に戻すためのボタンです。

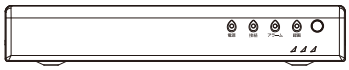
3.2.7. 録画検索ボタン

一押しで録画検索画面になるボタンです。

4. 操作方法

4.1. はじめの手順

・電源をオンにします。(P5 を参照してください。)



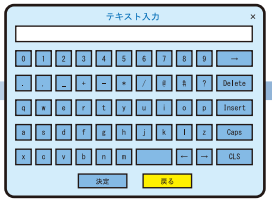
・ログインします。

電源を入れると本機はログイン ID とパスワードを要求します。

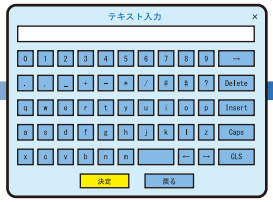
初めて DVR を起動した時は、ログイン ID に ADMIN、パスワード 「0, 0, 0, 0」を入力してください。

それ以降は、設定によります。(使用者のページでパスワード変更したり、自動ログアウトをオフに設定した場合)

①枠内が薄く黄色くなっていることを確認して、リモコンの [Enter] ボタン、もしくは、マウスを左クリックします。



②仮想テンキーや、リモコンの数字ボタンを使って「0, 0, 0, 0」を入力します。



③「決定」を選択しリモコンの [Enter] ボタンを押します。または、マウスで「決定」を左クリックします。

④「ログイン」を選択しリモコンの [Enter] ボタンを押します。または、マウスで「ログイン」を左クリックします。

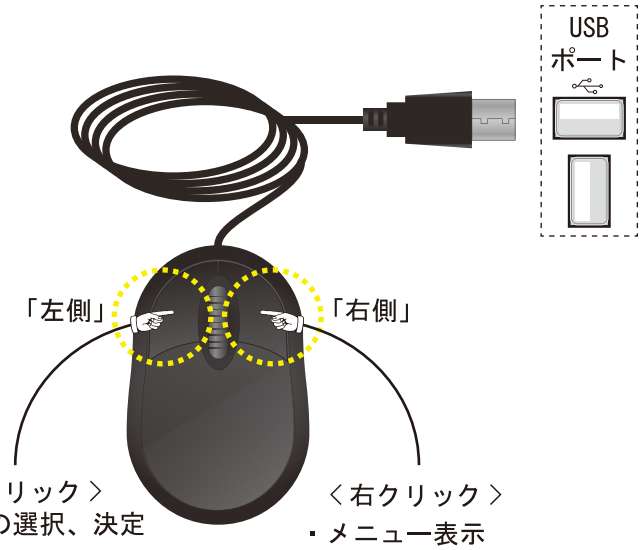
・メニューを表示します。

リモコンの [Menu] ボタンを押します。

または、マウスを右クリックすると、メニューアイコンが表示されます。

〈マウスの使い方〉

マウスはケーブル側を上にして使用します。
本機の USB ポートに、上下左右を間違えないよう接続します。
(本機の前面、背面どちらのポートでも接続できます。)
マウスは、右図の左側の を指で押すと「クリック」、
右側の を指で押すと「右クリック」になります。
ライブモード時にマウスを右クリックすると、メインメニューを表示することができます。(ログイン画面が表示された場合は、上記方法に従ってログインしてください。)
メニューの項目を選択する場合は、マウスをクリック(左側)してください。
また、現在表示中のメニューから出る場合は、マウスを右クリックします。その場合、1 度でも変更操作があった場合に、「変更」の確認をしてきます。
※詳細は「設定を保存する場合」をご覧ください。



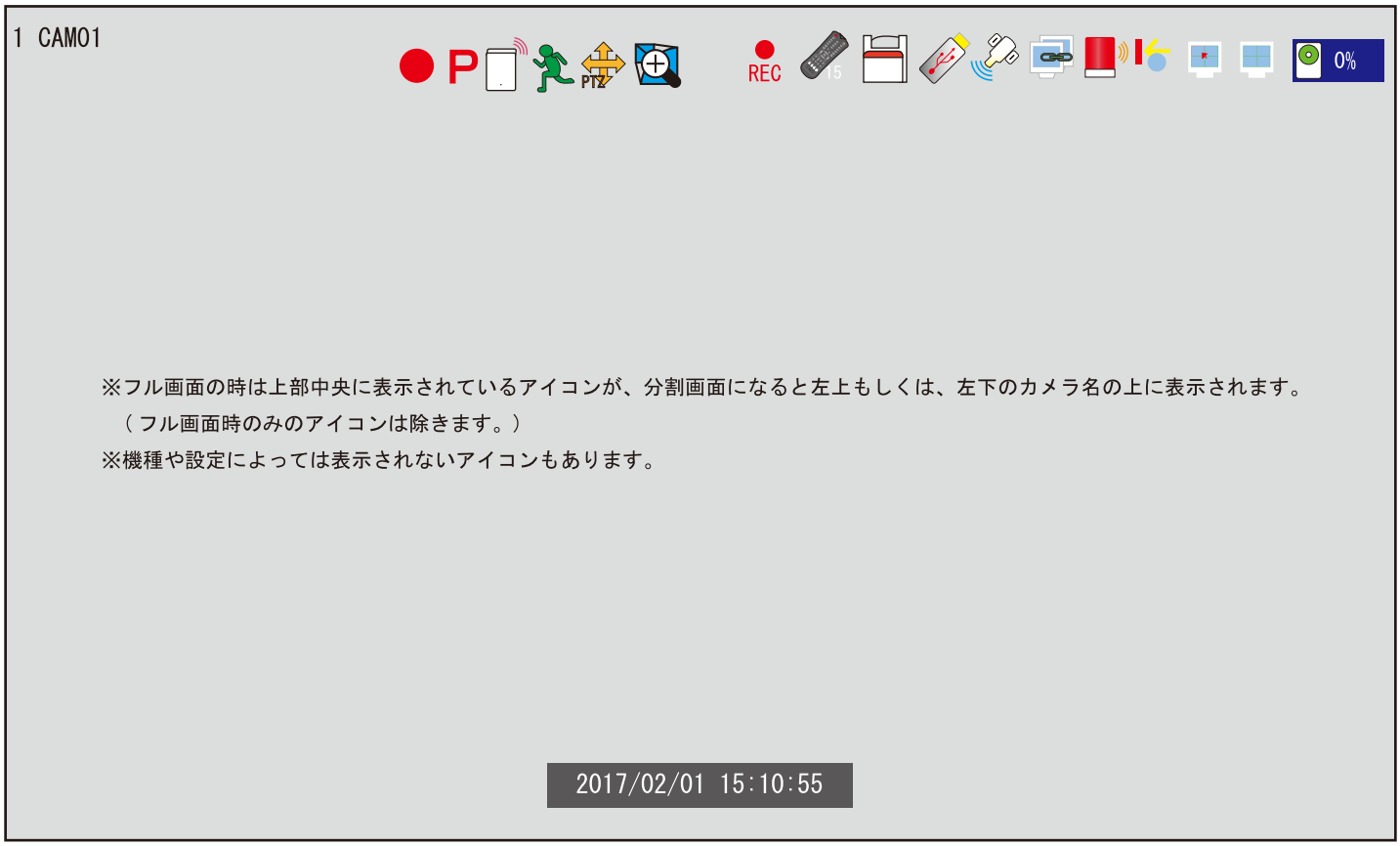
〈クリック〉
・項目の選択、決定

〈右クリック〉
・メニュー表示
(ライブモード時)
・キャンセル
・現頁からの脱出

※イラストは全てイメージです。

4. 操作方法

4.2. 画面に表示されるアイコンについて



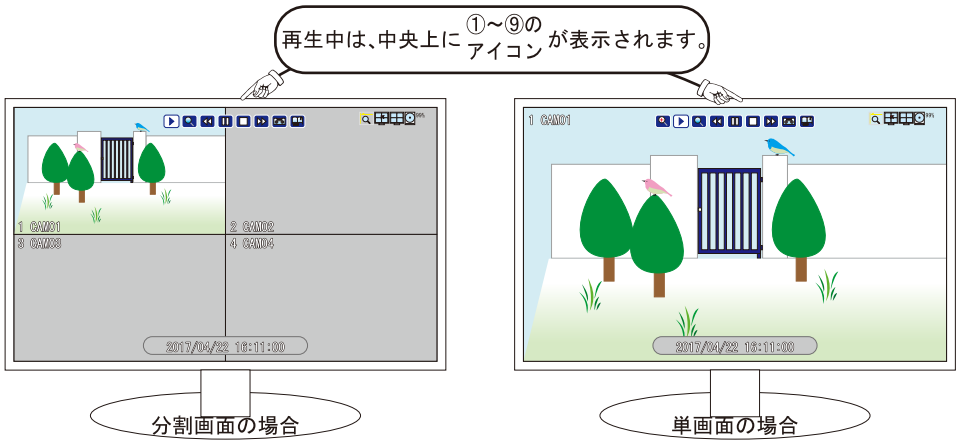
0%	HDD の使用状況です。（アイコンが青色系） 「0%(HDD 空 / 未設置状態）～ 99%(HDD 満）」になります。		マウス操作のみ。フル画面時デジタルズームをします。
99%	HDD の異常事態です。（アイコンが赤色・黄色） システムより電源をオフにして、購入店へご相談ください。	PTZ	PTZ 設定がされている場合に表示されます。
	マウス操作のみ。2 分割・4 分割やシーケンシャルや PIP 表示画面に変更できます。 PIP SEQ		モーションが検知された時に表示されます。
			センサーが働いている時に表示されます。
	マウス操作のみ。フル画面表示する CH を DVR のチャンネル数を「1 ～ 4」、より、選択します。 4CH 1 2 3 4	P	リモコンの [REC/STOP] ボタンによる手動録画中です。
			チャンネルが録画されています。
	マウス操作のみ。「10 秒前 /30 秒前 /1 分前 /3 分前 / 5 分前 /10 分前」の録画映像を再生します。		シーケンシャル中に表示されます。
	DVR にネットワーク経由で接続があります。		GPS 時刻補正設定中のアイコンです。 本機は GPS ユニットを認識していません。
	USB メモリを、認識中です。		GPS ユニットの装着を確認しました。（未受信）
	外部 USB、HDD による「自動バックアップ」設定中に 表示されます。クリックで内容を確認できます。		GPS 受信中です。
15	リモコンのシステム ID 設定中です。 数値 (01 ～ 99) は本機のシステム ID になります。	REC	録画機能付きレコーダーを表しています。
	アラーム出力の ON/OFF ができます。		

4. 操作方法

4.3. 再生中のアイコンについて

アイコンはマウスを左クリックすることで操作が可能になります。

※単画面時、リモコンの「Z/F」でもズームにすることは可能ですが、49 倍ズームしかできません。



①49 ブロックエリアより選択し、ズームします。リモコンの場合 [Z/F] ボタンです。　※短画面（フルスクリーン）時に表示されるアイコンです。

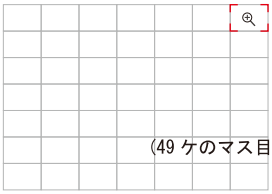


図 1

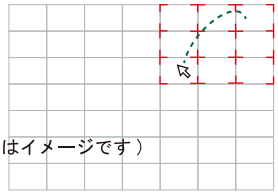


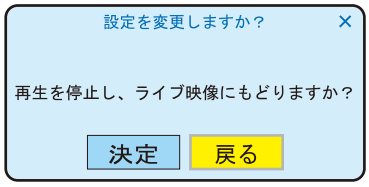
図 2

リモコンの [Z/F] ボタンは 1 マスの選択になります。(図 1)
マウスでドラッグ、もしくは、リモコンの Z/F→上下左右で開始位置を決め→ENTER→上下左右でマス目選択することにより倍率を下げることができます。(図 2)
(選択したマス目が多いほど倍率は低くなります。)
※①のズームアイコンが表示されていない場合は、ズームできません。
※再生中のみズーム可能です。

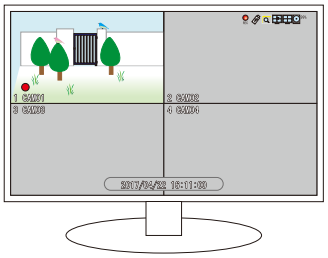
②現在の操作を表示しています。
▶ 再生中、⏸ 一時停止中、◀◀ ×2 巻戻し中（×2、×4、×8、×32、×128）、▶▶ ×2 早送り中（×2、×4、×8、×32、×128）また、一時停止中に巻戻しや、早送りをした場合は、◀❚ コマ戻し中、❚▶ コマ送り中に変わります。
③時間検索画面に戻ります。リモコンの場合 [Search] ボタンになります。
④巻戻しをします。リモコンの場合 [◂◂] ボタンになります。止める時は [▸II] ボタンを押してください。
⑤「▸」再生、もしくは「 II 」一時停止します。リモコンの場合 [▸II] ボタンになります。早送り、巻戻し中に [▸II] を選択した場合、再生を再開します。再生中に [▸II] を選択すると一時停止します。また、一時停止中に [◂◂] を選択するとコマ戻し、[▸▸] を選択するとコマ送りになります。
⑥再生を停止してライブ映像に戻ります。リモコンの場合 [■] になります。(下記＜再生画面をライブ映像に戻すには !?> 参照)
⑦早送りをします。リモコンの場合 [▸▸] ボタンになります。止める時は [▸II] ボタンを押してください。
⑧バックアップのダイアログボックスを表示します。リモコンの場合は [Backup] ボタンになります。
⑨ブックマークをします。(マウスのみの操作になります。) マウスを左クリックするとアイコンの水色が濃くなりブックマークを開始します。もう一度左クリックでブックマークを停止します。(ブックマーク中も、巻戻し、早送りができます。)
※途中で巻戻しや早送りをした場合に時間が前後しても、開始と停止の間の時間がブックマークの時間になります。

＜再生画面をライブ映像に戻すには！＞

❶リモコンの [■] 停止ボタンを押してください。
❷下記の画面が表示されます。



❸
戻る：再生画面に戻ります。
決定：ライブ映像に戻ります。



❹ライブ映像に戻りました。
(設定によって画面表示は変わります。)

イラストはイメージです。

※再生中にマウスポインタを「年月日時分秒」の表示辺りに持って行くと、24 時間のタイムバーが表示されます。

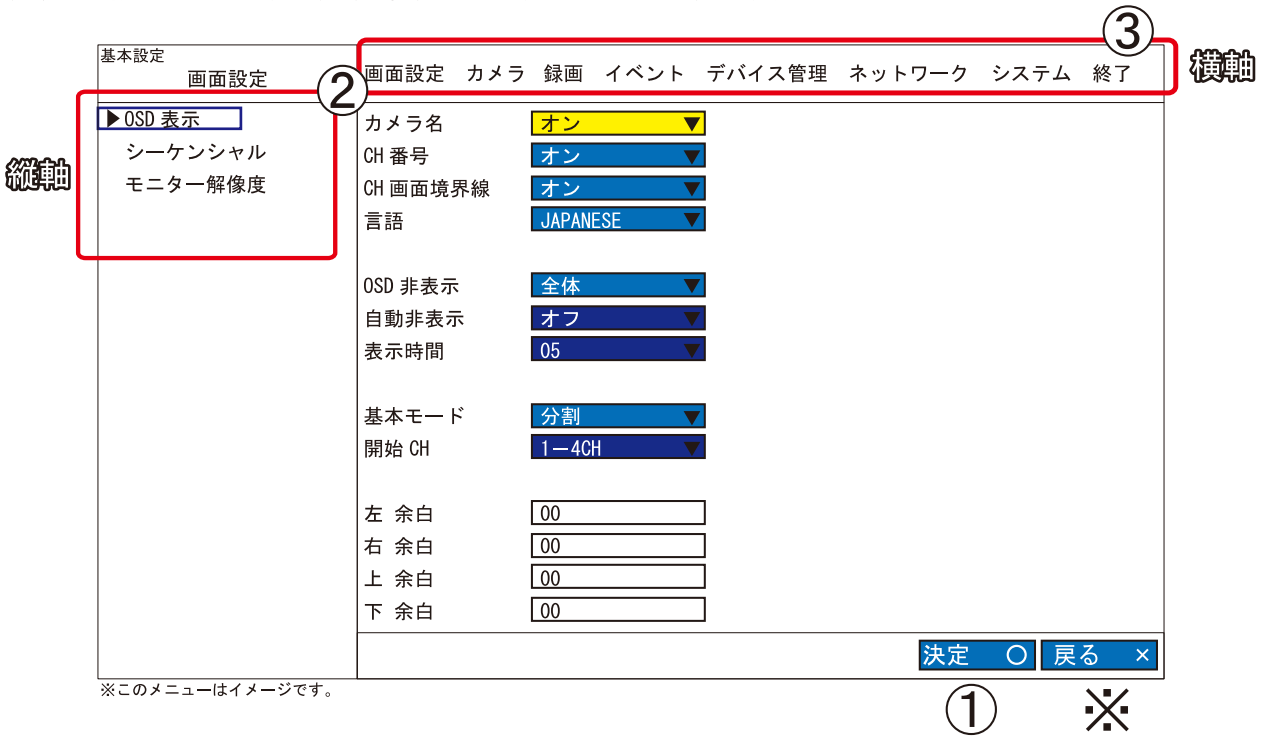
現在再生中の「分」を表示します。
上図の場合 11 時 30 分位を示します。

水色：録画映像あり。
青色：録画映像なし。

4. 操作方法

4.4. 設定を変更した場合の保存方法

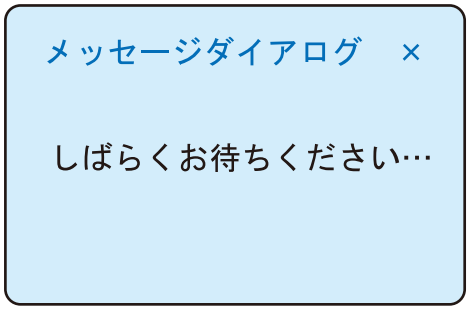
次頁から設定項目の説明になりますが、その設定を生かすには保存が必要です。（下図項目は参考の為、実際と違う場合があります。）



設定を変更をしました。

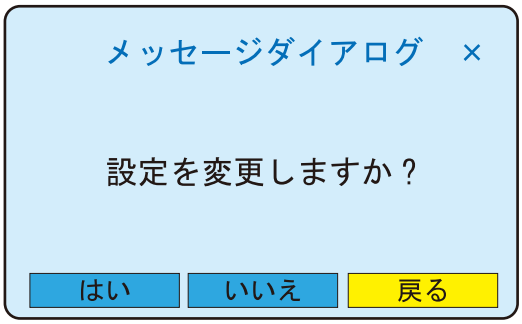
※決定前であれば　戻る ×　を選択して、設定する前に戻ることができます。

① 決定 ○ を選択した場合

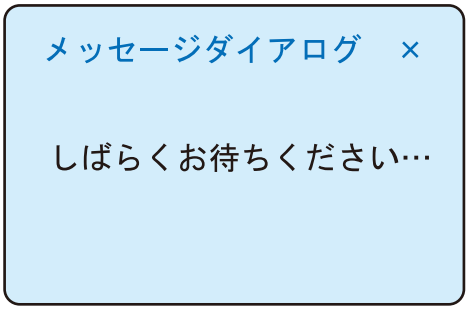


設定が保存されました。

②「決定」をしないで縦軸、もしくは横軸の他の項目に移動しようとした場合



「はい」を選択します。

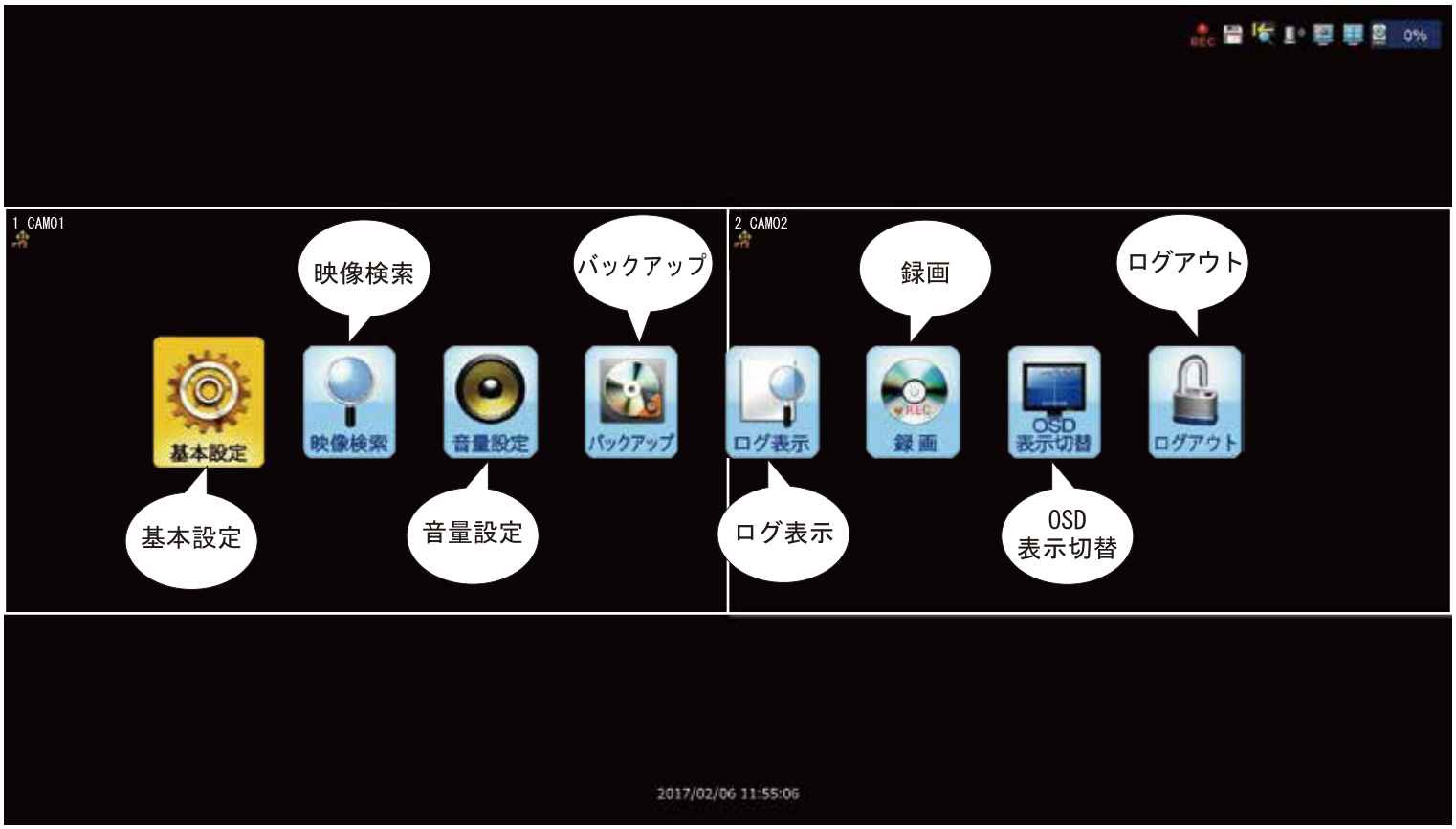


設定が保存されました。

③画面右上の「終了」、マウスの右クリック、もしくはリモコンの「Menu」でライブ映像に戻ります。

5. メニュー

リモコンのメニューボタン、マウスの右クリック、DVR の前面にあるメニューボタンを使用してメニューを表示します。



5.1. 基本設定

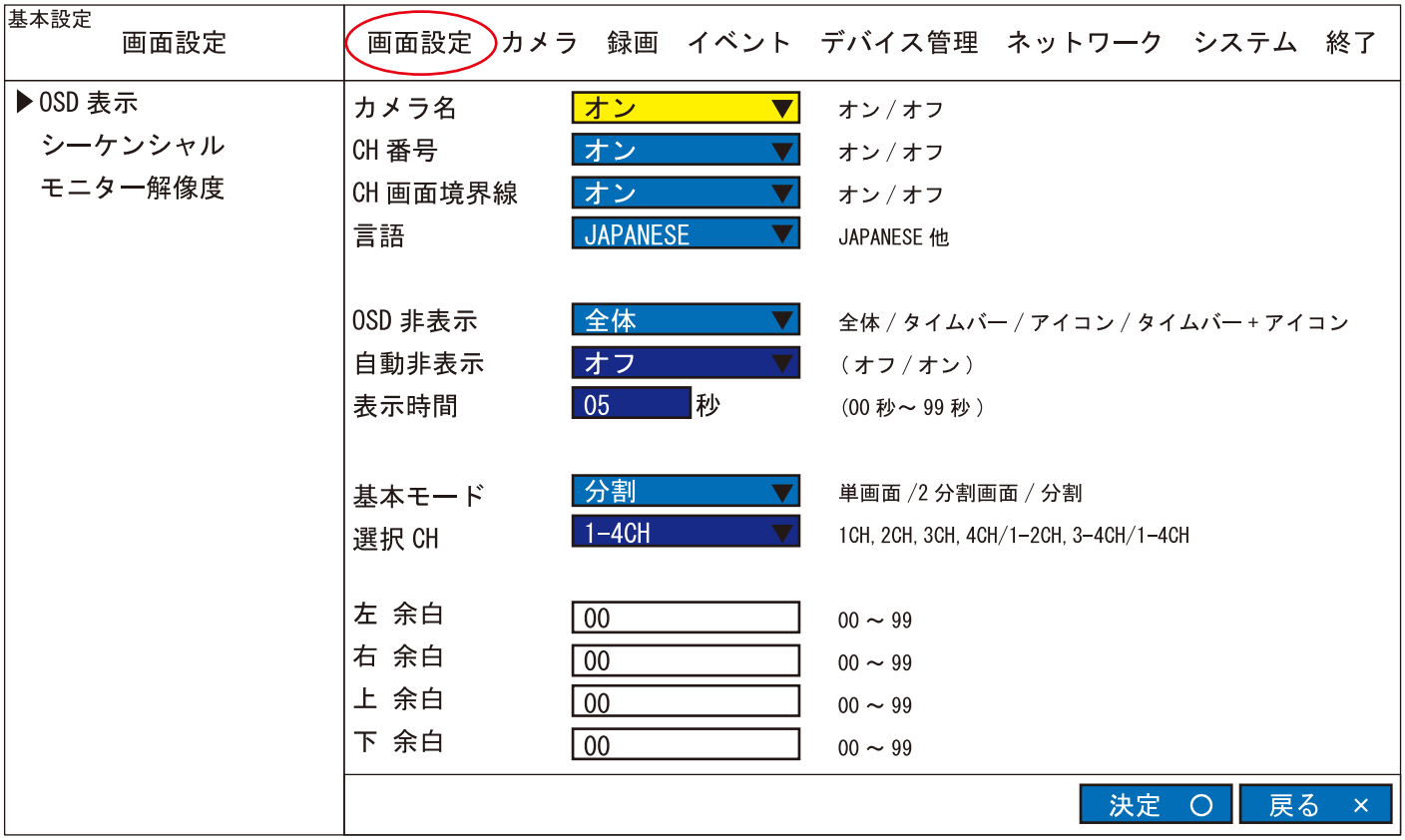
画面設定、カメラ、録画、イベント、デバイス管理、ネットワーク、システムに関する設定ができます。
※ファームウエアのバージョンによってメニューの表現が違う場合があります。ご了承ください。

画面設定	カメラ	録画	イベント
OSD 表示 シーケンシャル モニター解像度 (VGA 解像度)	基本設定 プライバシーゾーン設定 PTZ プリセット スキャン カラー POS	録画設定 スケジュール その他	モーション センサー ビデオロス 保存装置エラー 録画停止 E メール FTP イベントスケジュール (E メールスケジュール) (アラームスケジュール) (FTP スケジュール) その他
デバイス管理	**ネットワーク**	**システム**	
HDD フォーマット HDD スマート デバイス設定	設定 DDNS サブストリーミング QR コード WiFi ホスト	ビデオタイプ 設定ファイル管理 時刻管理 システム ID/ キーボード 使用者 アップグレード 再起動 システム電源オフ	

※( ) 内は、NS-M6043AHR のメニューです。

5.1.1. 画面設定

5.1.1.1.OSD 表示 (1) モニターに表示する OSD の項目を「ON/OFF」選択したり、表示言語を選択します。



カ　メ　ラ　名：[オン ⇄ オフ]
カメラ名、CH 番号は初期値「1 CAM01」です。
オンの場合「1 CAM01」、オフの場合「1」(CH 番号) のみ表示されます。
※カメラ名は「5.1.2. カメラ」の中の「基本設定」より変更できます。

C　H　番　号：[オン ⇄ オフ]
カメラ名、CH 番号は初期値「1 CAM01」です。

オンの場合「1 CAM01」、オフの場合「CAM01」(カメラ名) のみ表示されます。

CH 画面境界線：[オン ⇄ オフ] オンの場合分割の白枠 (チャンネルの境界線) あり、オフの場合枠無しになります。

言　　語：言語を選択します。初期値は JAPANESE(日本語) です。

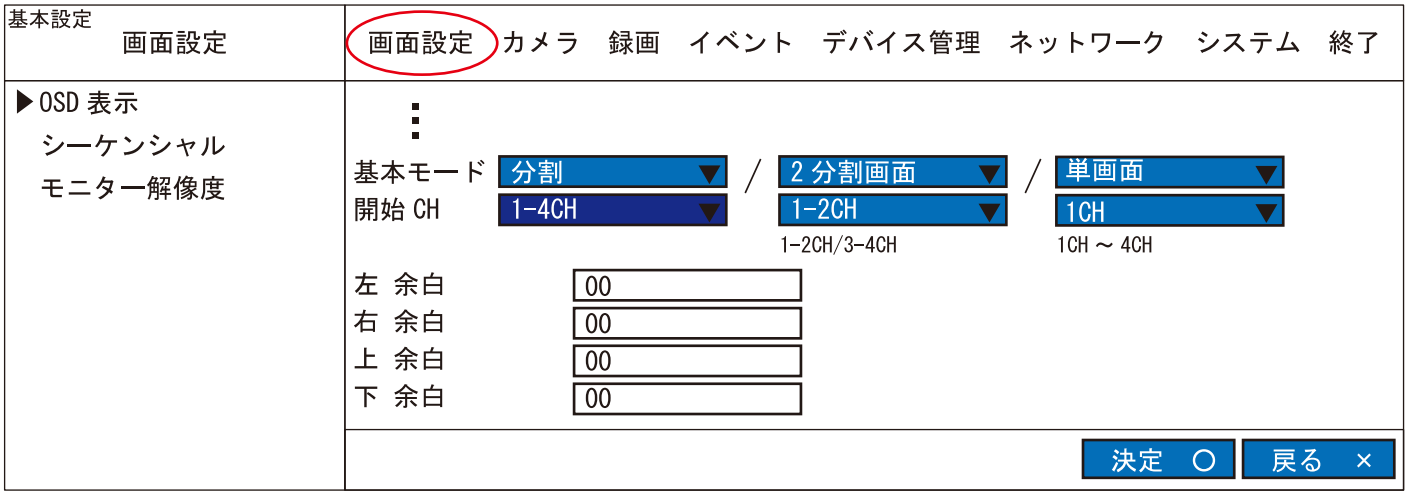
O S D 非 表 示：[全体 ⇄ タイムバー ⇄ アイコン ⇄ タイムバー + アイコン]
画面上のアイコンを非表示にすることができます。
「全体」を選択した場合は、リモコンの OSD ボタンを押すと、全て非表示になります。
自動非表示オンに設定して使用します。
「タイムバー」を選択した場合は、下部中央のタイムバーを非表示にします。
「アイコン」を選択した場合は、アイコン (右上) を非表示にします。
「タイムバー + アイコン」を選択した場合は、タイムバーとアイコン (右上) を非表示にします。

自 動　非　表 示：「タイムバー」、「アイコン」、「タイムバー + アイコン」を選択した場合に限り、[オン ⇄ オフ]
選択ができます。

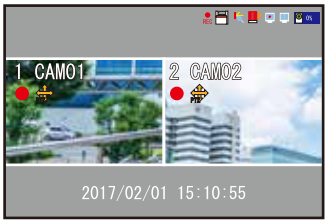
表　示　時　間：「自動非表示」を「オン」にした場合に限り設定できます。
タイムバーもしくはアイコンが、表示から非表示に変わるまでの時間を [00 秒～ 99 秒] で設定できます。

5.1.1. 画面設定

5.1.1.1.OSD 表示 (2) 基本モード、余白について



基本モード：再生終了後や電源を入れた時などに、1 番最初に表示されるチャンネルを設定できるようになる機能です。
「分割」⇄「2 分割画面」⇄「単画面」より選択します。



2 分割画面（1-2CH 選択中）

「2 分割画面」
2 台のカメラが 2 分割で表示されます。
※接続したカメラが 2 台の場合、基本モードを「2 分割画面」としてください。

単画面
（CH1 を選択した場合）

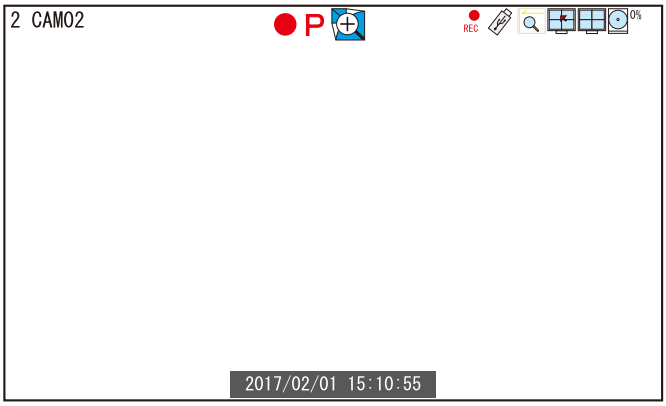
「単画面」
2 台のカメラのうち、いづれかを選択します。
選択した CH のカメラ映像が、単画面で表示されます。
※接続したカメラが 1 台の場合、基本モードを「単画面」としてください。

分割（1-4CH）

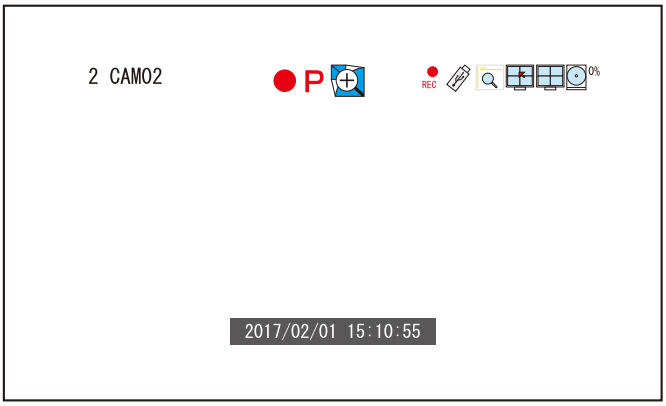
「分割」
4 台のカメラが 4 分割で表示されます。

左右上下の余白：画面上のタイムバーやアイコンの位置を変更できます。画面を確認しながら「00 ～ 99」の間の数値を入力してください。数値を大きくするほど内側に寄ります。（モニターによって違いがあります。）
※下図「余白のイメージ」を参照ください。

余白が「0」の時



余白に数値を入れた時

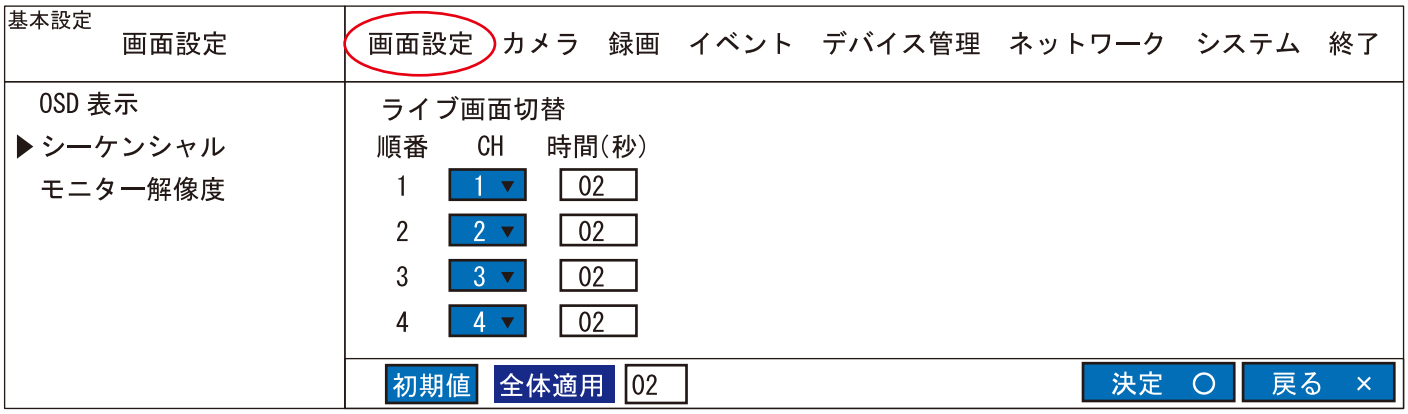


〈余白のイメージ〉

5.1.1. 画面設定

5.1.1.2. シーケンシャル

リモコンの［SEQ］を押したときの切替時間設定（単画面表示時のみ）を行います。
初期値の状態で［SEQ］を押すと、全チャンネルが 2 秒単位で切り替ります。

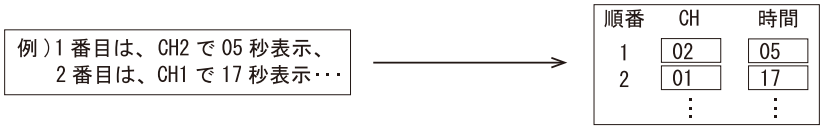


ライブ画面切替　ライブ映像出力時のシーケンシャルチャンネルと時間（秒単位）の設定します。

順番：シーケンシャルの順番を表しています。

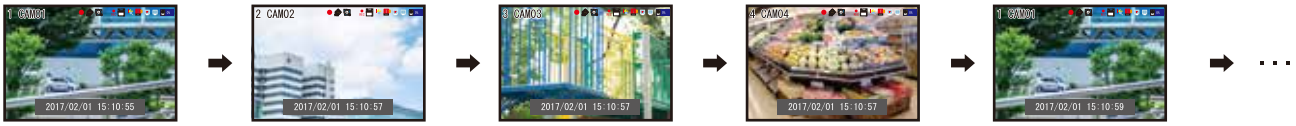
C　H：シーケンシャルの順番を「ない /1/2/3/4」より設定します。

時間：画面切替時間（00 秒～ 99 秒）を各チャンネル毎に設定できます。

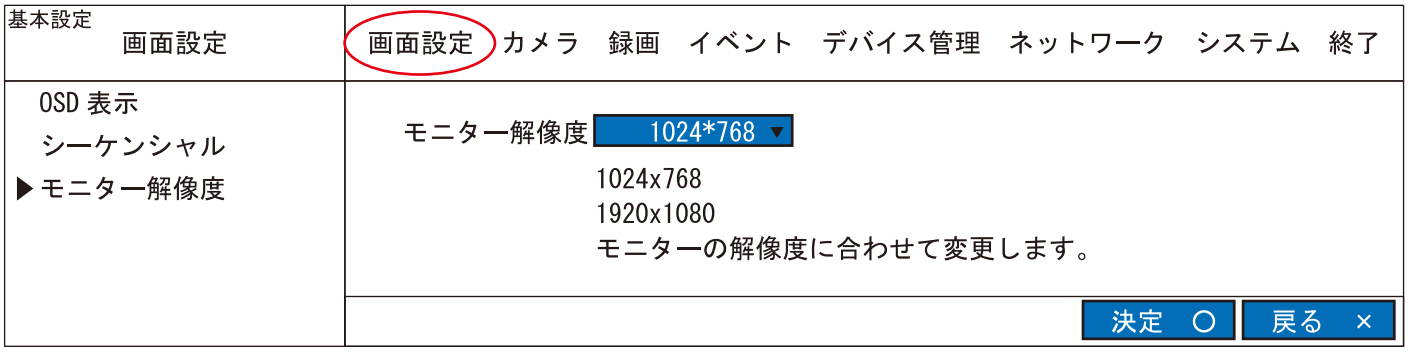


初期値 を選択すると、シーケンスの順番が CH1→CH2→CH3→CH4→CH1・・・の順番に戻ります。（秒数は戻りません。）

全体適用 の後ろの数字を入力すると、全 CH が入力した数字に変わります。



5.1.1.3. モニター解像度



※NS-M6043AHR のモニター使用の場合は、1024x768（NS-M6043AHR 初期値）のままご使用ください。

5.1.2. カメラ

5.1.2.1. 基本設定　　カメラの名前、カメラ映像表示、音声の設定をします。

基本設定
カメラ

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

▶基本設定
プライバシーゾーン設定
PTZ
プリセット
スキャン
カラー

CH	カメラ名	映像表示有無	音声
1	CAM01	映像表示	CH-01
2	CAM02	映像表示	CH-02
3	CAM03	映像表示	CH-03
4	CAM04	映像表示	CH-04

映像表示
映像非表示
より選択

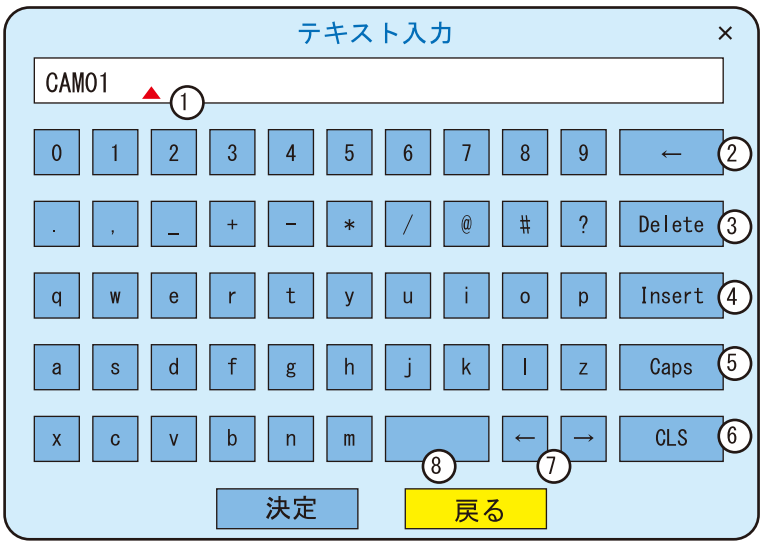
<NONE>
CH-01　(AIN1)
CH-02　(AIN2)
CH-03　(AIN3)
CH-04　(AIN4)
より選択

※( ) は [音声入力] の差込口の名前になります。

決定 ○　戻る ×

CH：1 が「カメラ 1」、2 が「カメラ 2」…になります。

カメラ名：カメラ名を選択すると、仮想キーボード（下図）が表示されます。英数字最大 15 文字まで入力できます。
入力完了後は必ず「決定」で確定します。変更したくない場合は「戻る」で前画面に戻ります。

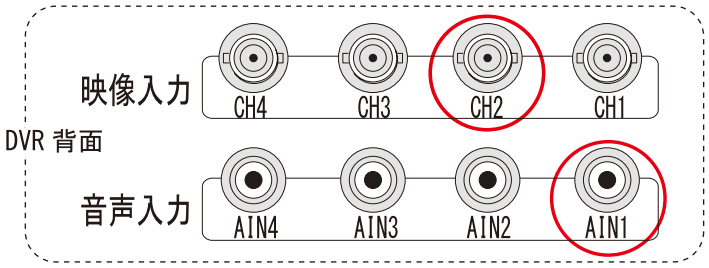


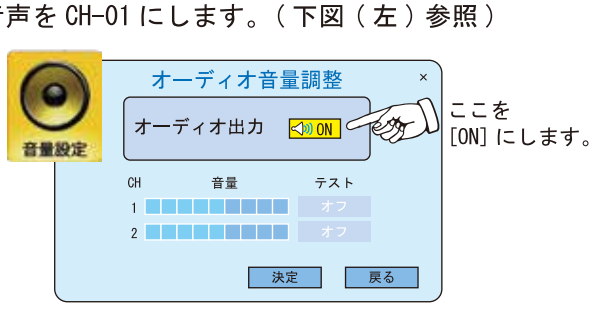
① ▲は、文字入力位置（カーソル）をあらわします。
② ▲カーソルの一つ前の文字を削除します。
③ ▲カーソルの一つ後ろの文字を削除します。
④ ▲カーソルが _（アンダーバー）に変わり、文字を上書きします。
⑤ アルファベットが大文字になります。
⑥ 全ての文字を削除します。
⑦ カーソルが左右に移動し、文字を訂正できます。
⑧ スペース

映像表示有無：「映像表示」⇄「映像非表示」より選択します。
映像非表示を選択すると、黒画面に「映像非表示」と文字のみ表示されます。

音声：「AIN1」に接続中の音声は「CH-01」を選択、「AIN2」に接続中の音声は「CH-02」を選択します。
通常はカメラ番号と同じ番号の音声入力に接続しますが、異なる番号でも設定できます。

例）　カメラ 2 に「AIN1」の音声を出力する場合は、CH2 のカメラの音声を CH-01 にします。（下図（左）参照）



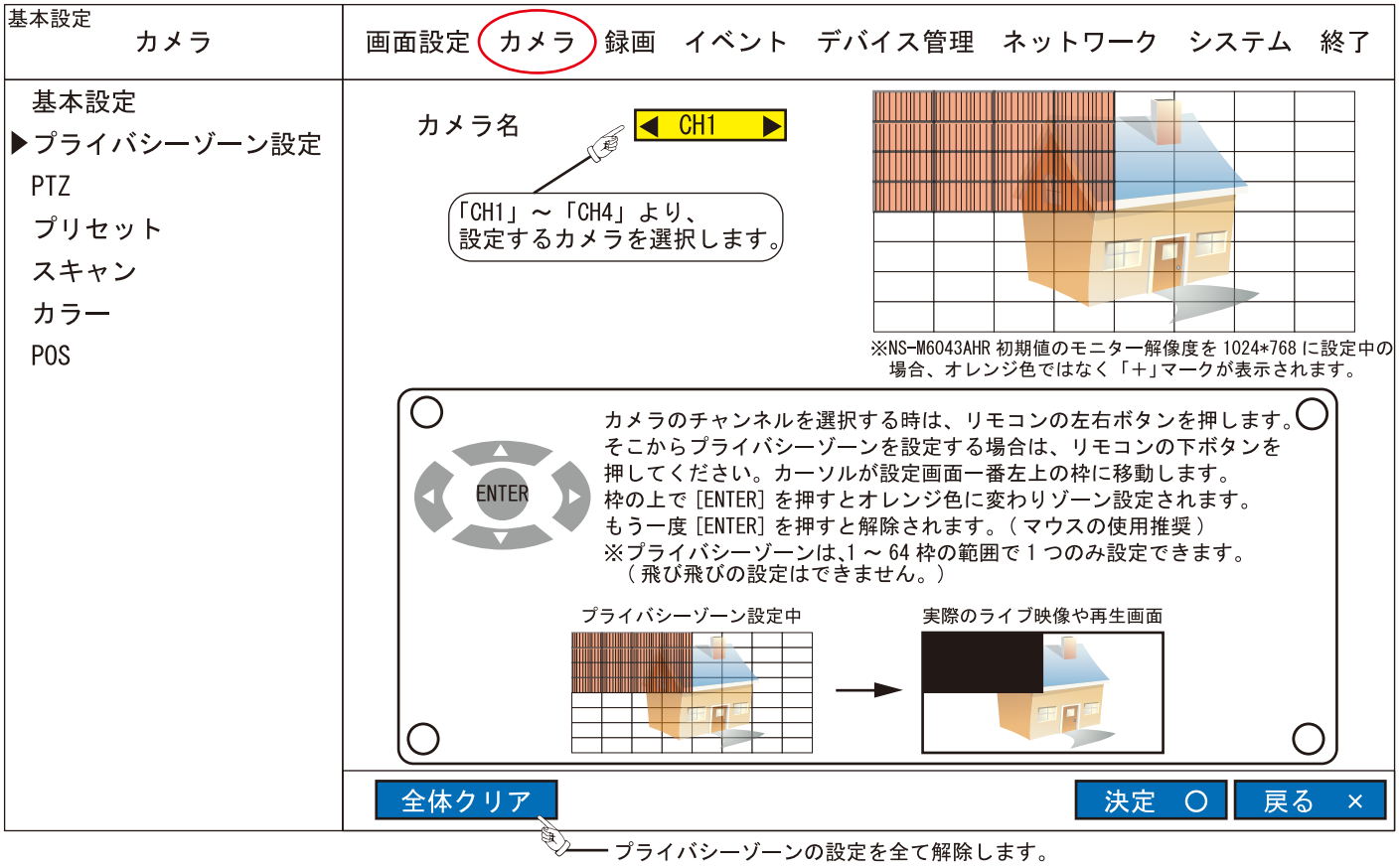


※音声は音声入力端子の数分設定できます。
※音声入力が不要なカメラは <NONE> を選択してください。
※ライブ中に音声を出力する場合は、メニュー [音量設定] の「オーディオ出力」を必ず [ON] にして、決定をします。
（音声を確認するには、単画面にしてください。）

5.1.2. カメラ

5.1.2.2. プライバシーゾーン設定

プライバシーゾーンを設定した箇所は、ライブ映像も、再生画面も黒く塗りつぶされます。



5.1.2.3. PTZ　　PTZ カメラと接続した場合、本機から PTZ リモコンを使ってコントロール操作が可能になります。

プロトコル：PTZ カメラのプロトコルを選択してください。

※DVR からカメラのメニュー操作をする場合は、「 PELCO_C 」のままご使用ください。
※PTZ(NS-AH902PRC) をご使用の場合、「 E-RONIX_C 」に変更してください。

DVR でカメラの OSD メニュー操作をするには

①基本設定➡カメラ➡PTZ に入ります。（前頁参照）

②プロトコルを PERCO_C に設定します。

③リモコンの「P/T」を押します。
もしくはマウスで画面上の PTZ アイコン

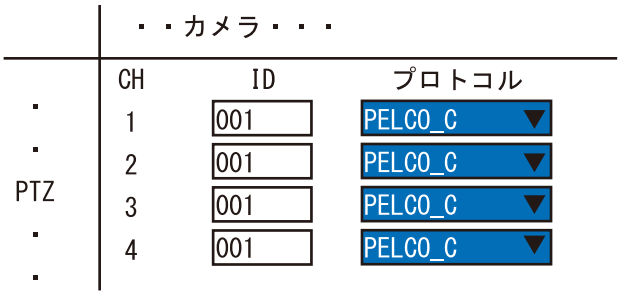
をクリックします。

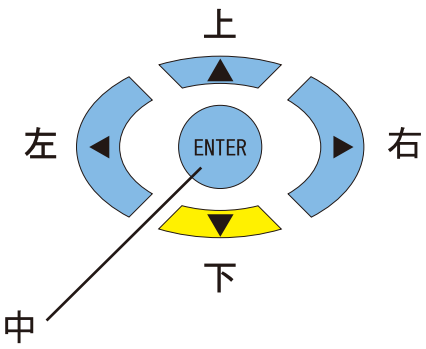
④画面右側にコントローラー（右図）が表示されます。

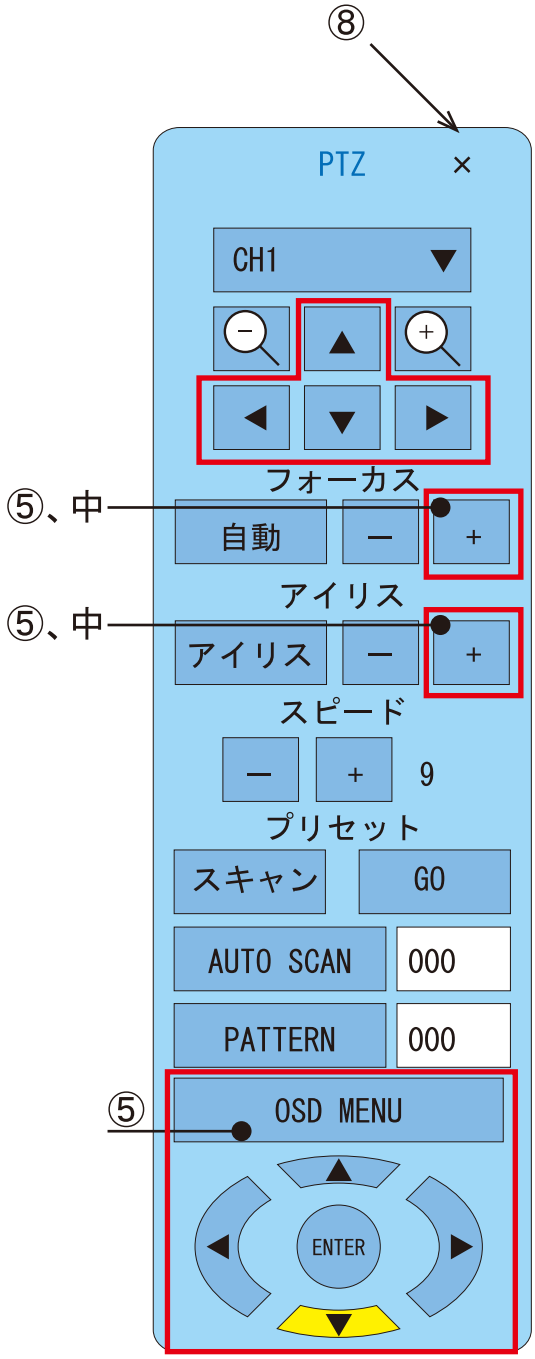
⑤機種やバージョンによってはメニューが開かないため、「OSD MENU」、「アイリス（＋）」、「自動（＋）」のいずれかをクリックします。

⑥画面上にカメラのメニューが表示されます。

⑦下図のボタンをマウスで選択すると、上下左右に動きます。
また、決定や⏎の場合は、中と表記されているボタンの「ENTER」、「アイリス（＋）」、「自動（＋）」のいずれかをクリックします。





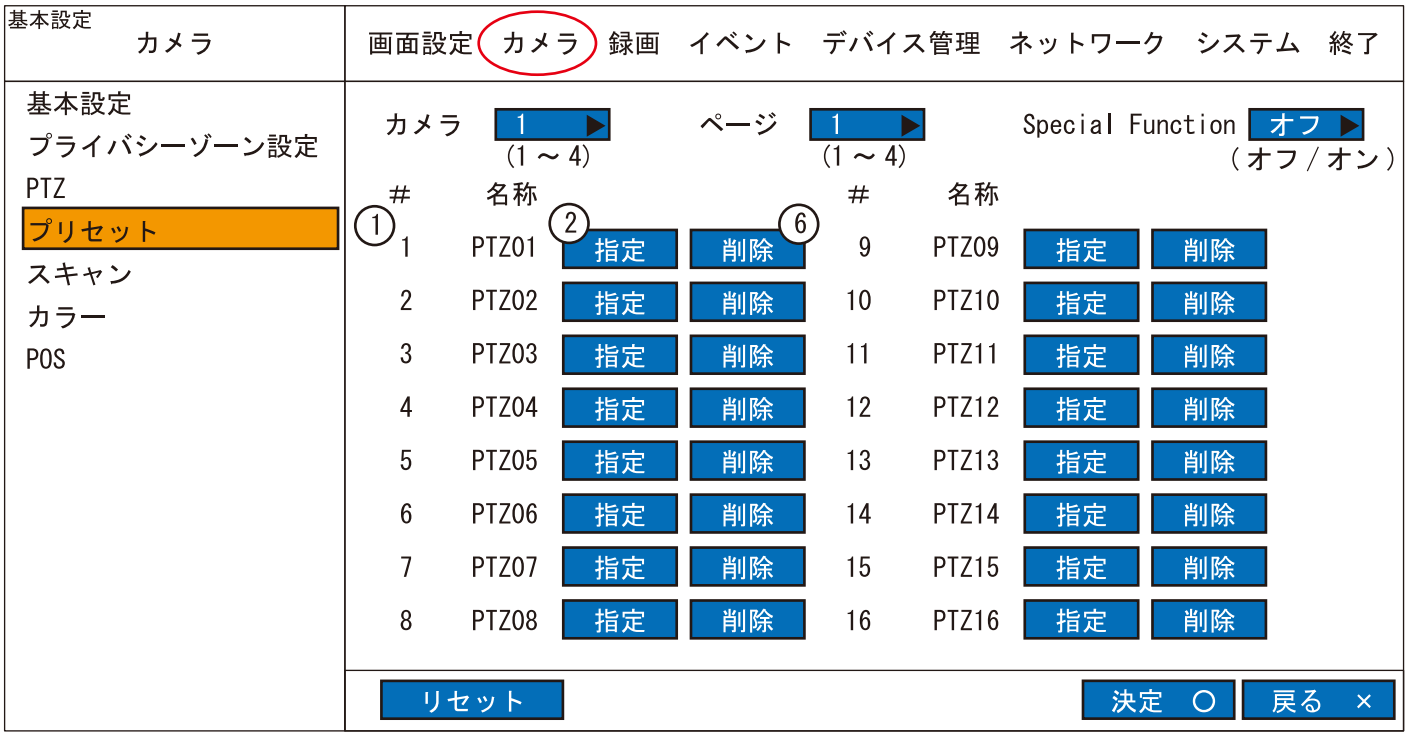


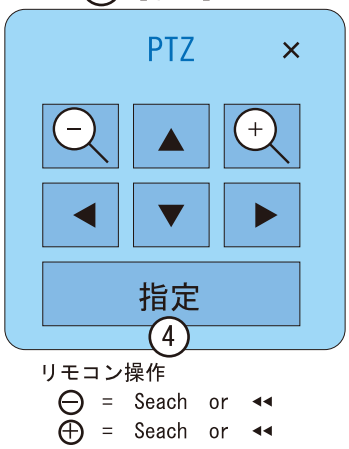
⑧このコントローラーを閉じるには、カメラのメニューを終了し、右上「×」をクリックもしくは、リモコンの「Menu」ボタンを押してください。

5.1.2. カメラ

5.1.2.4. プリセット

合計 64 個のプリセットポイントを、各チャンネルに保存し、名前を付けることができます。
注）この機能を使用する前に、カメラがプリセットをサポートしていることを確認してください。





カ メ ラ：プリセットポジションをセットアップする PTZ カメラを選択します。(CAM02 なら「2」になります。)

ペ ー ジ：1 ～ 4 ページまで選択できます。1 ページ毎に 16 ヶ所まで設定でき、合計 64 ヶ所まで設定できます。

リセット: 保存されたプリセットを全てキャンセルします。

＜設定方法＞

①カメラを選択します。

②「指定」を選択します。

③カメラの PTZ 制御画面 [図 1] が表示されます。希望するポイントにパン、チルト、ズームイン / アウトします。

④PTZ 制御画面 [図 1] の「指定」をクリックするか、リモコンの [ENTER] を押して保存してください。

⑤キャンセルするにはマウスで画面上の任意の他の位置をクリックするか、リモコンの [MENU] を押してください。

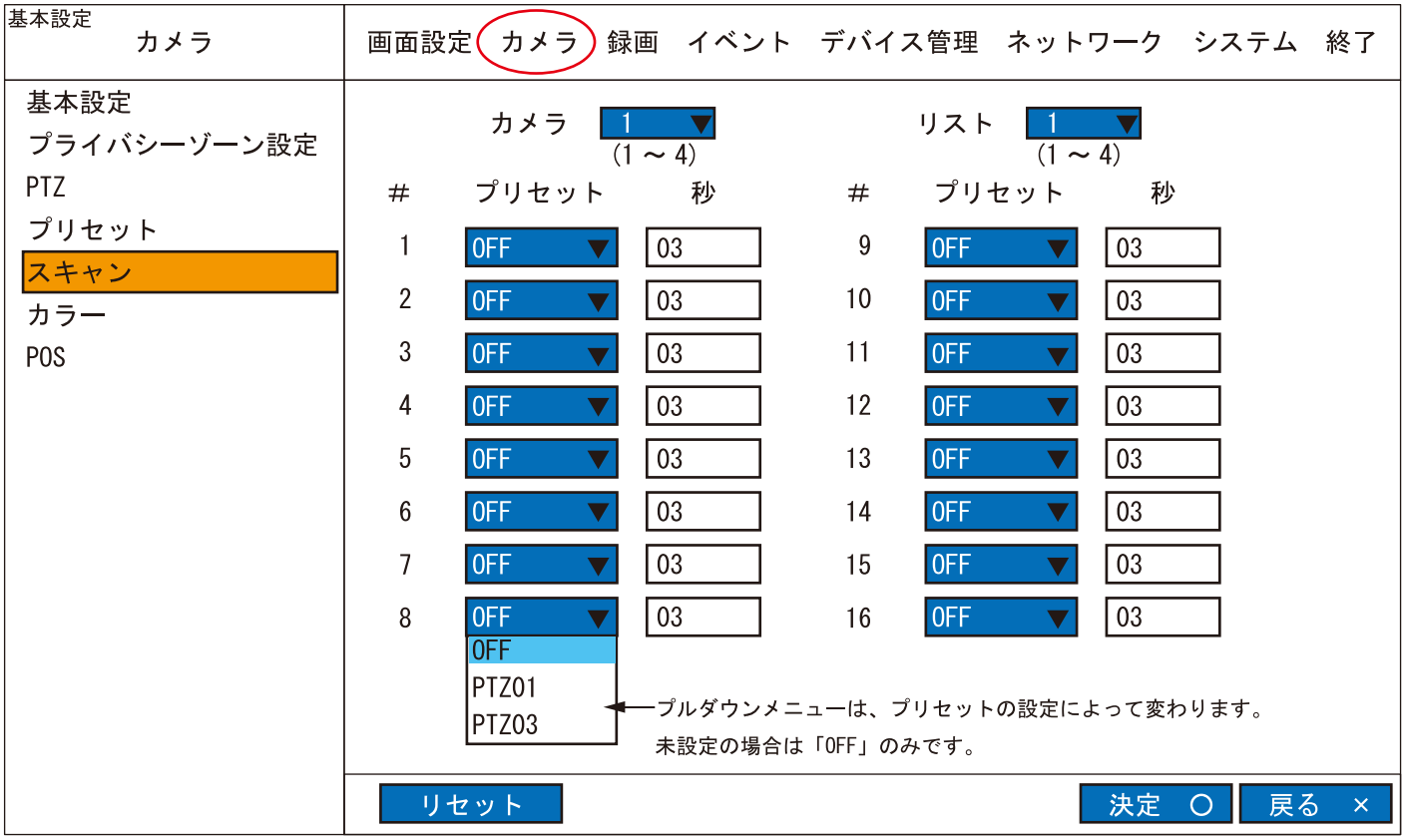
⑥1 台分のみ設定をキャンセルしたい場合は、設定消去するチャンネルの「削除」をクリックしてください。

※リセットボタンををクリックすると、全てのチャンネルの設定値がクリアされます。

5.1.2. カメラ

5.1.2.5. スキャン

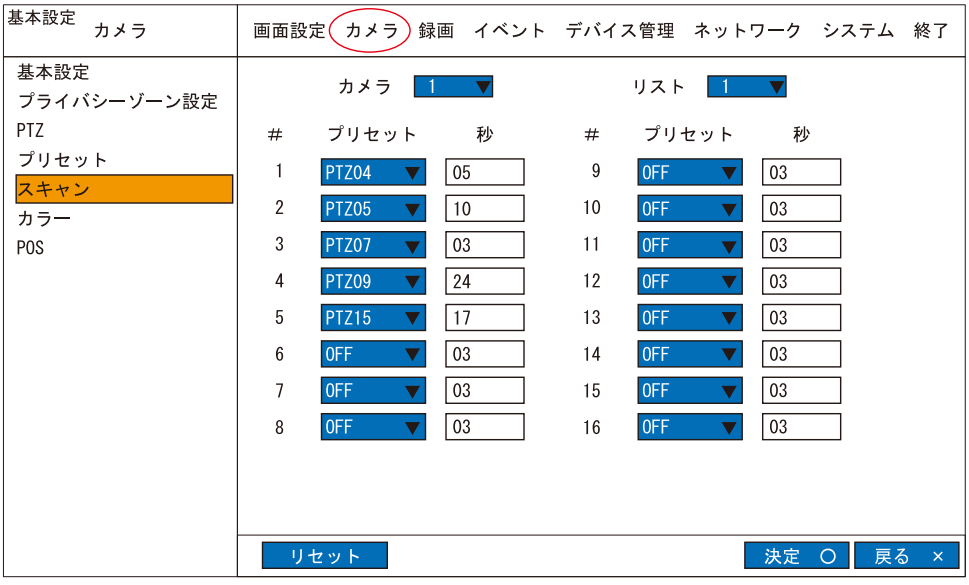
「プリセット」でポイント毎に保存したプリセットポジションを使用して PTZ ツアールート（自動でプリセット位置を順番に移動する機能）を設定することができます。各カメラにつき 4 つのリストを作成できます。(1つのリストにつき 16 ヶ所）
注）スキャン設定をする前に、「PTZ」よりプロトコルと、ボーレート、そして「プリセット」を設定する必要があります。



カ　メ　ラ：スキャンポイントを設定するカメラを選択します。
リ　ス　ト：1 ～ 4 のスキャンリスト（各 16 ヶ所まで）を作成します。
プリセット：希望するプリセットポジションを選択します。「プリセット」の画面にて「指定」を設定・実行していないと、
　　プルダウンメニューは「OFF」のみになり選択できません。
リ セ ッ ト：保存されているすべてのスキャンポイントをキャンセルします。

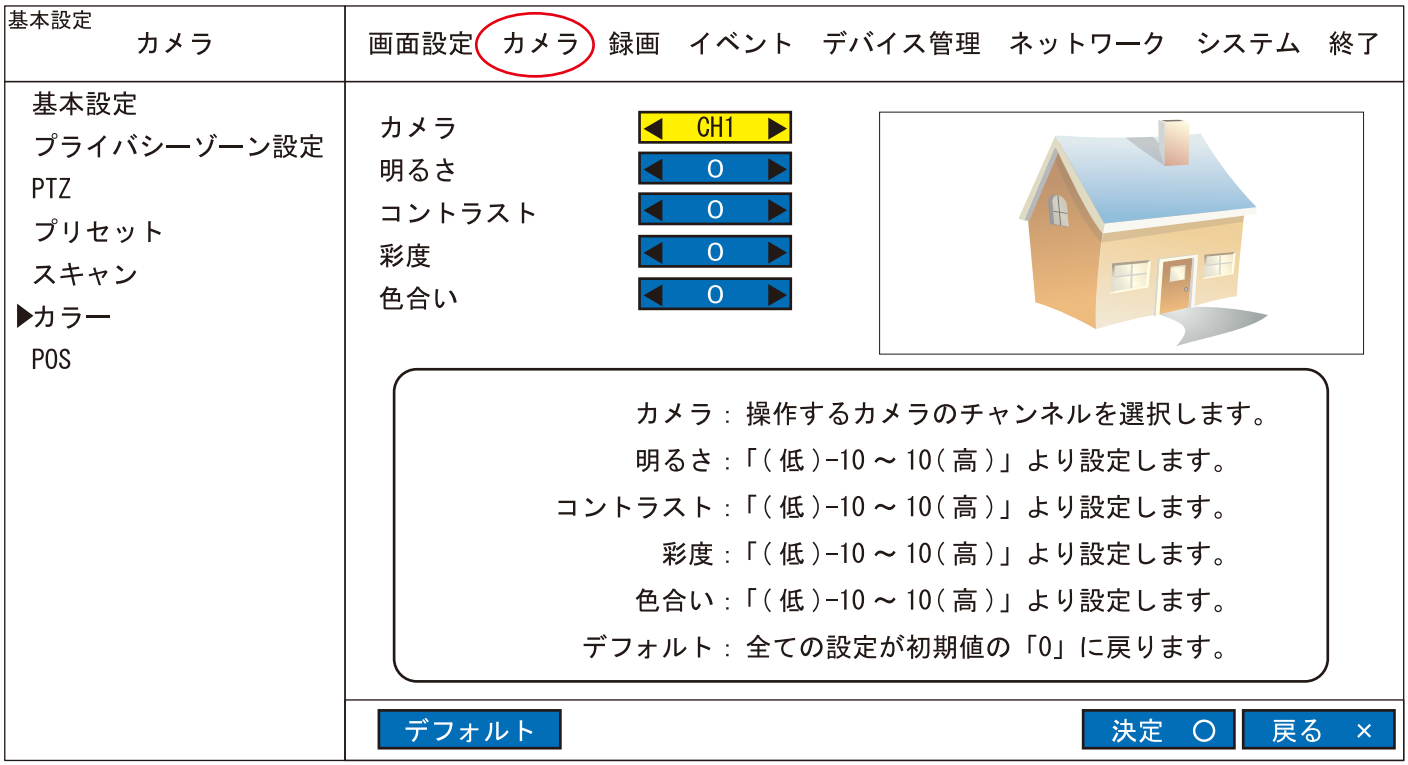
例）スキャンポイントが右図の様に設定されている場合
　PTZ04 のポジションで 05 秒
→ PTZ05 のポジションで 10 秒
→ PTZ07 のポジションで 03 秒
→ PTZ09 のポジションで 24 秒
→ PTZ15 のポジションで 17 秒
→ PTZ04 のポジションで 05 秒
　　⋮

この動作を繰り返します。

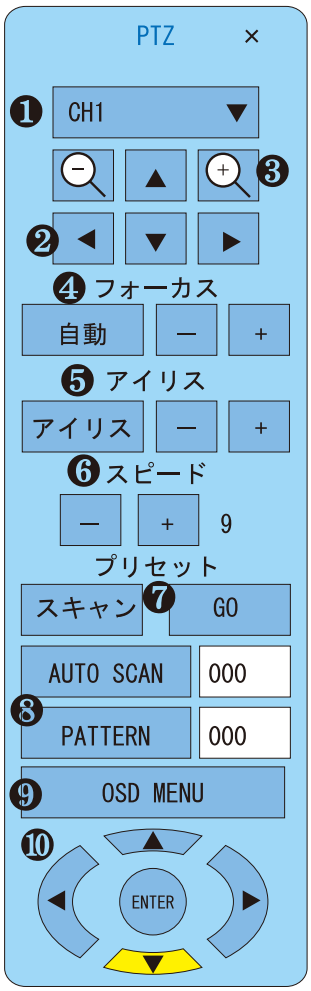


5.1.2. カメラ

5.1.2.6. カラー　　カメラ毎に「明るさ」、「コントラスト」、「彩度」、「色合い」を調整します。



<PTZ の画面上のコントローラーについて >



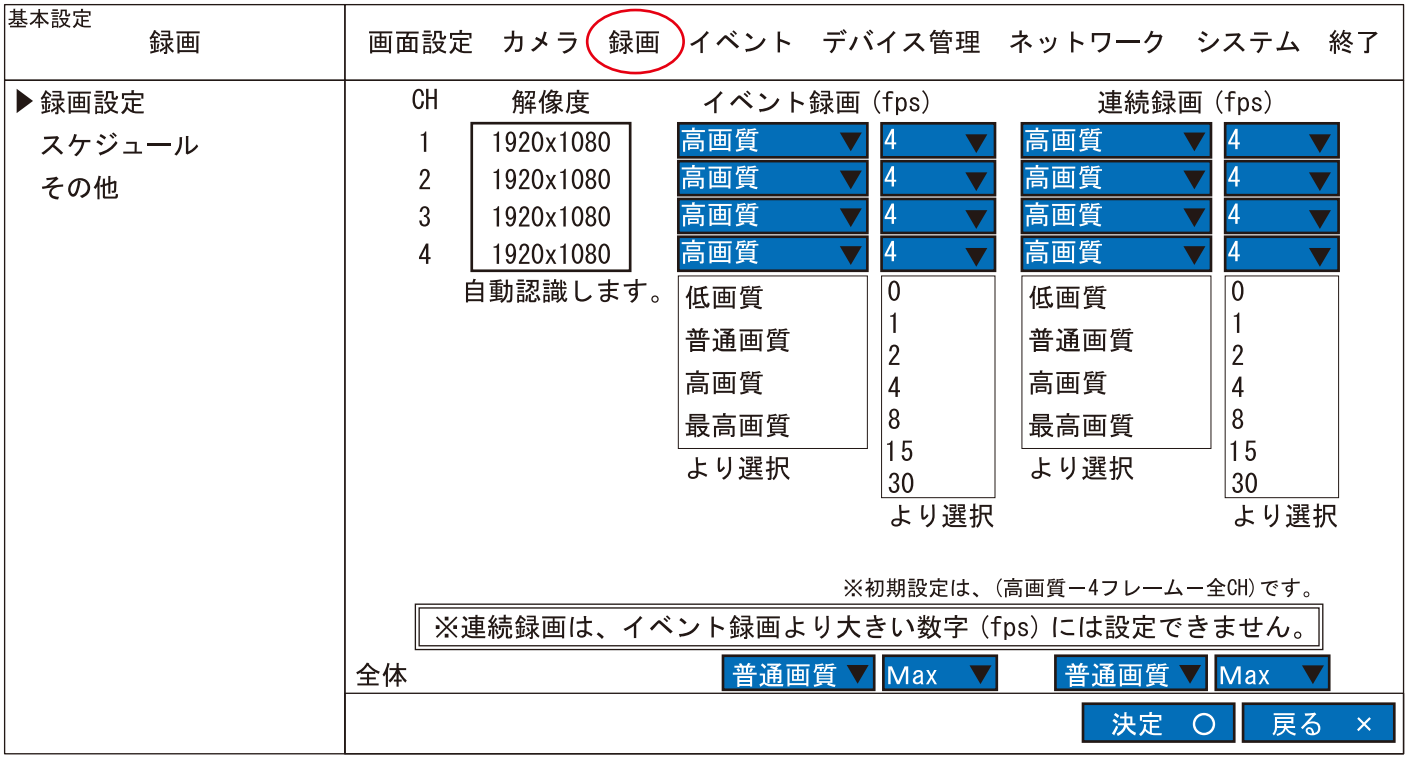
PTZ カメラと接続した場合、本機から PTZ リモコンを使ってコントロール操作が可能になります。
リモコンの [P/T] もしくは、画面上のアイコン PTZ を左クリックします。
※メニュー「基本設定」→「カメラ」→「PTZ」の ID を「000」以外にした場合に、画面上にアイコンが表示されます。

❶「CH1/CH2」よりチャンネルを選択します。
❷「▲/▼/◀/▶」上下左右に移動します。
❸「ー /＋」ズーム、ズームアウトします。
❹「フォーカス」
　＋フォーカスイン
　ーフォーカスアウト
❺「アイリス」
　＋アイリスオープン
　ーアイリスクローズ
❻「スピード」[(遅ー)1 ～ 9(＋速)]
❼「プリセット」
　プリセットポジションをスキャンしたい場合は、[スキャン] ボタンを選択します。
　特定のプリセットポジションに移動したい場合は、[GO] ボタンを選択し、その中の一つを選択します。
　※メニューのスキャンより設定した「リスト」番号を入力するとツアーを開始します。
❽「AUTO SCAN / PATTERN」
　カメラのメニューより設定します。使用できないカメラもあります。
❾「OSD MENU」は、カメラの OSD に従って OSD メニューが表示されます。
❿ カメラの OSD メニューを操作します。
　※カメラが OSD をサポートしていない場合は、OSD メニューは動作しません。
　※カメラの OSD メニューよりリセットを行うと、DVR のメニューで設定したプリセットポジションもリセットされるため、再度設定が必要になります。

5.1.2.7. POS　　使用しません。

5.1.3. 録画

5.1.3.1. 録画設定



解　　像　　度：記録される画素数（画像のサイズ）。接続されたカメラの解像度を自動認識します。
イ ベ ン ト 録 画：イベント発生時の録画の画質およびフレームレートを選択します。
　イベント発生時とは、モーション（動体検知）が検出された場合や、アラームが発生したことを意味します。
　各チャンネルには個別に画質とフレームレートを設定することができます。
連　続　録　画：連続記録時の録画の画質およびフレームレートを選択します。
　各チャンネルには個別に画質とフレームレートを設定することができます。
　連続録画のフレームレートは、イベントモードのフレームレートを超えることはできません。
　例）イベントのフレームレートを 8 と設定した場合、連続録画モードのフレームレートは、8 を超えることはできません。
全　　体：全てのチャンネルに同じ画質とフレームレートを適用します。

録画時間の目安

■ NS-M6043AHR

録画時間の目安 HDD：2TB　　時間

画像サイズ（解像度）	画質	60fps	32fps	16fps	4fps
1920×1080p フルハイビジョン	最高	388	580	968	1456
	高	466	720	1164	1744
	普通	580	872	1456	2184
	低	776	1164	1940	2912

画像サイズ（解像度）	画質	120fps	60fps	16fps	4fps
960H×480 CVBS	最高	240	504	1248	1840
	高	332	700	1644	2688
	普通	492	1000	2496	3880
	低	1000	2056	4992	8740

※720P（1280x720）のカメラも 960H とほぼ同じ録画時間です。

■ NS-6043AHR

録画時間の目安 HDD：1TB　　時間

画像サイズ（解像度）	画質	60fps	32fps	16fps	4fps
1920×1080p フルハイビジョン	最高	194	290	484	728
	高	233	360	582	872
	普通	290	436	728	1092
	低	388	582	970	1456

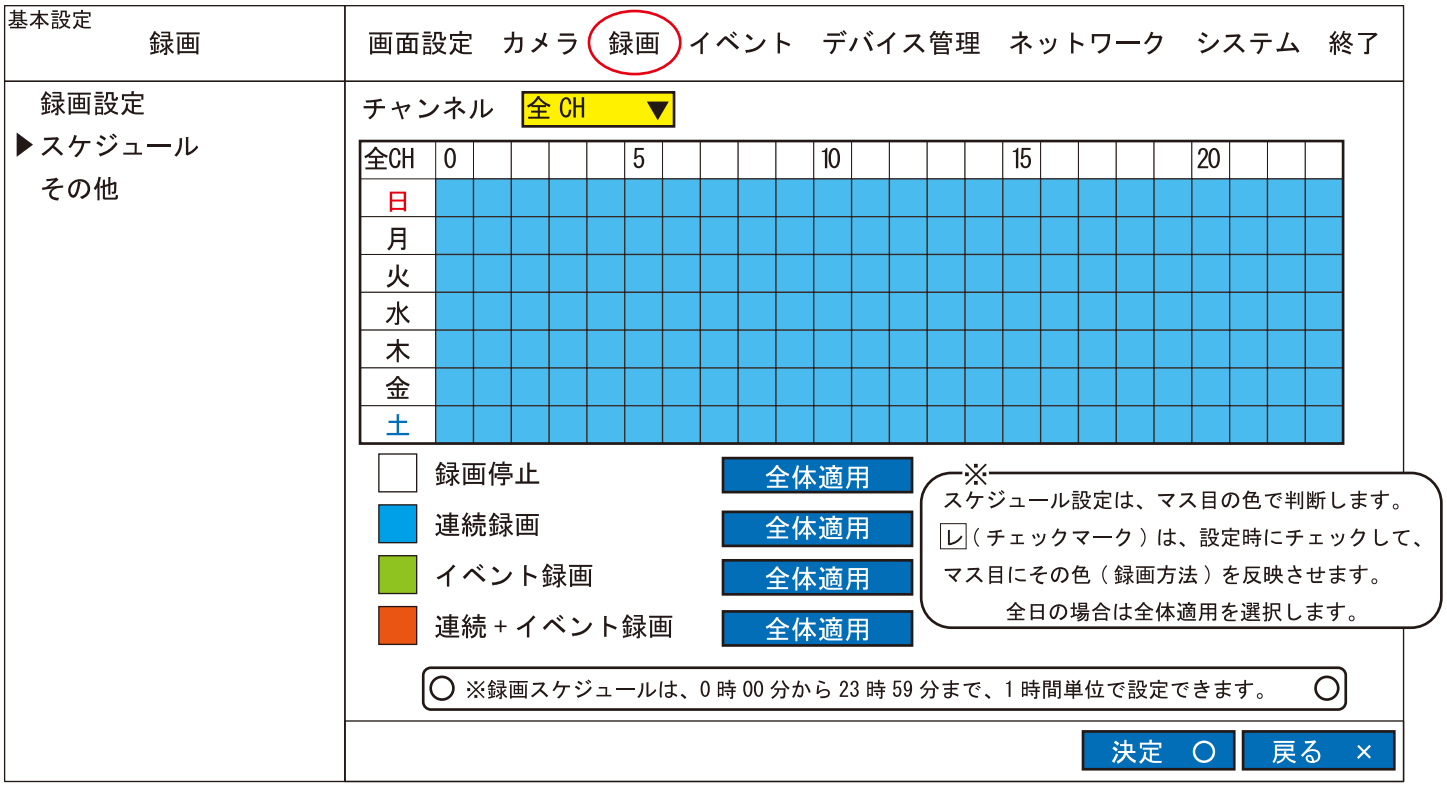
画像サイズ（解像度）	画質	120fps	60fps	16fps	4fps
960H×480 CVBS	最高	120	252	624	920
	高	166	350	832	1344
	普通	246	500	1248	1940
	低	500	1028	2496	4370

※720P（1280x720）のカメラもほぼ同じ録画時間です。

※表記録画時間は、連続録画で上書き設定の場合の上書きまでの録画保存時間です。
※撮影対象や環境条件によって録画時間は大幅に変動します。（常に動きのある映像を録画する場合は録画保存時間が大幅に短縮されます）
※上記フレーム数はカメラ毎の使用フレーム数の合計を意味します。
　尚、録画方式をモーション検知自動録画に設定する事で、上書きまでの録画保存時間が大幅に延長できます。
（モーション検知自動録画設定の場合は、表記時間が総録画時間となります）
※音声を記録する場合は、表記録画時間から約20～50%短縮されます。

5.1.3. 録画

5.1.3.2. スケジュール　　初期値は連続録画になっております。録画を停止したい場合は、設定を変更してください。
（スケジュールの数時間を「録画しない」に変更するなど）



録　画　停　止（無色）：設定時間内は、録画しません。

連　続　録　画（水色）：設定時間内は、連続して録画します。

イベント録画（緑色）：イベント（モーション、センサー）が設定した時間に発生した場合に録画します。
※緑色に変えただけではイベント録画をしません。(5.1.4.1. イベント→モーション等参照）

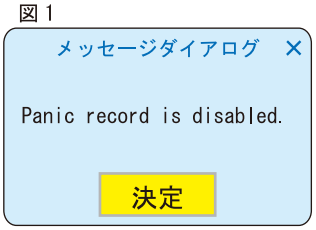
連　続　録　画　＋（橙色）：設定した時間に連続録画、またはイベント録画をします。
イベント録画　　※橙色に変えただけではイベント録画をしません。(5.1.4.1. イベント→モーション等参照）
イベントがない場合は、連続録画設定で録画します。
イベント発生時は、イベント録画設定で録画します。

5.1.3. 録画

5.1.3.3. その他

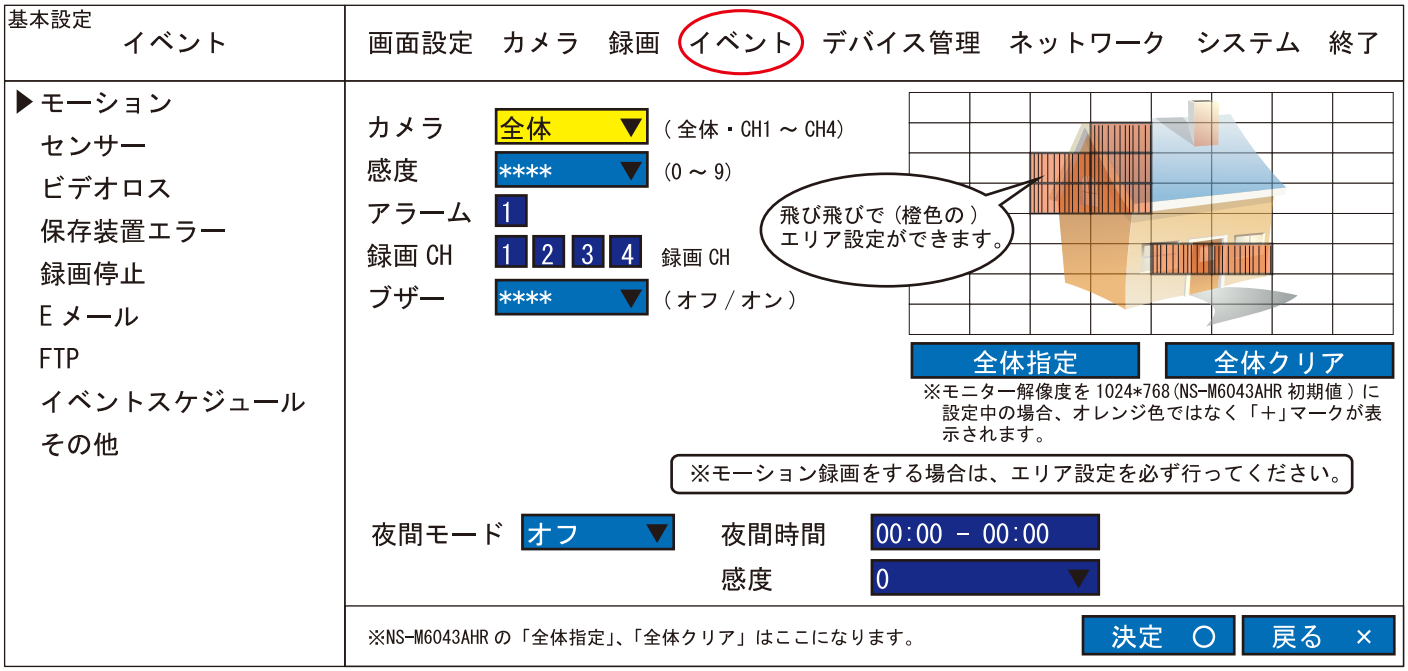
HDD 上書き	オン：録画データがいっぱいになると、最も古いデータが消去され新しいデータに上書きします。 オフ：録画データがいっぱいになると、録画を停止します。
保存期間指定	録画データを保存する期間を設定します。通常は「 000 」で使用します。 上書き「オン」、期間を 2 日にした場合、2 日間の録画を繰り返し録画・上書きをします。最長で設定しても設定値により下回る場合もあります。
プレレコーディング	イベントが発生した時間のどのくらい前から録画を始めるかを、 0 秒～ 5 秒で設定します。
ポストレコーディング	イベント発生終了後、約 2 秒間余計に録画した後の録画時間を、 さらに 0 秒～ 120 秒で設定します。
ウォーターマーク	録画データにウォーターマークを組み込みます。 バックアップビューアソフトのメッセージから確認できます。 ※「オン」でバックアップをし、そのリストを表示し、 左記のアイコンを選択します。 その次に右記のアイコン 0% を選択すると、 「water mark check OK!」 が表示されます。 これをクリック
マニュアル録画	オン：リモコンの [REC/STOP] ボタンを使用して手動で録画のオン・オフができます。（ただしスケジュール録画中は P のみ表示・非表示され、録画されません。） オフ：リモコンの [REC/STOP] ボタン操作は無効になり、メッセージ（図 1）が表示されます。[決定] で閉じてください。

図 1



5.1.4. イベント

5.1.4.1. モーション　　モーション（動体検知）録画の設定ができます。



カ　メ　ラ：モーション設定をするカメラを「全体・CH1 ～ CH4」より選択します。（「全体」については下記枠内参照）

感　　度：モーションの感度を「（低）0 ～ 9（高）」より選択します。※「0」は、モーション録画をしません。

ア ラ ー ム：モーションが検出されたときに発せられるアラーム出力信号です。アラーム出力する場合、[1] を選択します。（水色にします。）
外部装置は、本機のバックパネルの外部 LED 端子（下図の場合①と②）に接続します。
※アラーム出力をする場合は、必ずアラームスケジュールも設定してください。

録　画　C H：録画チャンネルを設定します。（初期は、カメラ番号と同じ数字に設定されています。）
例）CH1 のみモーション録画中ですが、その同時刻に CH2 のカメラも録画したい場合は、
録画 CH の「1」と「2」を選択します。※水色は設定中、青色は未設定です。
再生画面から、「カメラ 1」と「カメラ 2」の映像が同時刻に録画されていることが確認できます。

ブ　ザ　ー：モーションが検出されたときのブザー音の「オン／オフ」を設定します。
※カメラ全体のブザーを「オン」にした場合は、各カメラ毎に設定していなくても、検知する度にブザーが鳴ります。
※その他のイベント持続時間を「0000」に設定した場合、操作があるまで鳴り続けます。

夜 間 モ ー ド：昼間と夜間で別の感度を設定できます。夜間のカメラのノイズによる誤ったモーションイベントを回避するために使用します。
夜間モードを「オン」にすると、「夜間時間」と「感度」を設定できるようになります。※「0」は、モーション録画をしません。

全 体 指 定：すべての領域（8×8 マス）を一度にモーション検出有効領域にします。

全 体 ク リ ア：すべての領域（8×8 マス）を一度にモーション検出無効領域にします。
※感度を「0」に設定した場合、決定をしてもモーション設定は無効になります。
（夜間モードで感度を 0 以外に設定している場合は、夜間モードのみモーション録画されます。）
※全体で変更できるのは「感度」と「ブザー」のみです。その他は、各カメラ毎に設定します。

＜モーション＋ブザー（動体検知するとブザー音が鳴る）の設定方法＞

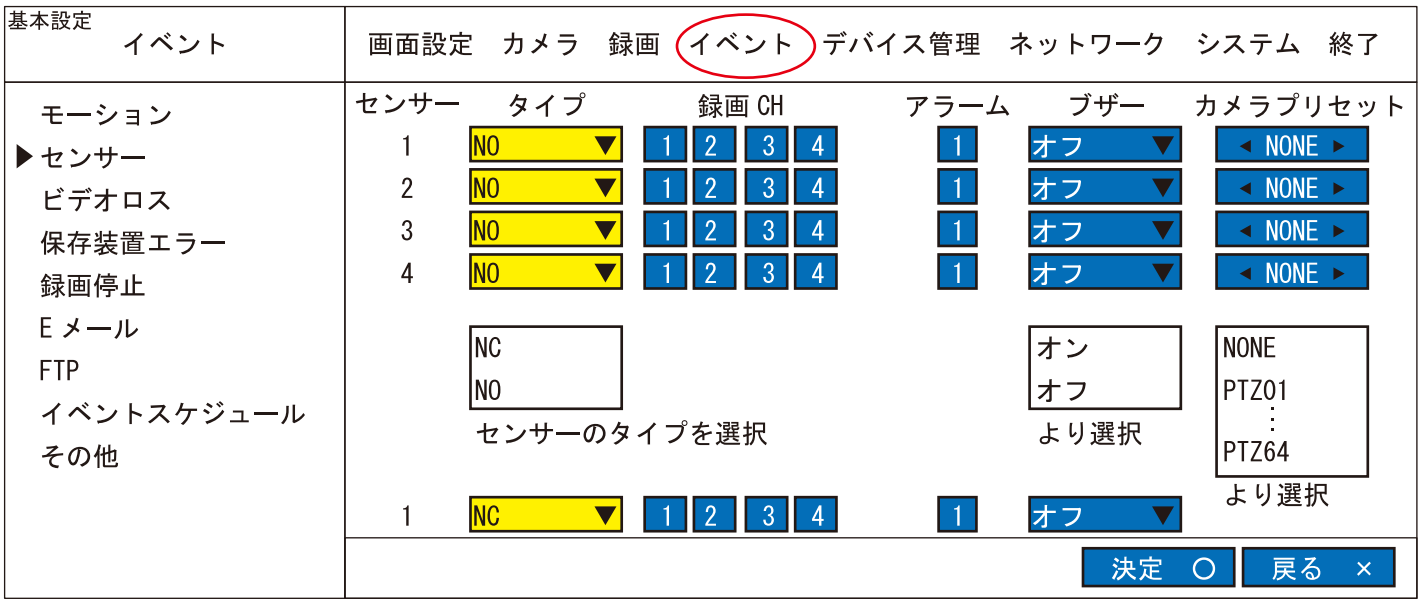
①カメラのチャンネルを選択します。
②感度を選択します。（「0」は、感度ゼロになるので反応しません。）
③録画チャンネルを選択します。（自動的にカメラと同じ番号が選択されますが、他のカメラも同時録画する場合は、そのカメラの数字を選択して水色に変えてください。複数台選択可能です。）
④ブザーをオンにします。
⑤エリアを設定します。

「全体」の設定方法

「全体」を選択している場合は、全てのチャンネルの設定を全て同じ内容にします。
❶感度を選択します。（「0」は、感度ゼロになるので反応しません。）
❷ブザーを鳴らす場合は「オン」にします。
❸エリアを選択します。（全体設定のため、どのチャンネルも全く同じエリアになります。）
※感度とアラームは、設定確定後の表示が「＊＊＊＊」と表示され何を設定したのかわかりません。その際は、各カメラ毎に切り替えて確認します。
※夜間モードを「全体」で設定した場合は、これとは別に「全体」で設定されます。

5.1.4. イベント

5.1.4.2. センサー　外部装置が接続されている場合、変化があった時にブザーを鳴らします。

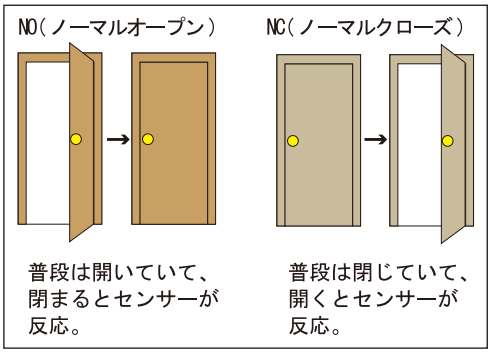


セ ン サ ー ：2 入力（センサー / アラーム端子の「S」と「G」）
タ イ プ ：NO（ノーマルオープン）/NC（ノーマルクローズ）を選択します。
録 画 C H ：センサーが働いた時に録画するチャンネルを選択します。
ア ラ ー ム ：センサーが働いた時に発せられるアラーム出力の番号です。アラーム出力する場合、[1] を選択します。（水色にします。）
外部装置は、本機のバックパネルの外部 LED 端子に接続します。
※アラーム出力をする場合は、必ずアラームスケジュールも設定してください。
ブ ザ ー ：センサーが働いた時のブザー音の「オン / オフ」を設定します。
※その他のイベント持続時間を「0000」に設定した場合、操作があるまで鳴り続けます。
全 体 ：すべてのセンサーに同じ設定を適用します。

アラーム接続箇所
- ALARM1 と ALARM2 に接続してください

センサー接続箇所
- SENSOR1 ～ 4 と G（グランド）に接続してください。

センサーが反応すると、画面上（短画面は中央上、分割画面はカメラ名の横）に、このアイコンが表示されます。



5.1.4. イベント

5.1.4.3. ビデオロス

C H ：ビデオロスした時にブザーを鳴らしたいチャンネルを選択します。

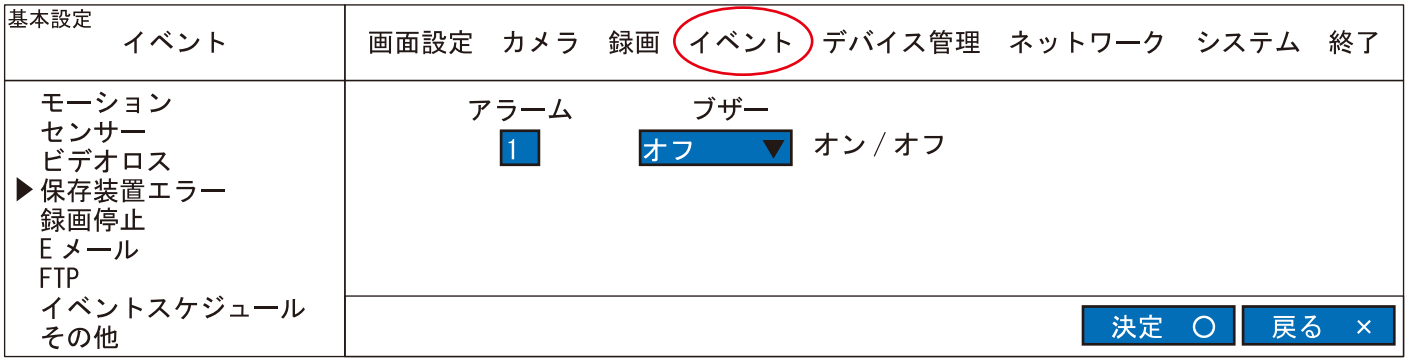
ア ラ ー ム ：センサーが働いた時アラーム出力する場合、[1] を選択します。（水色にします。）
外部装置は、本機のバックパネルの外部 LED 端子に接続します。
※アラーム出力をする場合は、必ずアラームスケジュールも設定してください。

ブ ザ ー ：ビデオロスが発生した時のブザー音の「オン / オフ」を設定します。
※その他のイベント持続時間を「0000」に設定した場合、操作があるまで鳴り続けます。

全 体 ：すべてのカメラに同じ設定を適用します。

5.1.4.4. 保存装置エラー

記録媒体（SD カード /HDD）が認識しなくなった場合、アラーム出力をし、ブザー音で知らせる機能です。



ア ラ ー ム ：センサーが働いた時にアラーム出力する場合、[1] を選択します。（水色にします。）
外部装置は、本機のバックパネルの外部 LED 端子に接続します。

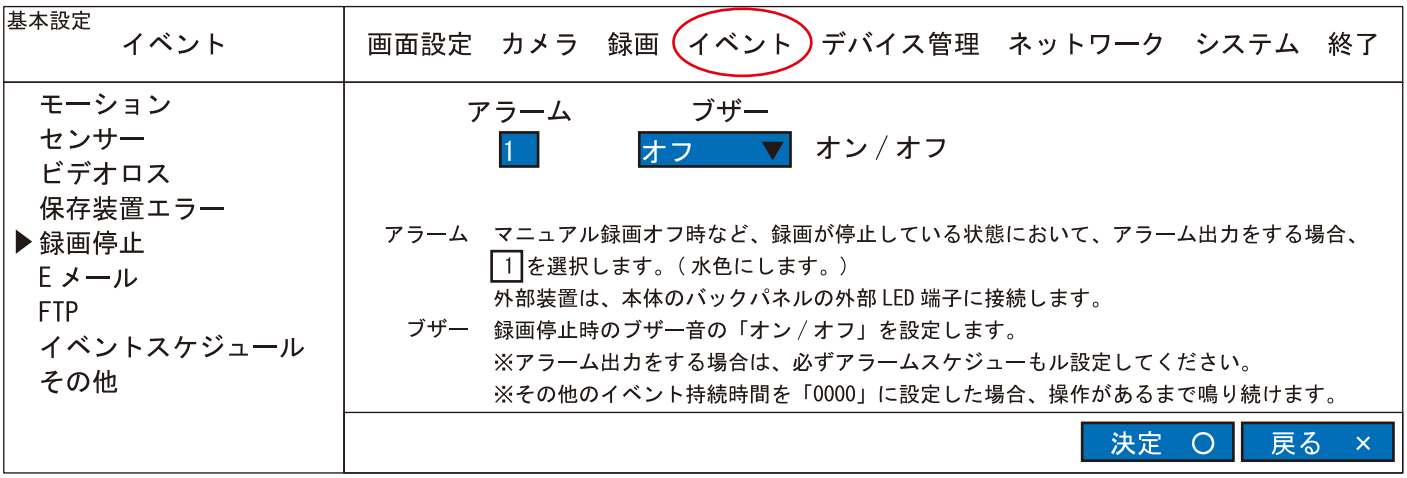
ブ ザ ー ：記録媒体エラー時のブザー音の「オン / オフ」を設定します。※その他のイベント持続時間を「0000」に設定した場合、操作があるまで鳴り続けます。※アラーム出力をする場合は、必ずアラームスケジュールも設定してください。

HDD ERROR

「HDD ERROR」のメッセージの後、本機は再起動をする場合があります。（連続録画設定等の場合は、録画が止まっています。）メニューに入れる状態なら、「システム」→「システム電源 OFF」を選択し、本体の電源を抜き、ご購入の販売店 / 代理店にご相談ください。

5.1.4.5. 録画停止　録画中から録画が停止した場合、アラーム出力をし、ブザー音で知らせる機能です。

※この機能を使用する場合は、連続録画設定にしてください。



アラーム　マニュアル録画オフ時など、録画が停止している状態において、アラーム出力をする場合、[1] を選択します。（水色にします。）
外部装置は、本体のバックパネルの外部 LED 端子に接続します。

ブザー　録画停止時のブザー音の「オン / オフ」を設定します。
※アラーム出力をする場合は、必ずアラームスケジューもル設定してください。
※その他のイベント持続時間を「0000」に設定した場合、操作があるまで鳴り続けます。

5.1.4. イベント　イベントが発生した時に、E メールを送信することができます。
5.1.4.6.E メール　※日本のプロバイダーでは、使用できない場合があります。※

基本設定
イベント

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

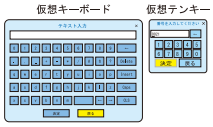
- モーション
- センサー
- ビデオロス
- 保存装置エラー
- 録画停止
- ▶E メール
- FTP
- イベントスケジュール
- その他

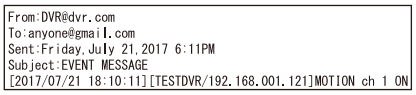
E メール発送　オフ　□画像添付
イベントタイプ　□モーション　□電源 ON　□オートアラーム
□センサー　□HDD エラー　□録画停止
□ビデオロス
DVR-ID
E メールアドレス 1
E メールアドレス 2
E メールアドレス 3
メール送信ポート　NORMAL(25)
サーバー名
ユーザー ID
パスワード

※オートアラームにチェックを入れ、イベントスケジュールのオートアラームをオンにした場合に、23 時に E メールが届きます。

決定 ○　戻る ×

E メール発送：メール通知方法を「オフ / 常時 / スケジュール」より選択します。
画像添付：イベントが発生したときに画像を送信する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
イベントタイプ：どのイベントの時にメールを発送するかをモーション、電源 ON、センサー、HDD エラー等から選択できます。
DVR-ID：E メール発送が常時かスケジュールの時、仮想キーボードでメール発信者の名前などを設定できます。
E メールアドレス 1～3：E メール発送が常時かスケジュールの時、仮想キーボードを使って、3 つまで受信する E メールアドレスを入力できます。
例）anyone@gmail.com
メール送信ポート：E メール発送が常時かスケジュールの時、NORMAL(25)/SSL(465)/TLS(587) より選択します。
サーバー名：メールの送り主になります。メール送信ポートが SSL か TLS の時、仮想キーボードで「SMTP サーバー名」を入力します。
ユーザー ID：メール送信ポートが SSL か TLS の時、仮想キーボードで SMTP サーバーの「ID」を入力します。
パスワード：メール送信ポートが SSL か TLS の時、仮想キーボードで SMTP サーバーの「パスワード」を入力します。
※通常 SMTP サーバーの情報は、POP3/SMTP、IMAP/SMTP の設定メニューで確認することができます。
確認できない場合は、サーバー管理者に問い合わせる必要があります。
例）Gmail にアカウントをお持ちの場合には、サーバー名に smtp.gmail.com と入力し、Gmail の ID およびパスワードを入力してください。





5.1.4.7.FTP　　イベントが発生した時に、テキストと画像を指定の FTP サーバーに送信することができます。

基本設定
イベント

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

- モーション
- センサー
- ビデオロス
- 保存装置エラー
- 録画停止
- E メール
- ▶FTP
- イベントスケジュール
- その他

FTP　オフ
イベントタイプ　□モーション　□電源 ON
□センサー　□HDD エラー
□ビデオロス
FTP アドレス
ID
パスワード
ディレクトリ名
ポート　0021

決定 ○　戻る ×

FTP：イベント発生時に必要なものを「オフ /TEXT/TEXT+IMAGE」より選択します。
イベントタイプ：どのイベントの時に転送するかをモーション、電源 ON、センサー、HDD エラー、ビデオロスから選択できます。
FTP アドレス：FTP がオフ以外の時、仮想キーボードで FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
ID：FTP がオフ以外の時、仮想キーボードで FTP サーバーにアクセスするための ID を入力します。
パスワード：FTP がオフ以外の時、仮想キーボードで FTP サーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。
ディレクトリ名：FTP がオフ以外の時、仮想キーボードで転送されたテキストや画像を保存するFTPサーバーのディレクトリ名を入力します。
ポート：FTP がオフ以外の時、仮想テンキーで FTP 転送を使用するポートナンバーを入力します。通常は「0021」を使用します。

5.1.4. イベント

5.1.4.8. イベントスケジュール

イベントが発生した時に、「メールを送信する」、「アラーム出力」、「FTP サーバーへ転送する」などのスケジュール管理を、曜日毎、1 時間単位で設定することができます。

基本設定 イベント

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

- モーション
- センサー
- ビデオロス
- 保存装置エラー
- 録画停止
- E メール
- FTP
- イベントスケジュール
- その他

イベントタイプ [E メール ▼]　E メール、FTP、アラームより選択します。

全CH	0					5					10					15					20			
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

決定 ○　戻る ×

左上「全 CH」にカーソルがある時に ENTER を押すと下図の様に全て○が付きます。もう一度押すと○が消えます。

↓

基本設定 イベント

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

- モーション
- センサー
- ビデオロス
- 保存装置エラー
- 録画停止
- E メール
- FTP
- イベントスケジュール
- その他

イベントタイプ [E メール ▼]　E メール、FTP、アラームより選択します。

全CH	0					5					10					15					20			
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

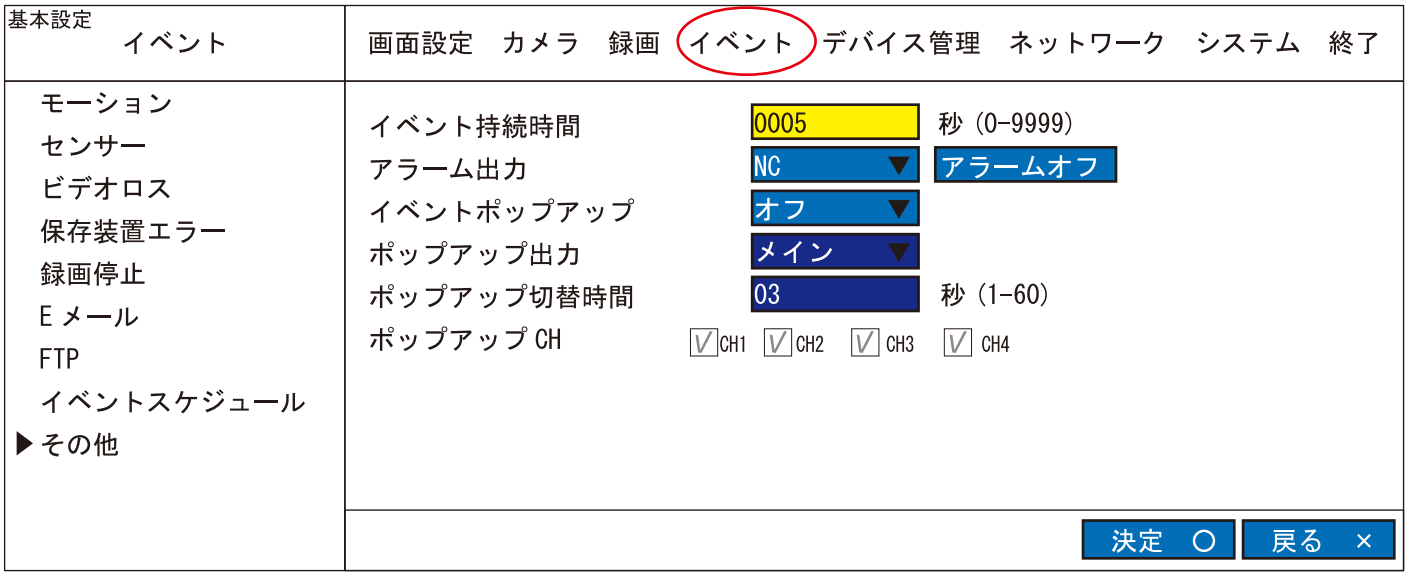
決定 ○　戻る ×

「E メール」:○が付いている曜日・時間のみ「E メール」で設定したアドレスへ送られます。
「F　T　P」:○が付いている曜日・時間のみ「FTP」で設定した FTP サーバーへ送られます。
「アラーム」:○が付いている曜日・時間のみアラーム出力されます。

※アラームを選択した場合、「オートアラーム」設定のオン / オフ画面が表示されます。
「オートアラーム」とは、「一日 / 一週 / 一月」に 1 回、アラームトリガーを出力する機能です。
（出力時間は 23 時に 3 秒）

オートアラーム　[オフ ▼]　オフ / オン
アラーム時間　[一週 ▼]　一日 / 一週 / 一月

5.1.4. イベント
5.1.4.9. その他



イベント持続時間：アラーム出力の継続時間を「0000 ～ 9999（秒）」より設定します。
イベント発生後、アラーム出力が発生します。復旧後（イベント終了後）、アラーム出力は、停止します。
例）「10」を入力した場合、10 秒間アラーム出力します。初期値は 5 秒間です。
※「9999」を入力すると連続になります。
※「0000」でのブザー設定は、操作がない限り鳴りやみません。

アラーム出力：アラームが出力中にメニュー画面上の「アラームオフ」を押すとアラーム出力が止まります。
※メニューが開けないスポットモニタの場合は、イベント持続時間を「9999」に設定していると、リモコンやマウス操作しない限り音が止まりません。（センサー / アラーム端子の「ALARM」に接続）

イベントポップアップ：○「オフ」
イベントポップアップは発生しません。
○「全体（全てのイベント）」、「モーション」、「センサー」
何れかのイベントが発生したチャンネルが、フルスクリーンモードでポップアップ（パッと急に現れる画面）します。

ポップアップ出力：ポップアップ表示を「メイン」（メインモニタにポップアップ表示）、「スポット」（スポットモニタにポップアップ表示）より選択します。
※スポットモニタの場合、メニュー操作はできません。

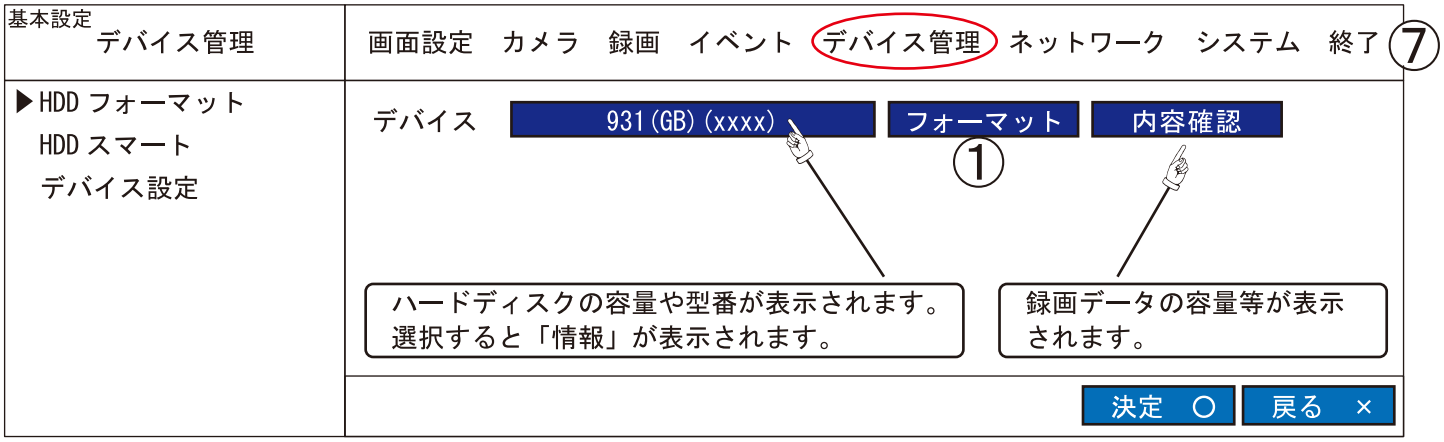
ポップアップ切替時間：ポップアップ表示が継続する時間を「01 ～ 60（秒）」より設定します。

ポップアップ CH：ポップアップ表示するチャンネルを選択します。初期値は全チャンネルが選択されています。
※ポップアップ中に新規のイベントが発生した場合は、新規のイベントのポップアップが優先されるためイベント持続時間、ポップアップ切替時間通りにはポップアップされません。

5.1.5. デバイス管理

5.1.5.1.HDD フォーマット

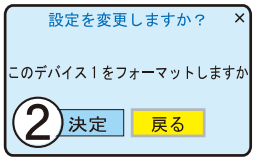
新品の記録媒体（SD カード /HDD）を使用する際は、記録媒体をフォーマットする必要があります。なお、使用中の記録媒体をフォーマットするとデータは全て消去されます。大切な映像は事前にバックアップを作成されることをおすすめします。



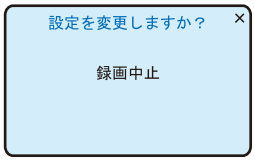
① フォーマット手順

※録画中でもフォーマットは可能です。
　設定内容も変わりません。
※保存データは全て消去されます。

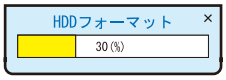
①フォーマットしたい HDD の
「フォーマット」を選択します。
②「決定」します。



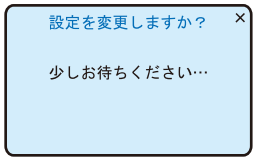
③自動で録画を停止しています。



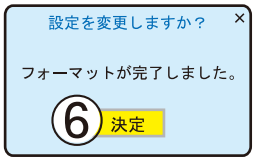
④フォーマットを始めます。0%→30%→



⑤100% の後、少し待ちます。



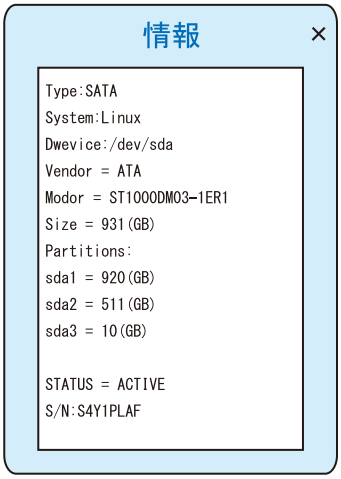
⑥「決定」してフォーマットを終了します。



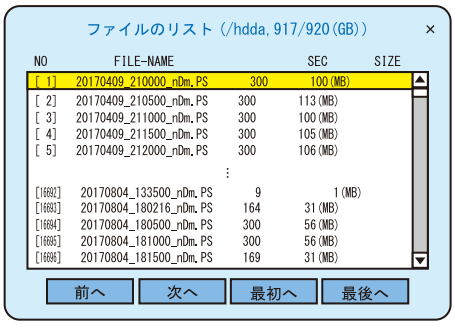
完了までに数分かかります。

⑦「終了」を選択してライブ映像に戻ります。

「デバイス」を選ぶと下記のような HDD 情報が表示されます。

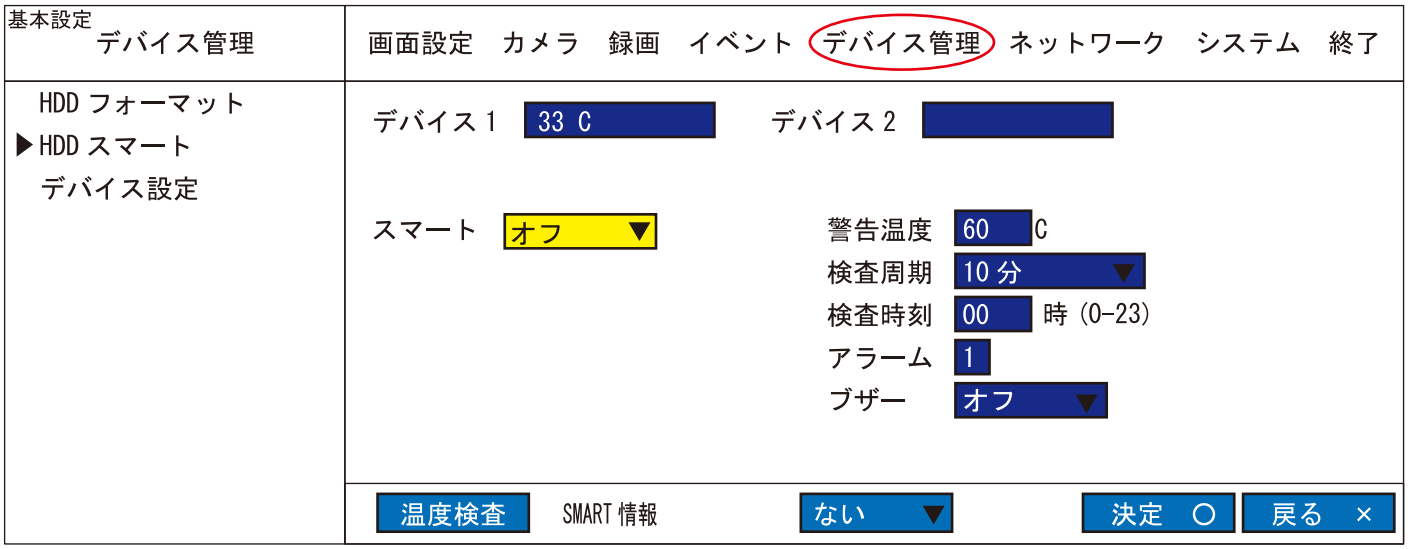


「内容確認」を選ぶと下記のような録画ファイルリストが表示され、使用中のデータ量や 1 ファイル毎のデータ量などを確認できます。



5.1.5. デバイス管理

5.1.5.2.HDD スマート　　HDD の温度の管理をします。E-SATA HDD ケースの接続によって、SMART 情報が取得できない場合があります。



デ　バ　イ　ス　1：各デバイス（HDD）の現在の温度を表示しています。上記の「33C」は 33 度になります。
デ　バ　イ　ス　2：使用しません。
ス　マ　ー　ト：○「オフ」
　○「オン」は、設定変更ができます。
　＜警告温度＞ーHDD の警告温度を「0 度～ 99 度」より設定できますが、「60 度」のままご使用ください。
　＜検査周期＞ー「10 分」、「1 時間」、「1 日」より選択できます。
　＜検査時刻＞ー検査周期の「1 日」を選択した場合、「0 時～ 23 時」より検査時刻を設定できます。
　＜アラーム＞ー警告温度以上になった時に発せられるアラーム出力番号です。出力は 1 つしかないので「1」になります。
　　※水色はアラーム設定中、青色はアラーム未設定です。
　＜ブ　ザ　ー＞ー警告温度以上になった時のブザー音の「オン / オフ」を設定します。
　　※ブザーを鳴らす時は必ずアラーム 1 を水色にしてください。
温　度　検　査：現在の温度を調べることができます。表示温度と同じ場合は何のアクションもありません。
S M R A T　S T A T U S：HDD の健康診断のようなものです。
　「NONE」…何も確認しません。
　「デバイス 1 」他…デバイスを選択すると、ハードディスクの状態が表示されます。（下表参照）

※上記全ての設定後「決定　○」を選択しても「お待ちください…」は表示されませんが、設定されています。

>>>SMART Result : GOOD(Ver:0010h)

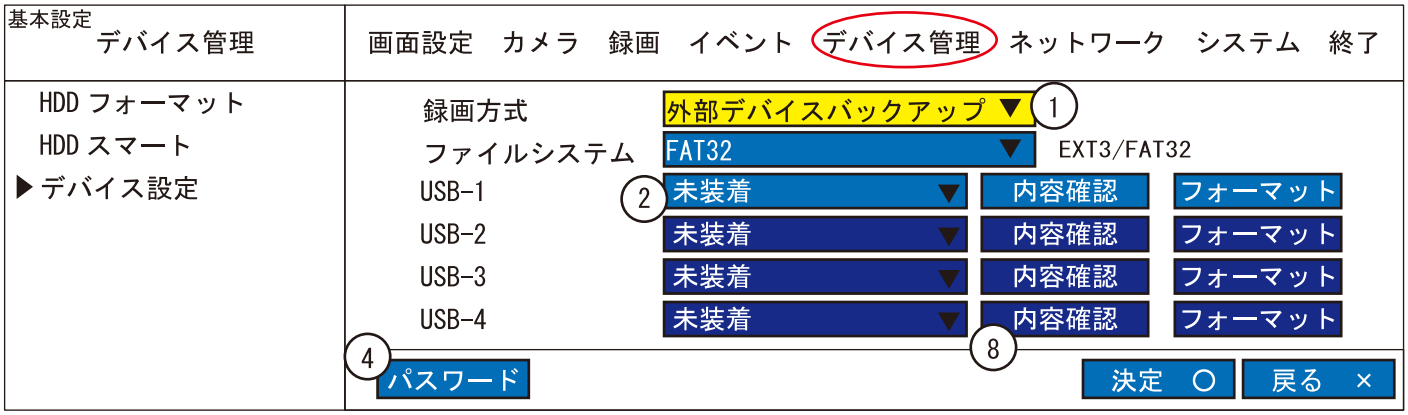
	ID	CURRENT(現在値)	WORST(最悪値)	RAW	
01	Raw read error rate	200	200	0	リードエラーレート
03	Spinup time	091	178	3450	スピンアップ時間
04	Start/Stop count	100	100	9	スタート / ストップ回数
05	Reallocated sector count	200	200	0	代替処理済のセクタ数
07	Seek error rate	200	200	0	シークエラーレート
09	Power-on hours count	100	100	355	使用時間
0A	Spinup retry count	100	253	0	スピンアップ再試行回数
0B	Calibration retry count	100	253	0	キャリブレーション再試行回数
0C	Power cycle count	100	100	9	電源投入回数
C0	Power-off retract count	200	200	6	電源断による磁気ヘッド退避回数
C1	Load/Unload cycle count	200	200	3	ロード / アンロードサイクル回数
C2	HDA temperature	114	106	33	温度
C4	Reallocation count	200	200	0	不良セクタから代替セクタへのチェック回数
C5	Curent pending sector count	200	200	0	代替処理保留中のセクタ数
C6	Uncorrectable sector count	100	253	0	回復不可能セクタ数
C7	UDMA CRC error rate	200	200	0	UltraDMA CRC エラー数
C8	Write error rate	100	253	0	書き込みエラー発生率

※「05」の RAW 数値が増えた時は、注意が必要です。「C5」、「C6」の RAW 数値が現れた時は、正常に動作しない場合があります。
※上表項目は HDD によって変わるため一例となります。また上表の数値は参考数値です。
※上表の画面を閉じて、最初の画面に戻る時は、「SMART STATUS」を「NONE」にしてください。

5.1.5. デバイス管理

5.1.5.3. デバイス設定

「外部デバイスバックアップ」、「リレー録画」、「自動バックアップ」について説明します。



〈録画方式〉（録画（バックアップ）方式）

「外部デバイスバックアップ」→ 本機に USB 接続された外付け HDD にバックアップをとります。

「リレー録画」→ 録画中、本機の HDD がいっぱいになった場合、上書きされる一番古い映像から自動的に、USB 接続された外付け HDD へ録画をする機能です。※USB デバイスもいっぱいになると上書きされていきます。

「ミラー録画」→ 本機に USB 接続された外付け HDD に、録画中のデータと同じデータを自動的にバックアップを行います。

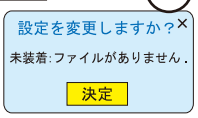
※「外部デバイスバックアップ」、「リレー録画」、「ミラー録画」は、USB-1 ～ 4 まで順番に設定することができます。

〈ファイルシステム〉

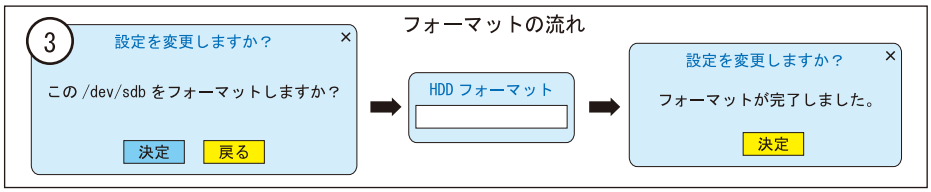
EXT3/FAT32 より選択します。

※2TB 以上の HDD をご使用の場合は , EXT3(Linux) を推奨します。windows の場合は Fat32 を選択し、2TB までの HDD をご使用ください。

「内容確認」をするとファイルのリストが表示されます。(データ容量が少ない場合、右のエラーメッセージが出ることもあります。)



「フォーマット」は、選択中の USB デバイスをフォーマットすることができます。



「内容確認」「フォーマット」を選択しても未装着の場合は右記のメッセージが表示されます。

〈パスワード〉

USB デバイスのみ設定が可能です。

自動バックアップしたバックアップデータを、パソコンを使って専用ソフト「Player」で見る時にパスワード入力をしないと再生できないようにする機能です。

※「外部デバイスバックアップ」選択時のパスワードは、「バックアップ」ダイアログにて設定します。「5.5 バックアップ (2)」を参照ください。

【設定の手順】

①「外部デバイスバックアップ」、「リレー録画」、「自動バックアップ」より選択します。

②USB-1 ～ 4 に接続中の USB デバイスを選択します。[図 1]

同じ USB を選んでいる場合エラーになります。その場合は、一度「未装着」を選択して、選びなおしてください。

③フォーマットが必要な場合は、フォーマットをします。（上手参照）

④「リレー録画」、「自動バックアップ」を設定中の場合は、ここでパスワードを設定します。

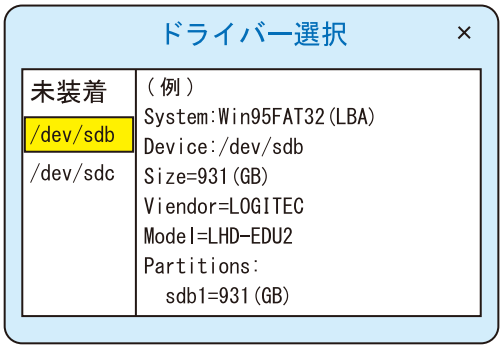
⑤仮想キーボードやリモコンを利用して、任意の数字を入力します。

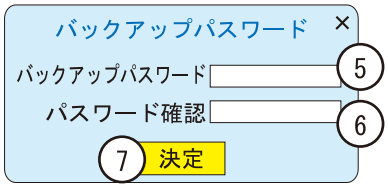
⑥同じ数字を確認用にもう一度入力します。（忘れないようにメモをしてください。）

⑦「決定」します。

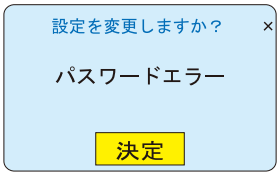
※間違えた場合、[図 2] が表示されます。「決定」をして、前の画面に戻ってください。

[図 1]





[図 2]



⑧「決定　○」を選択し、終了します。

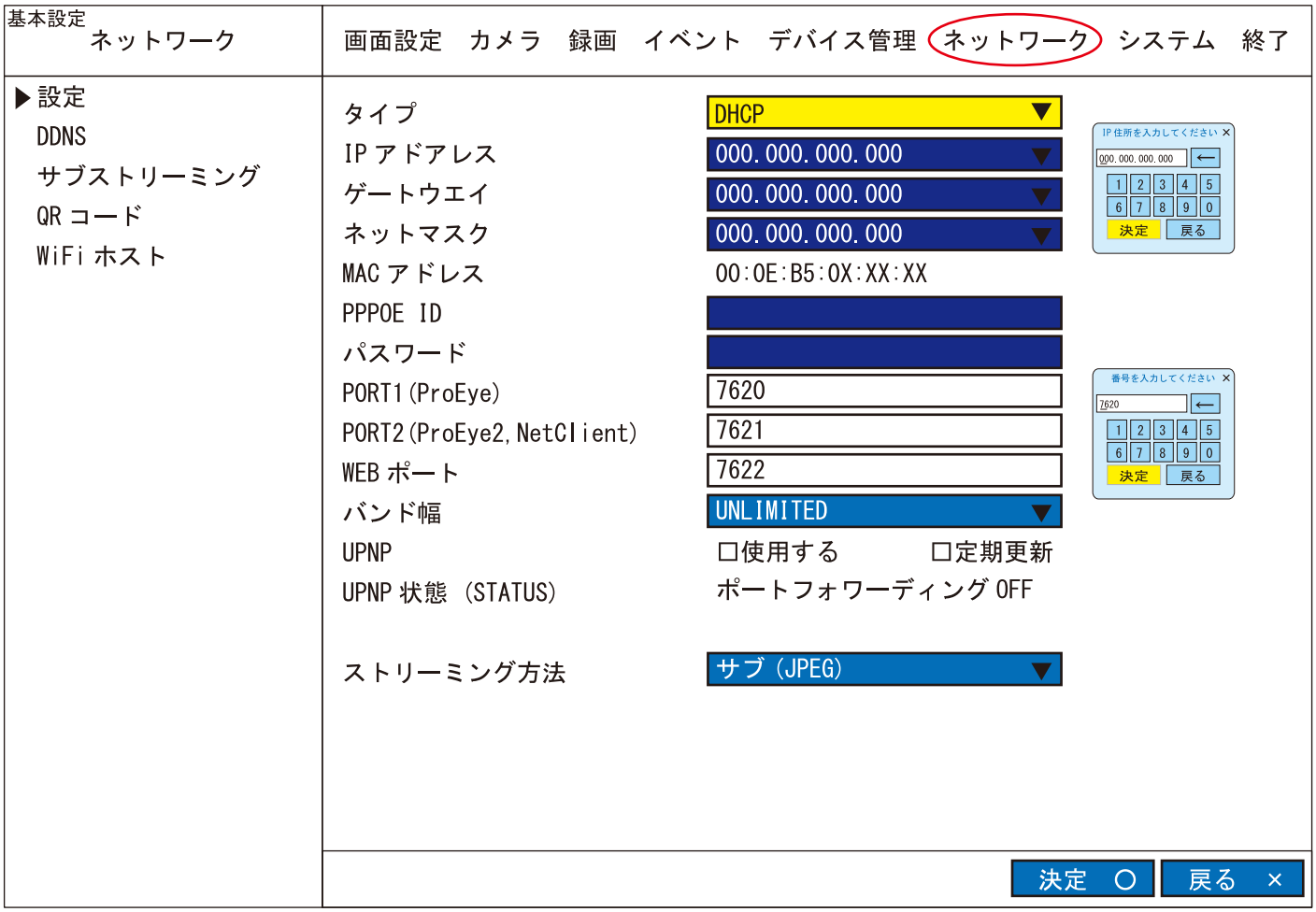
⑨ライブ映像に戻ると、画面右上にバックアップ設定中のアイコン が表示中になります。

⑩バックアップをとった映像をパソコンで再生する場合は、「5.5 バックアップ (4) と (5)」を参照してください。

※「自動バックアップ」、「リレー録画」の場合、USB デバイスの中がデータでいっぱいになると、USB デバイスの中で上書きが始まりますのでご注意ください。　USB デバイスを本機から外す場合は、設定を未装着に変更するか、録画を停止してください。

5.1.6. ネットワーク　ネットワークによる遠隔監視や、LAN 内接続について設定します。詳しくは別紙をご覧ください。

5.1.6.1. 設定



タ　　イ　　プ：「STATIC」、「DHCP」よりネットワークのタイプを選択してください。

○「STATIC」ーお使いのネットワーク環境をチェックして、IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを手動で入力します。

※こちらの設定の使用を推奨します。

○「DHCP」ー本機は自動的に IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを取得します。

ＩＰ　ア　ド　レ　ス：「STATIC」を選択した場合に設定します。仮想テンキーで数値を入力してください。

ゲ　ー　ト　ウ　ェ　イ：「STATIC」を選択した場合に設定します。仮想テンキーで数値を入力してください。

ネ　ッ　ト　マ　ス　ク：「STATIC」を選択した場合に設定します。仮想テンキーで数値を入力してください。

ＭＡＣ　ア　ド　レ　ス：本機の MAC アドレスです。

ＰＰＰＯＥ　ＩＤ：無効です。

パ　ス　ワ　ー　ド：無効です。

ＰＯＲＴ１（ＰｒｏＥｙｅ）：ProEye で使用するポートです。

ＰＯＲＴ２(ProEye2,NetClient)：NetClient、ProEye2 で使用するポートです。

ＷＥＢ　ポ　ー　ト：Web ビューアやリモート設定で使用するポートです。

バ　　ン　　ド　　幅：「UNLIMITED/64KBPS/128KBPS/256KBPS/512KBPS/1MBPS/2MBPS/4MBPS/10MBPS」の中より、ネットワークに適した速度を選択してください。

ＵＰＮＰ：ユニバーサルプラブ＆プレイ .UPNP を使用する場合はチェックボックスにチェックを入れます。

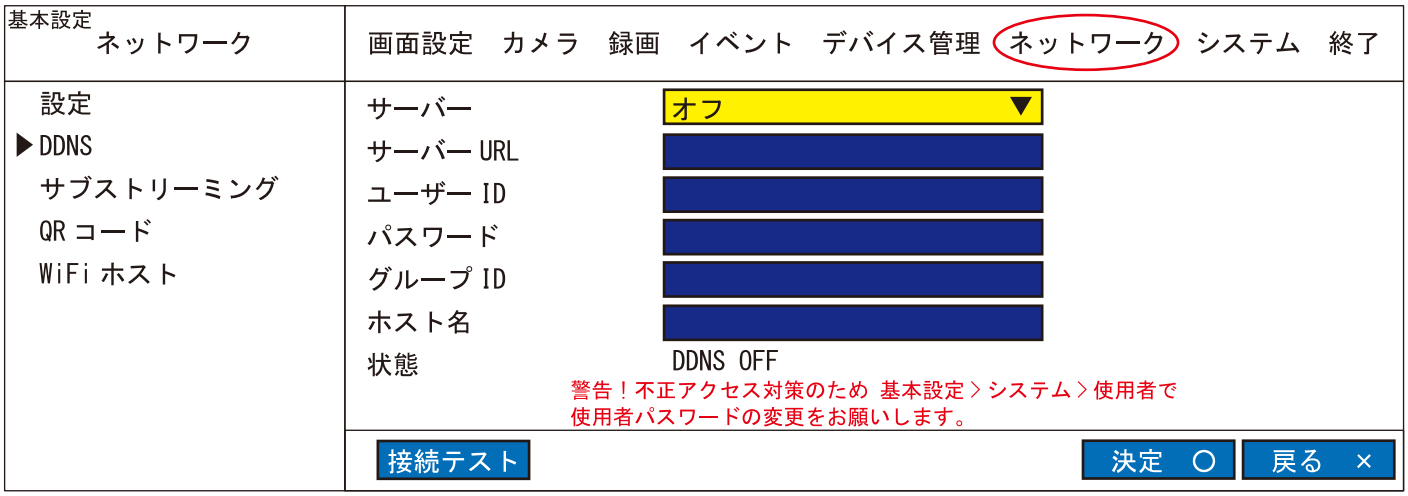
ＵＰＮＰ　状　態：UPNP の状態を表示します。

ストリーミング方法：ネットワーク経由のライブ映像の圧縮方式を選択します。「メイン (H.264)」、「サブ (JPEG)」より設定します。

※「サブ (JPEG)」に設定しないと「proeye」では映像が出ません。

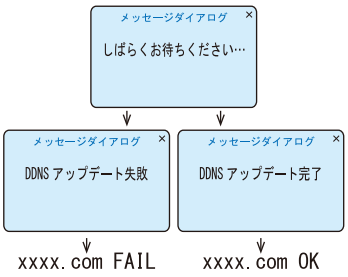
5.1.6. ネットワーク

5.1.6.2. DDNS



本機専用の DDNSCCTV.COM(AUTO) の利用をお勧めします。
（本機は DDNS 接続のために DYNDNS.COM、NO-IP.COM、DDNSCCTV.COM、もサポートしていますが、DDNS 機能を使用するにあたり
アカウントをお持ちでない場合は、「www.dyndns.com」「www.no-ip.com」「www.ddnsctv.com」の何れかに PC でアクセスし、アカウント
を作成して、ドメイン（ホスト）名を作成する必要があります。）

サーバー：○「オフ」ネットワーク設定をされない方は、このままご使用ください。
　　○「DYNDNS.COM」、「NO-IP.COM」、「DDNSCCTV.COM」、「DDNSCCTV.COM(AUTO)」より DDNS サーバーを
　　選択してください。
サーバー URL：何れかのサーバーを選択すると、自動で入力されます。
ユーザー ID：DDNS サーバーのアカウント ID が必要な場合は、仮想キーボードで入力します。
パスワード：DDNS サーバーのアカウントのパスワードが必要な場合は、仮想キーボードで入力します。
グループ ID：必要な場合は、仮想キーボードで入力します。
ホスト名：DDNS サーバーで作成したドメイン（ホスト）名が必要な場合は、仮想キーボードで入力します。
　　※DDNS 接続に失敗した場合は、全ての情報が正しく入力されているかどうかを確認してください。（別紙参照）
状態：接続テストの結果が表示されます。（「…FAIL」、「…OK」）
接続テスト：DDNS サーバーへの接続を確認する時は、この「接続テスト」を選択します。



※パスワードは必ず変更してください。※

遠隔監視の DVR 登録方法

スマートフォン・タブレットで見る場合の設定方法

1. app store 又は play ストアで proeye2 と検索しインストールします。
2. アプリを開き画面上の マークを押します。
   Name ： 任意
   IP Address LAN 内で見る場合 _____
   LAN 外で見る場合 _____
   Port ： _____
   User ID ： _____ （初期 ID は admin）
   Password ： _____ （初期 Password は 0000）
3. すべて打ち込んだら マークを押します。
4. List に上記で登録した名前が表示されますのでそれを押します。
5. Edit DVR List が開くので マークを押すと映像が再生されます。
6. 再生画面から戻る場合は close を押すと戻れます。 ※再生中は通信料が発生しますので長時間の視聴にはご注意ください。

※ログインパスワードを設定したい場合は マークを押して設定を開き
Password を ON にして任意の英数字を打ち込んでから
マークを押すと設定することができます。

5.1.6. ネットワーク

5.1.6.3. サブストリーミング

基本設定
ネットワーク

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

- 設定
- DDNS
- ▶サブストリーミング
- QR コード
- WiFi ホスト

CH	解像度	イベント録画（fps）	
1	D1	普通画質	4
2	D1	普通画質	4
3	D1	普通画質	4
4	D1	普通画質	4
	D1 CIF より選択	低画質 普通画質 高画質 最高画質 より選択	0 1 2 4 8 15 より選択
全体	D1	普通画質	Max

0/1/2/4/8/15/MAX より選択します。※（　）は PAL の場合です。

決定 ○　戻る ×

ストリーミング方法がサブ（JPEG）の場合、本機は「解像度」、「画質」、「フレームレート」の異なるネットワークストリームを送信します。

ストリーミング方法がメイン（H.264）の場合、本機は録画パラメータで設定された解像度、画質、フレームレートでストリーム送信します。

5.1.6.4. QR コード

基本設定
ネットワーク

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

- 設定
- DDNS
- サブストリーミング
- ▶QR コード
- WiFi ホスト

QRコード
見本

決定 ○　戻る ×

専用ソフト「Proeye2」から QR コードを読み込むことで、機器の情報がスマートフォンに自動に送られ入力の手間が省けます。

5.1.6.5. WiFi ホスト（1）　※USB ドングルを挿してすぐ再起動をしてください。（メニュー「システム」→「再起動」）

基本設定
ネットワーク

画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了

- 設定
- DDNS
- サブストリーミング
- QR コード
- ▶WiFi ホスト

WiFi 使用	オフ	オフ / オン
ホスト SSID	nskxxxxxx	
ホストパスワード	********	出荷値は「88888888」
RF チャンネル	9	0 ～ 13
SSID ステルス	オフ	オフ / オン

決定 ○　戻る ×

USB ドングル：RTL 8192CU/RTL8188CU のチップを使用しているものをご準備ください。

※LAN ポートの IP アドレスと、WiFi の IP アドレスは同一です。

暗号化：「WPA2PSK」

※注　ホストパスワードを変更した場合、忘れないようにしてください。

5.1.6. ネットワーク

5.1.6.5.WiFi ホスト (2) スマートフォンアプリ proeye2 で映像を確認する

※LAN ポートにネットワーク接続をしていない場合※ （モニターと DVR を接続してください。）

①USB ドングルを USB ポートに挿す
②「メニュー」-「基本設定」-「システム」から「再起動」を実行
③「メニュー」-「基本設定」-「ネットワーク」-「設定」のタイプ、IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを変更

タイプ	DHCP ▼
IP アドレス	192.168.001.010 ▼
ゲートウエイ	192.168.001.001 ▼
ネットマスク	255.255.255.000 ▼
MAC アドレス	00:0E:B5:XX:XX:XX

自動で表示されない場合は、タイプを「STATIC」に変更して IP アドレス～ネットマスクまで、手動で入力してください。

<iOS>

④端末の IP アドレスを手動で設定

例）iOS10.2.1 の場合

「設定」-「WiFi」-「nskxxxxxx」を選択

⑤「nskxxxxxx」の ⓘ をタップ

※パスワード確認時は、8 桁の「ホストパスワード」を入力

⑥「静的」を選択

IP アドレス：推奨 192.168.1.20

（端末毎に「2 ～ 255」いずれかに変更してください）

サブネットマスク：255.255.255.0

ルーター：192.168.1.1

DNS：192.168.1.1

前のページに戻る

<android>

④端末の IP アドレスを手動で設定

例）android6 の場合

「設定」-「WiFi」-「nskxxxxxx」を選択

⑤「nskxxxxxx」の を長押し

※パスワード確認時は、8 桁の「ホストパスワード」を入力

⑥「ネットワークを変更」➡「詳細設定項目」➡「静的」を選択

IP アドレス：推奨 192.168.1.20

（端末毎に「2 ～ 255」いずれかに変更してください）

ゲートウェイ：192.168.1.1

ネットワークプレフィックス長：24

DNS：192.168.1.1

接続をタップ

⑦Proeye2 アプリを立ち上げて、 をタップします。
⑧ をタップしても自動で表示されない場合は「×」で閉じてください。手入力します。
⑨「Name」「IP Address」「Port」「User ID」「Password」を入力して をタップします。
⑩入力した名前を選択し、 をタップして映像を確認します。

⑨

Name	任意
IP Address	192.168.1.10
Port	7621
User ID	admin
Password	admin のパスワード

5.1.7. システム

「時間」、「ユーザー」などの設定ができます。バージョンの確認やアップグレードもできます。

5.1.7.1. ビデオタイプ

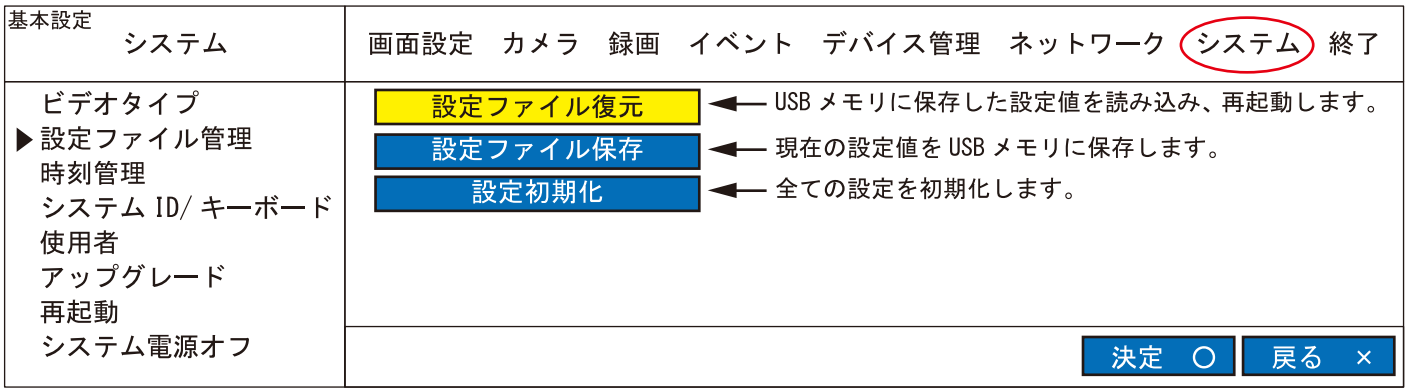
基本設定 システム	画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了
▶ビデオタイプ 設定ファイル管理 時刻管理 システム ID/ キーボード 使用者 アップグレード 再起動 システム電源オフ	ビデオ　NTSC ▼ 決定 ○　戻る ×

「NTSC」で使用します。「PAL」でご使用されると映らなくなる場合があります。

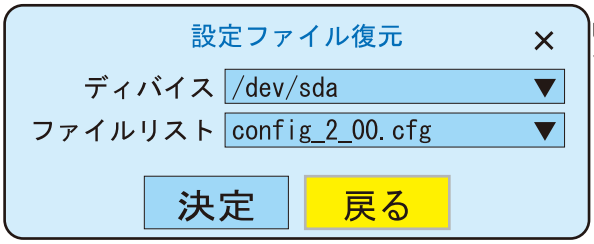
5.1.7. システム

5.1.7.2.CONFIG ファイル管理

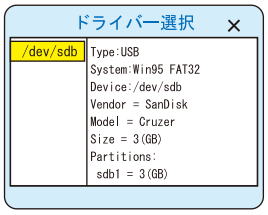
本機で設定した情報（設定値）を USB メモリにコピーすることができます。
また、同じ設定値を持つ複数のレコーダーを作ることができます。
全ての設定を初期化することができます。



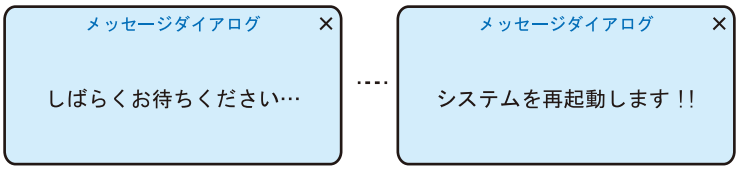
設定ファイル復元



［ディバイス］
USB メモリの事です。選択すると「ドライバー選択」画面に切り替り USB メモリの情報が表示されます。
※USB メモリが挿入されていない場合は、「ディバイスがありません」と表示されます。
［ファイルリスト］
「設定値エクスポート」で作成したデータを選択します。
いくつか保存している場合は、選択すると保存データの「xxx.cfg」が表示されます。
※データが無い場合は、「ファイルがありません」と表示されます。
※USB メモリが無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。



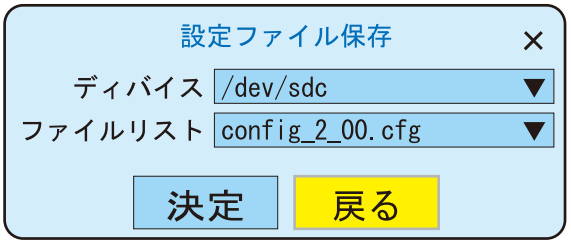
「決定」すると画面が下記に変わり、再起動を始めます。



----「ファイルリスト」より選択した設定値に変更されました。

設定ファイル保存

（現在の設定内容を使用される場合、初期化する前に設定ファイル保存を行ってください。）

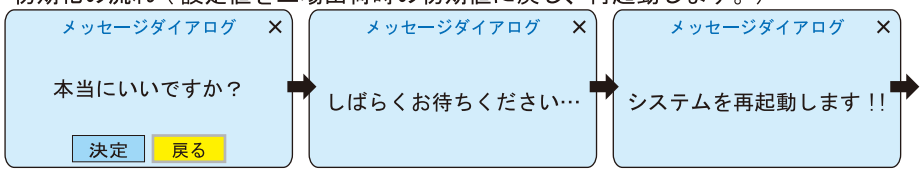


［ディバイス］
USB メモリの事です。選択すると「ドライバー選択」画面に切り替り USB メモリの情報が表示されます。
※USB メモリが挿入されていない場合は、「ディバイスがありません」と表示されます。
［ファイルリスト］
ファイル名を自分で設定できます。仮想キーボードで .cfg の前を変更します。
（必ず最後が「.cfg」になるように名前を付けてください。）
※ファイルリストには必ず「xxx.cfg」が表示されます。既に同じ名前で作成している場合、名前を変更しないとこのまま上書きされてしまいます。

----「決定」を選択して終了します。

設定初期化

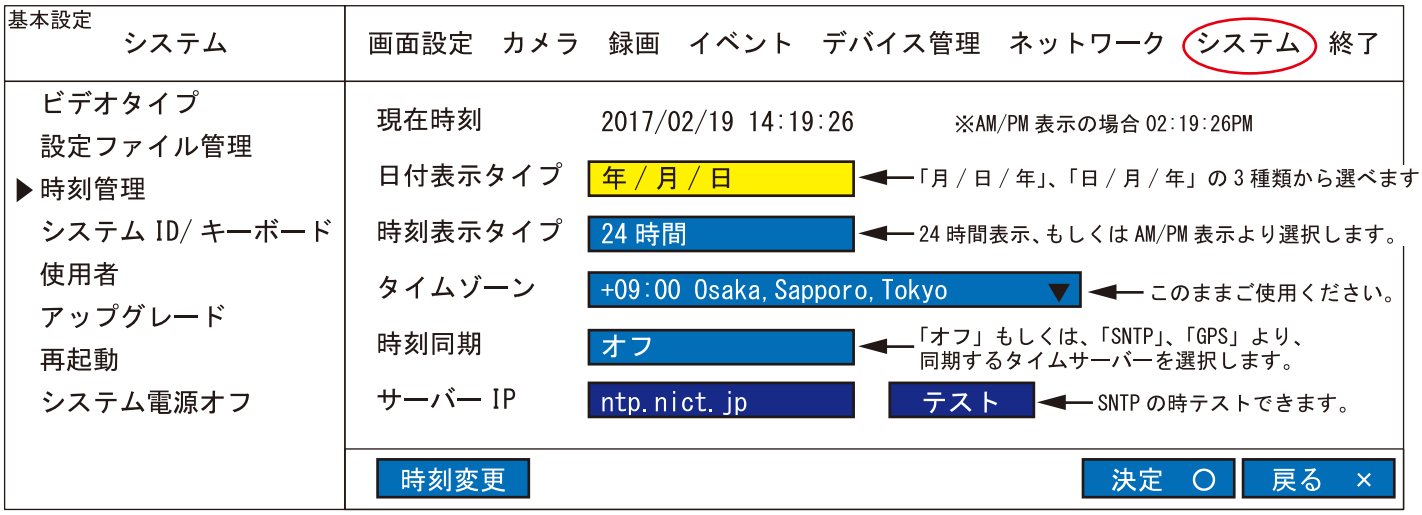
初期化の流れ（設定値を工場出荷時の初期値に戻し、再起動します。）



➡ ライブ映像が表示されます。

5.1.7. システム

5.1.7.3. 時刻管理



◎ 手動での時刻変更は、時刻同期が「オフ」の時に変更できます。

①時刻同期を「オフ」にしてください。

②「時刻変更」を選択し実行してください。

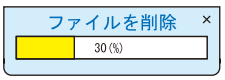
③下記[図1]仮想テンキーが表示されます。現在の時刻より10秒程多めにを入力して「決定」してください。

④直ぐ下記[図2]が出ますので、もう一度「決定」を押してください。

※時報などを利用して合わせる場合、[図2]の「決定」をする時に、2秒程早めに[決定]を押すと合いやすいです。
同じ時間ができないように、一旦時刻ファイルを削除する場合[図3]もあるため、さらに数秒遅れて設定されます。

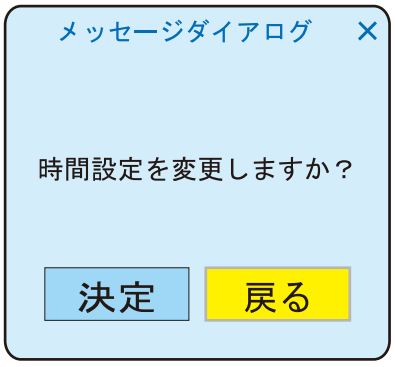
⑤[図4]の「決定」をして終了します。

[図 3]

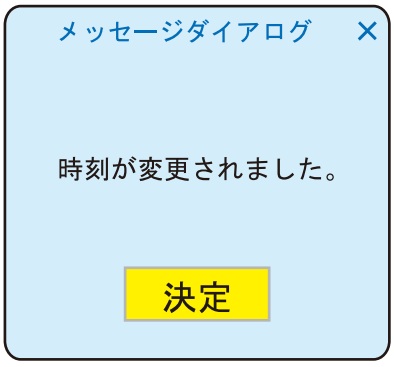


[図 1]

[図 2]



[図 4]



※本機内蔵のクロックは、水晶発振子を使用しているため、時間経過とともに時計のくるいが生じます。従って、手動での定期的な時計合わせを行っていただくか、時刻同期で「GPS」もしくは「SNTP」を選択して下記の方法をご利用ください。

◎ 「GPS」利用の時刻表示は、オプションのGPSユニットが必要です。(インターネット環境は不要です。)

①GPSユニットをGPSポートに差し込んでください。画面にGPSのアイコン(下図参照)が表示されます。

※時刻が合わない時は、一度時刻同期を「オフ」にして決定し、再度「GPS」を設定し直してください。

※リセット後は、時刻同期をGPSに再設定してください。

◎ 「SNTP」利用の時刻表示は、ネットワークの設定が必要です。

接続されていない場合は、タイムサーバー同期機能は無効になります。

①タイムサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を仮想キーボードより入力してください。

例)ntp.nict.jp

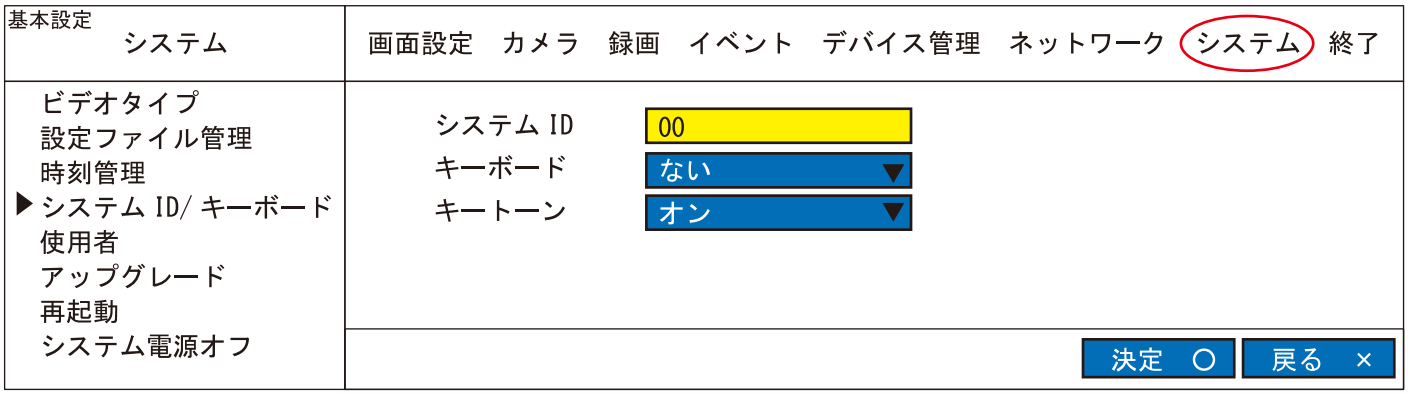
②タイムサーバーとの接続がOKであるかどうか確認するには「テスト」を実行してください。

③本機は1時間毎にタイムサーバーにアクセスし、正しい時刻をチェックします。

※ネットワーク設定に関する詳細は、別紙をご覧ください。

5.1.7. システム

5.1.7.4. システム ID/ キーボード　　リモコンの音を止めたり、入力、操作機器について設定します。

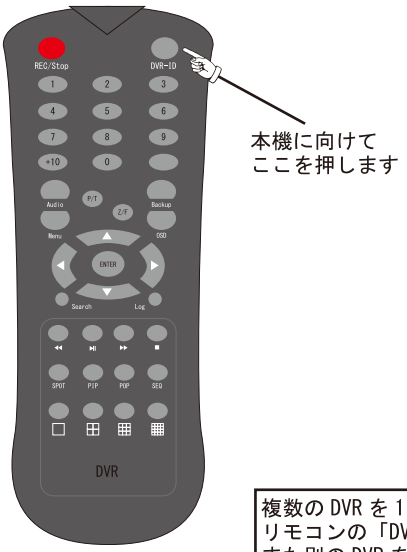


シ　ス　テ　ム　I　D：本機に登録したい番号を「00 ～ 99」より入力してください。
キ　ー　ボ　ー　ド：使用しません。
キ　ー　ト　ー　ン：○「オン」ーリモコンを押したときに「ピッ！」と、ビープ音が鳴ります。
　　○「オフ」ーリモコンを押したときに、音が鳴らなくなります。

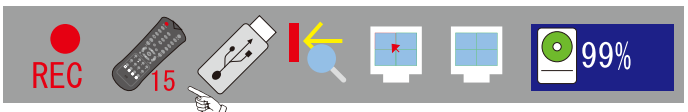
＜システム ID のセットアップ方法＞

システム ID は、ユーザーが 1 台のリモコンで複数のシステム（DVR）を操作する時に使用されます。
システム ID は、システム ID が「01 ～ 99」の場合、画面右上にリモコンのアイコンとそのシステム ID の数字（01 ～ 99）で表示されます。
リモコンの DVR-ID ボタンを使用して、「リモコンの DVR-ID」と「本機のシステム ID」を一致させることができます。
システム ID が「00」の場合、システム ID は画面右上には表示されず、システム（DVR）はどの数値（DVR-ID）のリモコンでもキーを受け付けます。
また、リモコンの DVR-ID を「00」に設定した場合もリモコンの操作は可能です。（ただしどちらも複数台あるどの DVR にも反応します。）
画面右上のアイコンの数値（システム ID）の色が白色の場合、システムはリモコンの数値（DVR-ID）と一致しており、キー入力を受け付けます。
システム ID とリモコンの数値（DVR-ID）が一致していない場合、画面右上のアイコンの数値（システム ID）の色が赤になり、システムはリモコンの数値（DVR-ID）と一致しないため、リモコンのキー入力を受け付けません。（ビープ音が鳴らなくなります。）

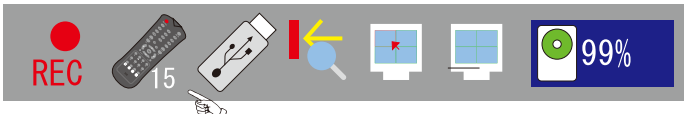
リモコンでシステム ID と一致させる方法（例：本機のシステム ID を「15（例）」に設定した場合）
※以前にリモコンの［DVR-ID］ボタンを設定していても、本機のメニューの中の「システム ID」を「00」以外に変更すると、リモコンの［DVR-ID］ボタンは無効になり、リモコン操作が不可能になります。リモコン操作を可能にするには、下記の①～③を実行します。
①リモコンを本機に向けて、［DVR-ID］ボタンを押します。（短いビープ音が 2 回鳴ります。）
②次に、本機メニューより設定済の「システム ID」と同じ二桁の数字「15（例）」をリモコンボタンで押します。
③これで本機とリモコンの ID が一致しました。
※数字ボタンを間違えて押した場合、画面右上のシステム ID「15（例）」の数字が赤色に変わり、リモコン操作が出来なくなります。
その場合でも、リモコンの［DVR-ID］のボタンは押せるので、もう一度①に戻り、正しいシステム ID「15（例）」を入力してください。



本機に向けて
ここを押します



赤色の数字が表示されている場合、
リモコンの DVR-ID と本機のシステム ID が一致していません。
（この数字は設定済の本機のシステム ID になります。）



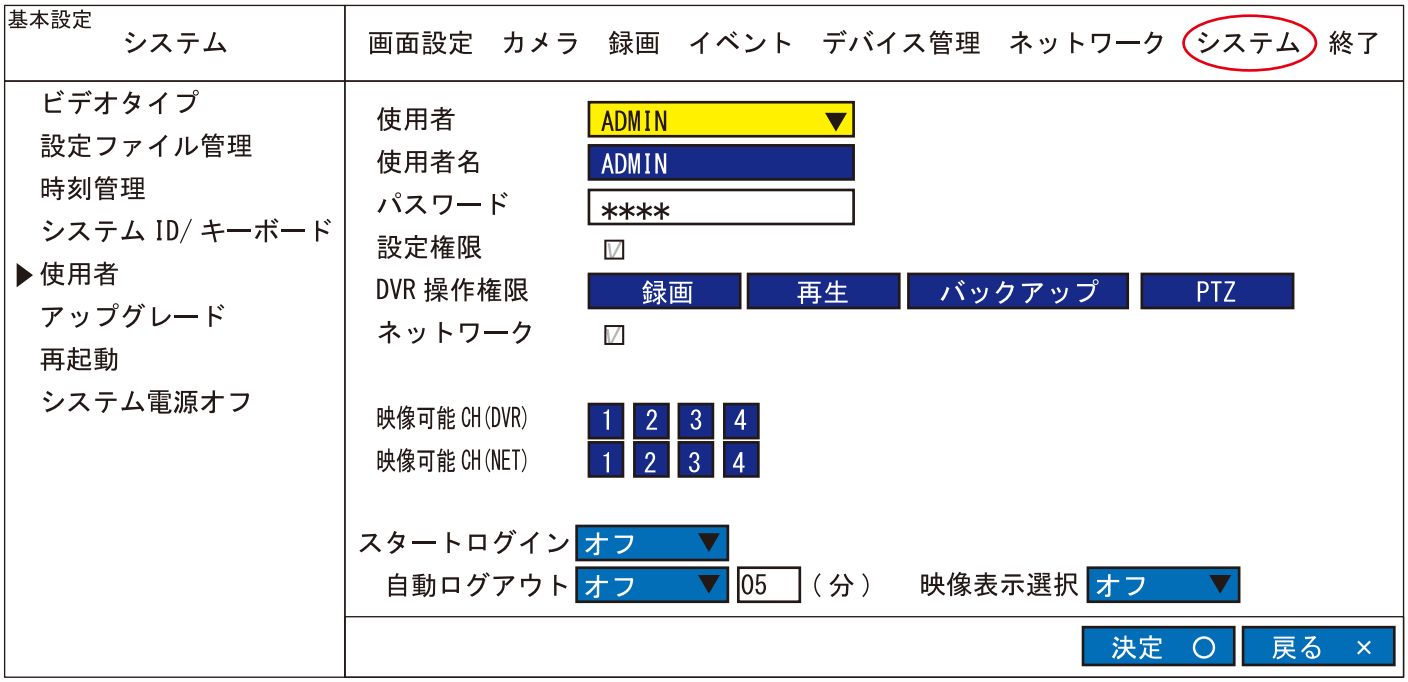
白色の数字が表示されている場合、
リモコンの DVR-ID と本機のシステム ID は一致しています。
（システム ID を設定した直後は、違っていても白色で表示されます。）

複数の DVR を 1 台のリモコンで操作する場合、各 DVR に違う ID を付け、その DVR を操作する時に
リモコンの「DVR-ID」ボタンを押した後、その DVR の ID（数字）を押します。
また別の DVR を操作する時は、もう一度リモコンの「DVR-ID」ボタンを押した後に、別の DVR の ID
（数字）を押します。

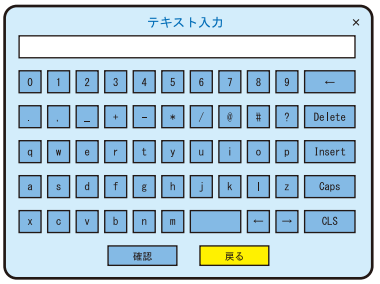
5.1.7. システム

5.1.7.5. 使用者

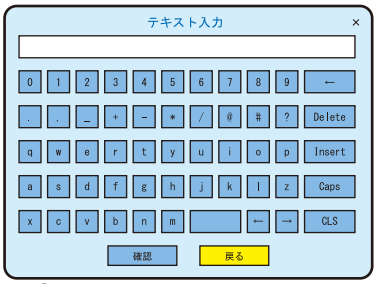
2 つの固定ユーザー [ADMIN/NETUSER] があります。これらの名前とアクセス権限を変更することはできません。
さらに 20 ユーザーまで作成し、各ユーザーに異なるアクセス権限を与えることができます。



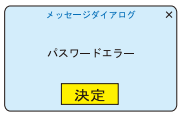
使　　用　　者 ： ADMIN、NETUSER、USER1、USER2、USER3 ～ USER20 より選択できます。
使　用　者　名 ： USER1 ～ USER20 は、使用者の名前を仮想キーボードで付けることができます。
パ　ス　ワ　ー　ド ： 各使用者の初期パスワードは「0000」に設定されています。新しい使用者を作成する時は、固定ユーザーも「0000」以外の新しいパスワードを作成しなければ、固定ユーザーの権限は保てません。パスワードは 1 桁～ 8 桁まで設定できます。
(P2をご参照ください)
※忘れてしまった場合はログインできなくなりますので、必ず控えてください。
※NETUSER を選択した場合「0000」では使用できません。パスワードを新規登録してください。



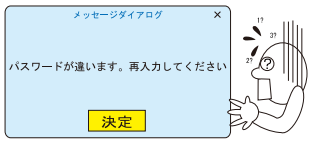
①パスワードにする英数字を入力して［決定 / 確認］。



②同じ数字を入力して［決定］。
パスワードが変更されました。



①と②の数字が違う場合は、上記メッセージが表示されます。最初からやり直してください。



※パスワードを間違えた場合、ログイン画面にて上記の様に表示されます。
※完全に忘れた場合は、ご購入先にご相談ください。

設　　定　　権　　限 ： 基本設定メニューの設定権限のある使用者のみチェックを入れます。
DVR 操　作　権　限 ： 「録画」、「再生」、「バックアップ」、「PTZ」の中で、固定ユーザー以外の使用者に操作権限のあるものを選択します。

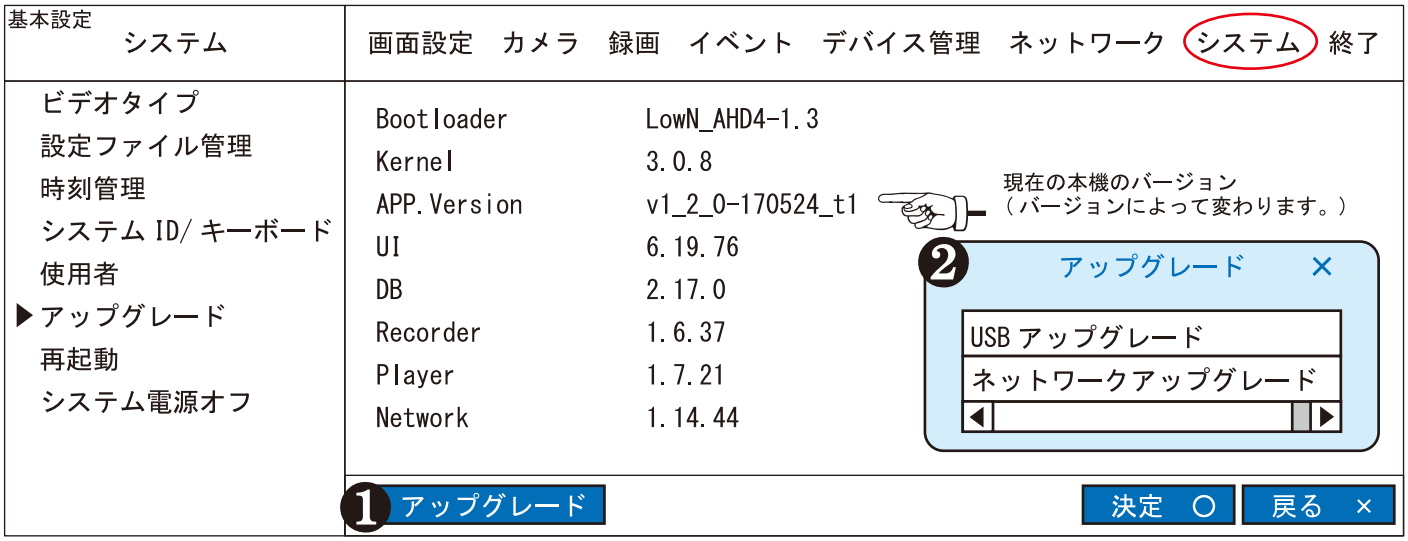
ネ　ッ　ト　ワ　ー　ク ： ネットワーク（ネットクライアント、モバイルなど）を介して本機にアクセスする権限のある使用者のみチェックを入れます。
映 像 可 能 CH(DVR) ：
映 像 可 能 CH(NET) ： } 各使用者に特定のチャンネルを見ることができる権限を設定できます。（モニター「オン」時のみ設定可能）

スタートログイン ： 「オン」必ずログインが必要です。（パスワードを忘れた場合は操作できません。）
「オフ」本機の電源を入れた直後のスタート時は、ログインが不要になります。
自 動 ロ グ ア ウ ト ： 「オン」自動で (01 ～ 99) 分後にログアウトするように設定します。※スタートログインも必ずオンに設定してください。
「オフ」自動ログアウトをしません。
映 像 表 示 選 択 ： 「オフ」常にカメラの映像を表示します。
「オン」「DVR COVERT CH」、「NET.COVERT CH」の設定ができるようになります。
※ログアウト中は、モニター表示をしません。(SPOT の設定などによっては、画面が真っ黒になる場合があります。)

5.1.7. システム

5.1.7.6. アップグレード

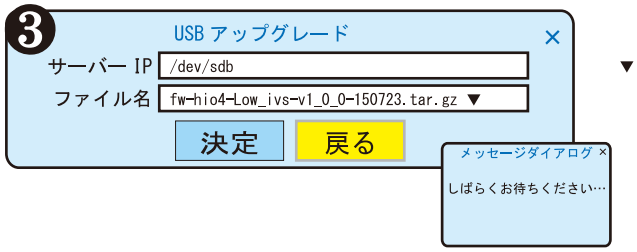
ソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。そしてファームウェアをアップグレードすることができます。（設定はそのまま、変わりません。）



〈アップグレード〉

USB アップグレード

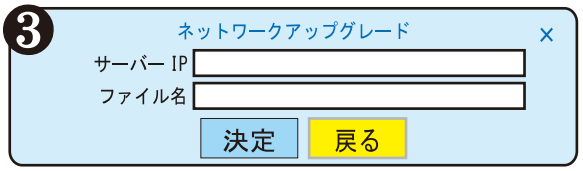
①USB メモリスティックに提供されたファームウェアのファイルをコピーしてください。
②USB ポートにファームウェアをコピーした USB メモリを挿入してください。
③❶の「アップグレード」を選択します。
④❷より「USB アップグレード」を選択します。
⑤❸が表示されるので、ファイル名より最新のファイルを選択し「決定」します。※「戻る」で 1 つ前に戻ります。



⑥アップグレードは数分かかる場合があります。アップグレードが終了すると、本機は自動的に再起動します。

ネットワークアップグレード

①❶の「アップグレード」を選択します。
②❷より「ネットワークアップグレード」を選択します。
③❸のサーバーの IP アドレスとファイル名が正しいかを確認してください。情報が間違っている場合は、仮想キーボードを使用して、正しい IP アドレスとファイル名を入力し「決定」てください。



④アップグレードは数分かかる場合があります。アップグレードが終了すると、本機は自動的に再起動します。

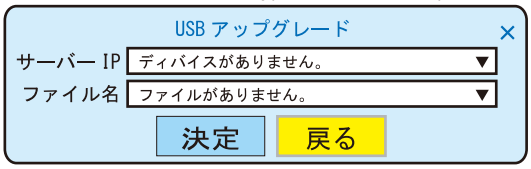
〈アップグレードの流れ〉

※アップグレードは、しばらく時間がかかります。
ブザー音とともに立ち上がり、ログイン画面が表示されます。
（下図はイメージ図です。）

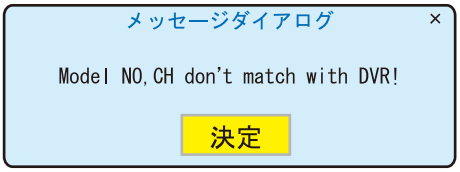
※
この後ライブ映像や、黒い画面などが、しばらく表示されますが、そのままお待ちください。

※絶対に USB を抜かないでください。
※絶対に電源を切らないでください。

※USB メモリが正しく挿入されていない場合



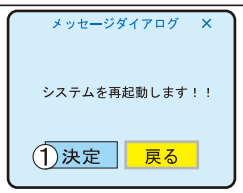
※アップグレードのファイル名が違う場合



上図のメッセージが表示された場合は、
アップグレードデータをご確認ください。

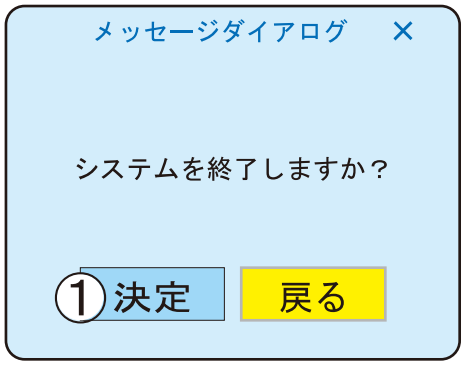
5.1.7. システム

5.1.7.7. 再起動　　再起動をします。

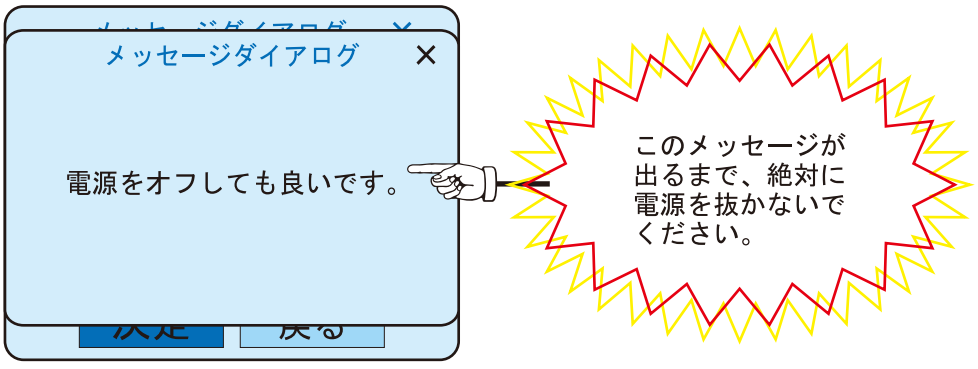
基本設定 システム	画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了
ビデオタイプ 設定ファイル管理 時刻管理 システム ID/ キーボード 使用者 アップグレード ▶再起動 システム電源オフ	 「再起動」にカーソルを移動し、ENTER ボタンを押すと、「システムを再起動します！！」のメッセージが表示されます。再起動する場合は、決定（確認）を選択し、ENTER ボタンを押します。 再起動が始まります。しばらくお待ちください。 決定　○　戻る　×

5.1.7.8. システム電源オフ

本機の電源を切ることができます。

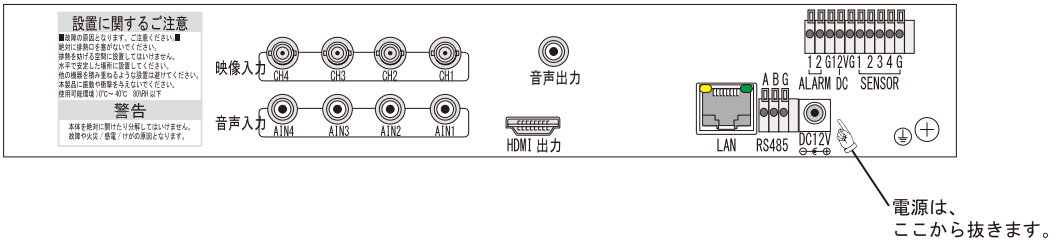
基本設定 システム	画面設定　カメラ　録画　イベント　デバイス管理　ネットワーク　システム　終了
ビデオタイプ 設定ファイル管理 時刻管理 システム ID/ キーボード 使用者 アップグレード 再起動 ▶システム電源オフ	 注意） 一度「システムを終了しますか？」の時に「決定」せず「戻る」を選択すると、次に「システム電源 OFF」を選択しても左図は表示されません。この場合は一旦縦軸の別の項目（例えば「アップグレード」等）を選択した後、もう一度縦軸の「システム電源 OFF」を選択してください。 ①決定します。 決定　○　戻る　×

▼



②上記のメッセージが表示されたら、本機裏側より、電源ケーブルを抜いてください。

▼



③次にコンセントから AC アダプターを抜いてください。
これで本体を移動することができます。

※再び電源を入れなければ「リモコン / マウス」操作はできません。

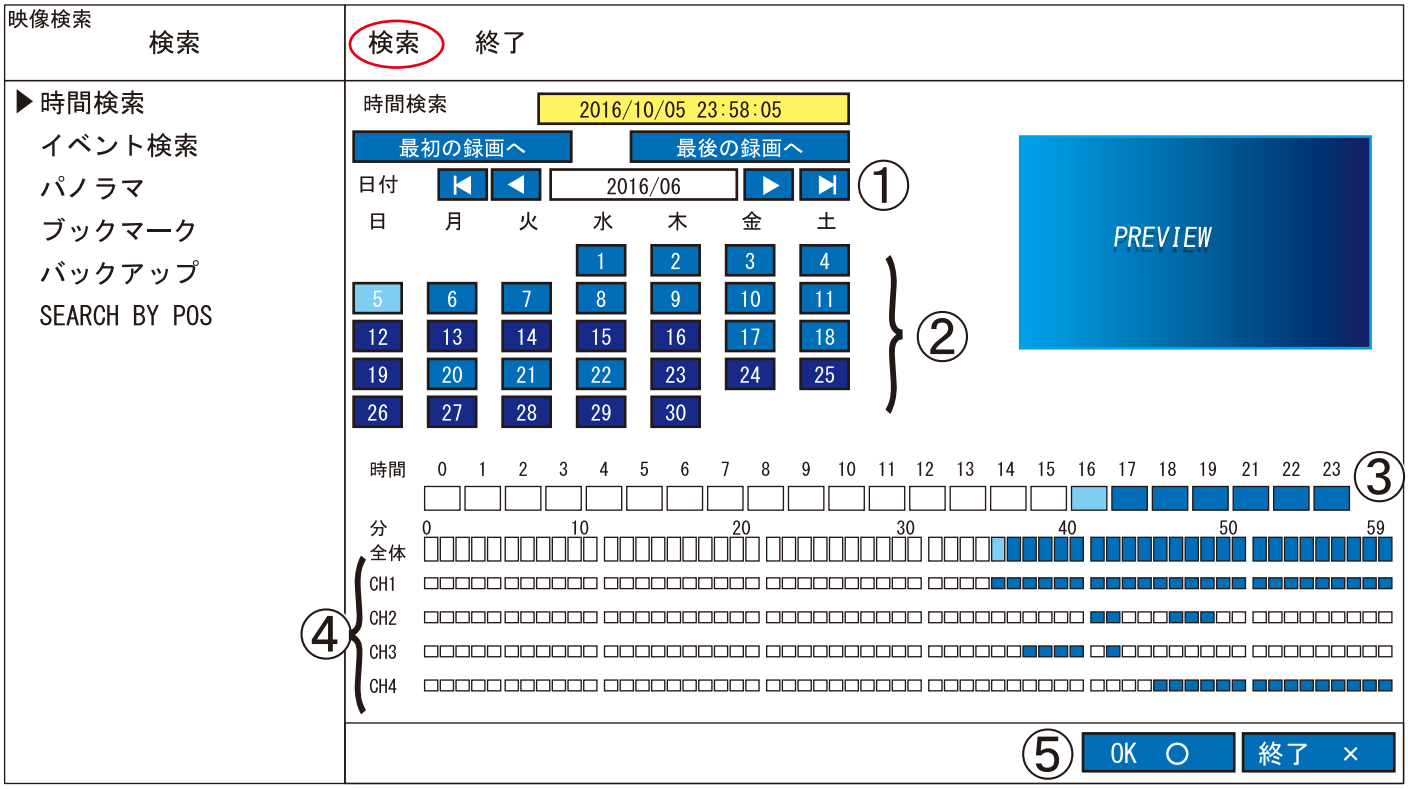
5.2. 映像検索

カレンダー / 時間バーを使用した時間による検索および、イベントログを使用したイベント検索ができます。
リモコンの「Search」ボタンでも表示できます。

5.2.1. 検索

5.2.1.1. 時間検索

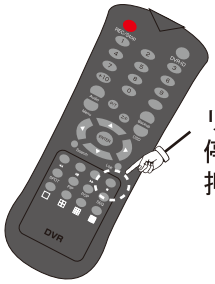
再生したい「年月日時分」「CH」を選択して再生します。



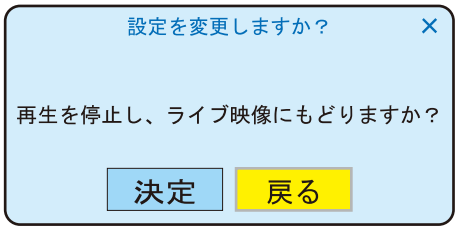
〈再生手順〉 ※青色が再生可能な「年月日時分」になります。黄色はカーソルの位置を示します。

①カレンダーより再生したい「年月」を選択します。(現在でよろしければ②へ進みます。)
　表示中の「年月」より過去に戻る場合は、「◁」を選択します。未来へ進む場合は、「▷」を選択します。
　選択中の記号が黄色になったところで、リモコンの [ENTER] を押すと「年月」が変わります。
　※「 I◁」を選択した場合は、最古の日付へ飛び、「▷I 」を選択した場合は、最新の日付まで飛びます。
②次に日付を選択します。数字が黄色になったところで、リモコンの [ENTER] を押します。(青色が水色に変わります。)
③日付を決定すると、選択中の日付の再生可能「時間」が、水色(その日の最古映像)と青色で表示されます。
　希望の「時間」が黄色になったところで、リモコンの [ENTER] を押します。(青色が水色に変わります。)
④時間を決定すると、選択中の時間の再生可能「分」が、水色(その時間の最古映像)と青色で表示されます。
　希望の「分」が黄色になったところで、リモコンの [ENTER] を押します。
　※「分」の設定は、全チャンネルの再生が可能な「全体」と、単チャンネルの再生が可能な「CH」単位で選択ができます。
　　例えば「CH2」の希望の「分」を選択すると、右上のプレビュー画面で映像を確認することができます。
注) 以前に映像検索をしていると、カーソルの位置が上記説明の通りにはならない場合があります。
⑤「OK　○」を選択し、リモコンの [ENTER] を押します。(「終了　×」を選ぶとライブ映像に戻ります。)
⑥再生映像が表示されます。全体を選択した場合、録画されていない CH 画面は表示されます。
　※静止画面が表示されることもありますが、故障で者ありません。もう一度設定し直してください。
⑦もう一度設定し直す時は、リモコンの [Search] を押します。時間検索画面に戻ります。

〈再生画面をライブ映像に戻すには !?〉



リモコンの [■] 停止ボタンを押してください。

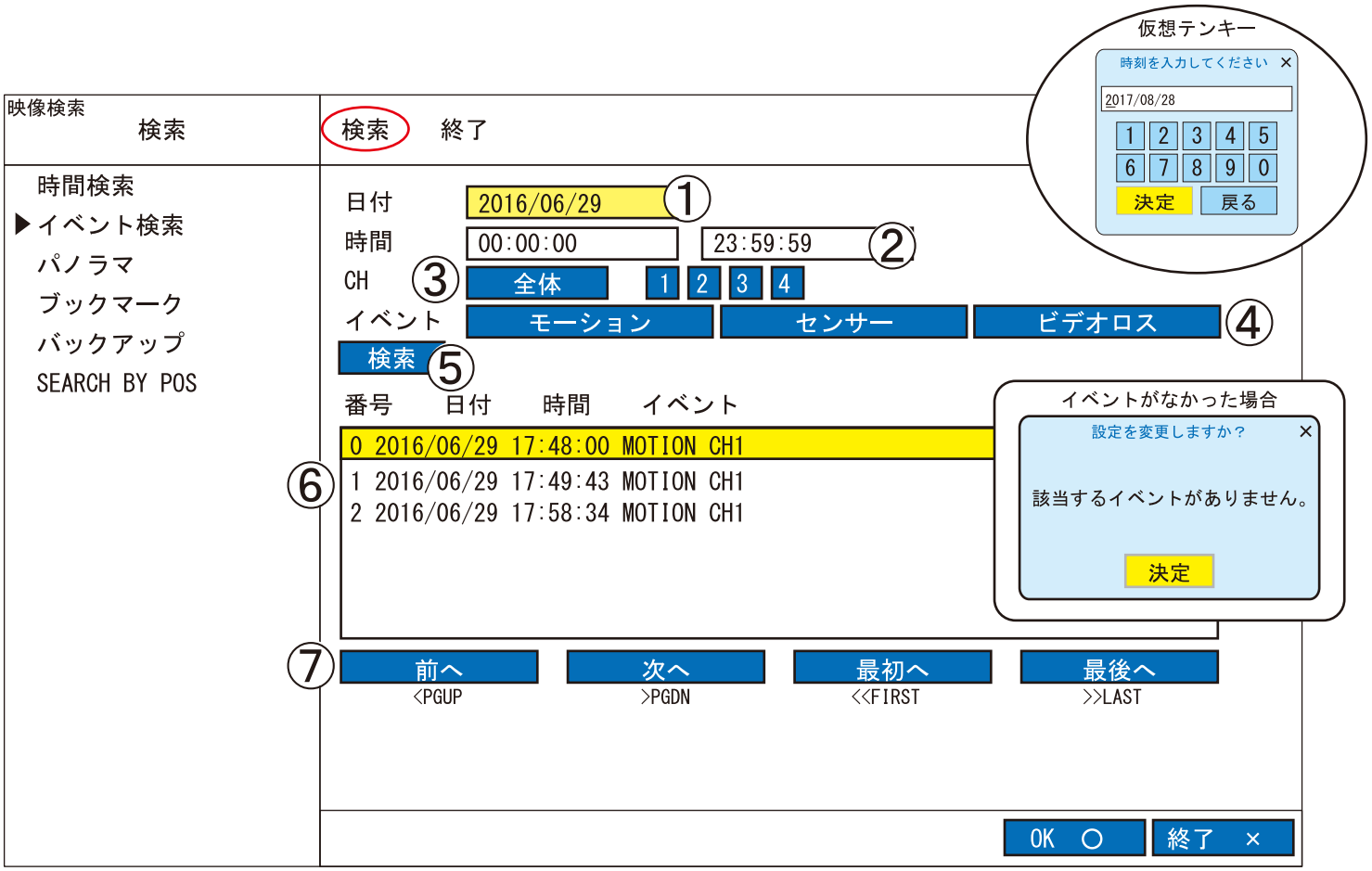


戻る：再生画面に戻ります。
決定：ライブ映像に戻ります。

5.2.1. 検索

5.2.1.2. イベント検索

「モーション録画」、「センサー録画」、「ビデオロス」を一発検索することができます。



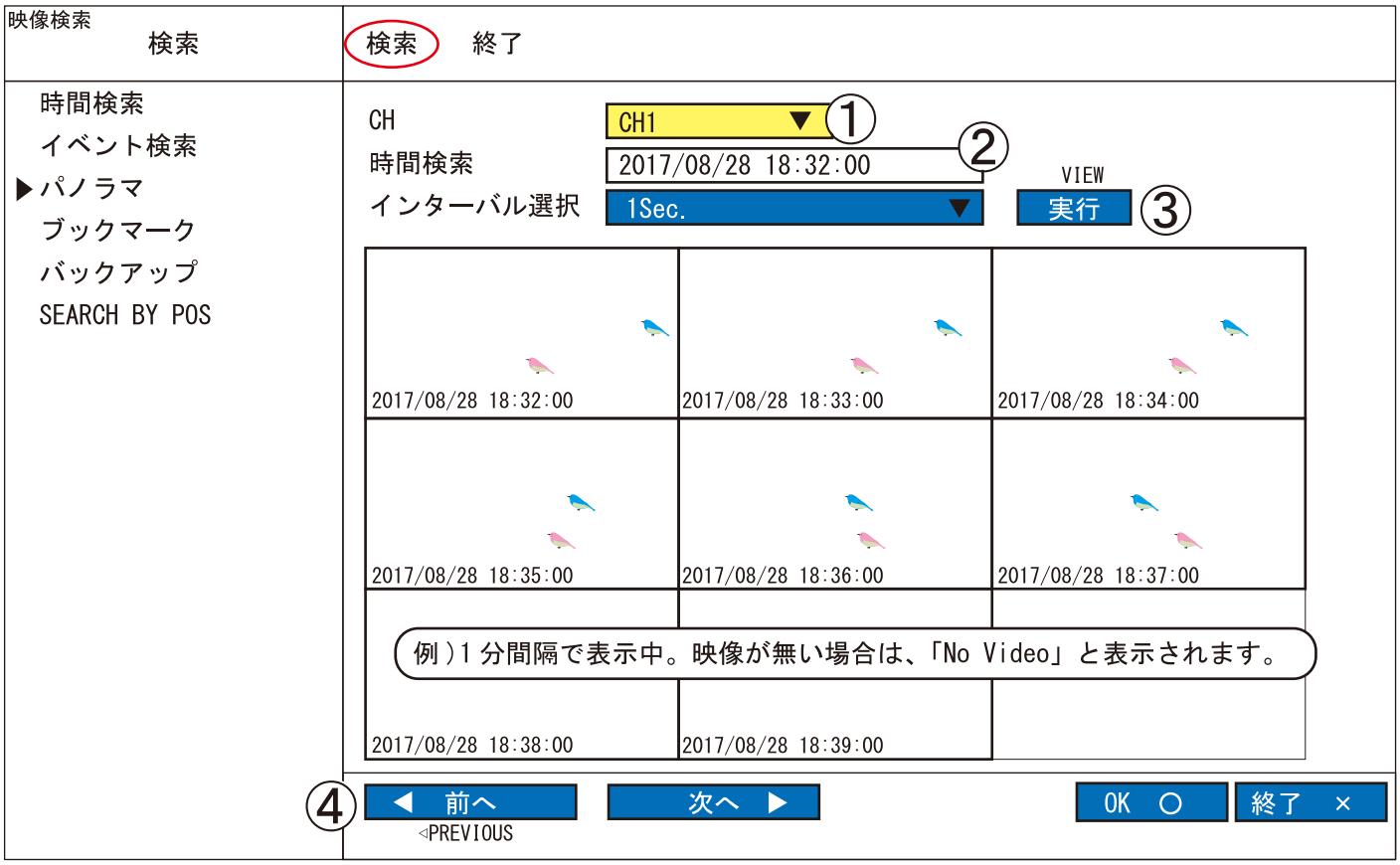
＜イベント検索手順＞　※青色が再生可能な「年月日時分」になります。黄色はカーソルの位置を示します。

①検索したい「日付」を仮想テンキーより入力します。（現状でよろしければ②へ進みます。）
②検索したい「時間」を仮想テンキーより入力します。（現状でよろしければ③へ進みます。）
③検索したい「C H」（カメラ）を「全体」もしくは、「1、2、3、4～」より選択（複数選択可能）します。
（選択後は水色になります。青色でしたら選択されていません。）
④検索したい「イベント」を「モーション、センサー、ビデオロス」より選択（複数選択可能）します。
⑤「検索」で決定します。
⑥白い枠の中に、検索した「日時」「時間」「イベント」「CH」が表示されます。再生したい「日時」(※注)を選び決定すると再生画面になります。
（分割表示か、フルチャンネルかは、「基本設定→画面設定→OSD 表示→基本モード」の設定画面に準じます。）
※注　リモコンの［▸/◂］ボタンでページ送りは可能ですが、リモコンの［▲/▼］ボタンでの上下移動はできません。
「日時」を選択する場合は、マウスをお使いください。
⑦⑥の画面が白い枠いっぱいに検索結果が表示されている場合は、ページ送りができます。
前へ：1つ前のページへ戻ります。
次へ：次のページへ進みます。
最初へ：検索結果の中で、最も古い日時のページへ飛びます。
最後へ：検索結果の中で、最も新しい日時のページへ飛びます。
⑧再生画面の停止方法に従ってライブ映像に戻ります。
※ビデオロス検索で選択し、再生した場合、画面は黒くなります。

5.2.1. 検索

5.2.1.3. パノラマ

一度に 8 枚の画像を 1 秒～ 1 時間単位毎に表示することができ、探す手間が短縮ができます。



＜パノラマ検索手順＞　※黄色はカーソルの位置を示します。

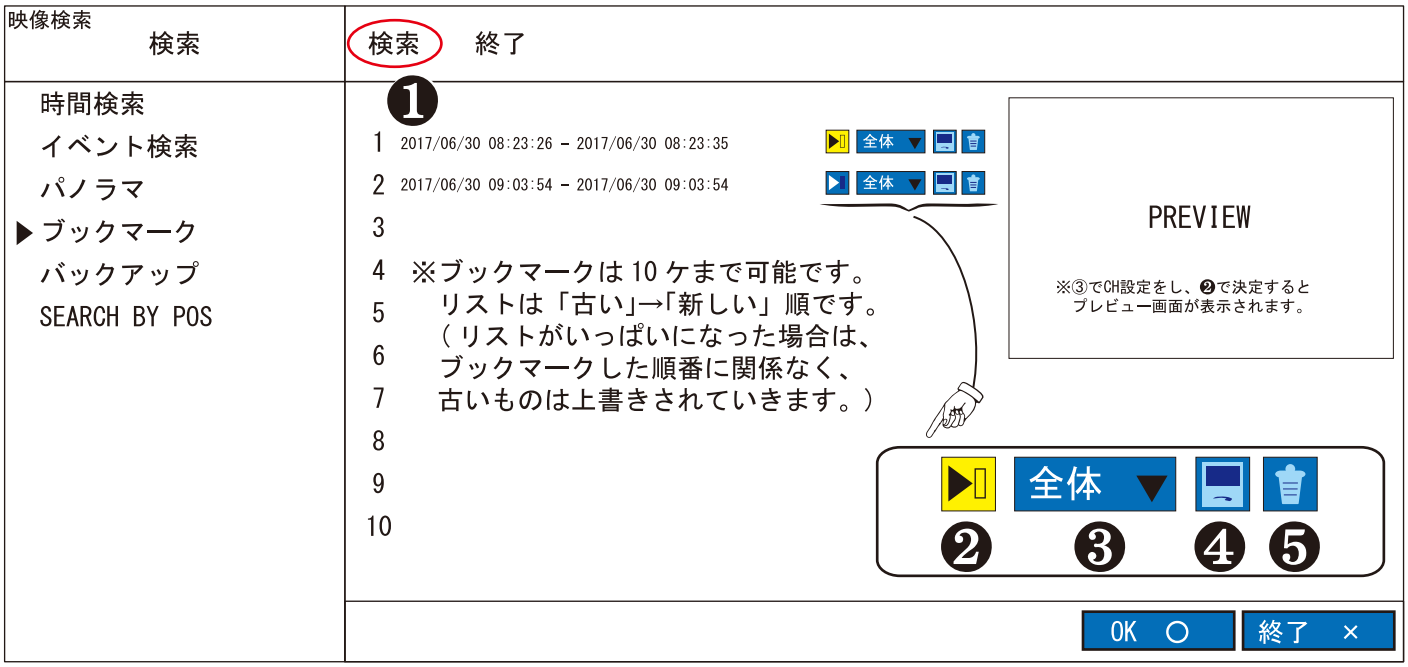
①検索したい「CH」を選択します。（分割表示はできません。）
②検索したい「時間」を仮想テンキーより入力します。（現状でよろしければ③へ進みます。）
③「インターバル選択」より、8 枚の画像を映す時間差を選択し、「実行」します。
「1Sec.」:「 1 秒毎 」の画像が順番に表示されます。
「10Sec.」:「10 秒毎」の画像が順番に表示されます。
「1Min.」:「 1 分毎 」の画像が順番に表示されます。
「10Min.」:「10 分毎 」の画像が順番に表示されます。
「1Hour.」:「1 時間毎」の画像が順番に表示されます。

④「前へ」を選択すると現在表示中の前の画像に変わります。（上図の例の場合、18 時 24 分～ 31 分の画像になります。）
「次へ」を選択すると現在表示中の前の画像に変わります。（次頁は、18 時 40 分～ 47 分の画像になります。）
⑤画像を選択すると白い枠がオレンジの枠に変わり、「OK ○」で決定すると、 その時間が再生されます。
※一番古い画像以外の画像をダブルクリックもしくは、リモコンの [Enter] を 2 回押すと、「しばらくお待ちください…」の後、設定中のインターバルの時間分だけ全ての画像が進みます。
※一番古い画像をダブルクリックもしくは、リモコンの [Enter] を 2 回押すと、「しばらくお待ちください…」の後、設定中のインターバルの時間が一つ前に戻ります。（「1 秒毎」に設定中の場合は、何も変わりません。）

5.2.1. 検索

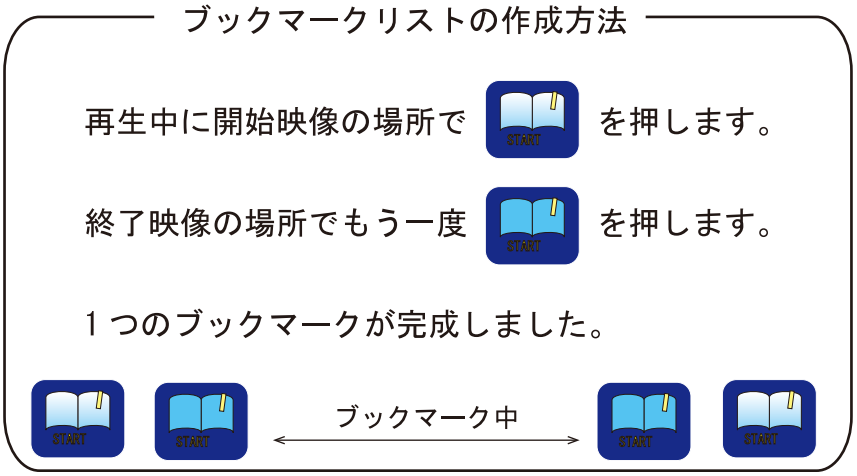
5.2.1.4. ブックマーク

再生中にブックマークした画像のタイトルを表示します。



〈ブックマーク〉　※黄色はカーソルの位置を示します。

①❶のリストより操作したい「日時」を確認します。
②再生する映像のチャンネル、❸をプルダウンして選択します。（単画面でブックマークしても全体表示が可能です。）
③②で、「全体」に設定した場合、❷を選択し決定すると再生画面になります。
　②で、「各 CH」を設定した場合、❷を選択し決定すると、右上にプレビュー画面が表示されます。「OK　○」を選択し決定すると再生します。
④バックアップします。❹のアイコンを選択して水色に変え、「OK　○」を選択し決定すると、「バックアップ」ダイアログボックスに画面に切り替わります。
⑤ブックマークリストから削除します。❺のアイコンを選択して水色に変え、「OK　○」を選択し決定すると削除されます。



5.2.1.5. バックアップ

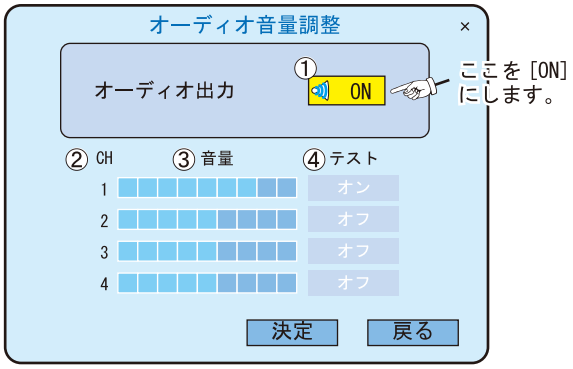
「5.5. バックアップ」を参照ください。

5.2.1.6. SEARCH BY POS

使用しません。

5.3. 音量設定

音量の設定ができます。
※この機能を使用する前に、音声の入出力機器が正しく取り付けられていることをご確認ください。
リモコンの [Audio] ボタンもしくは、メニューアイコンの「音量設定」を選択します。

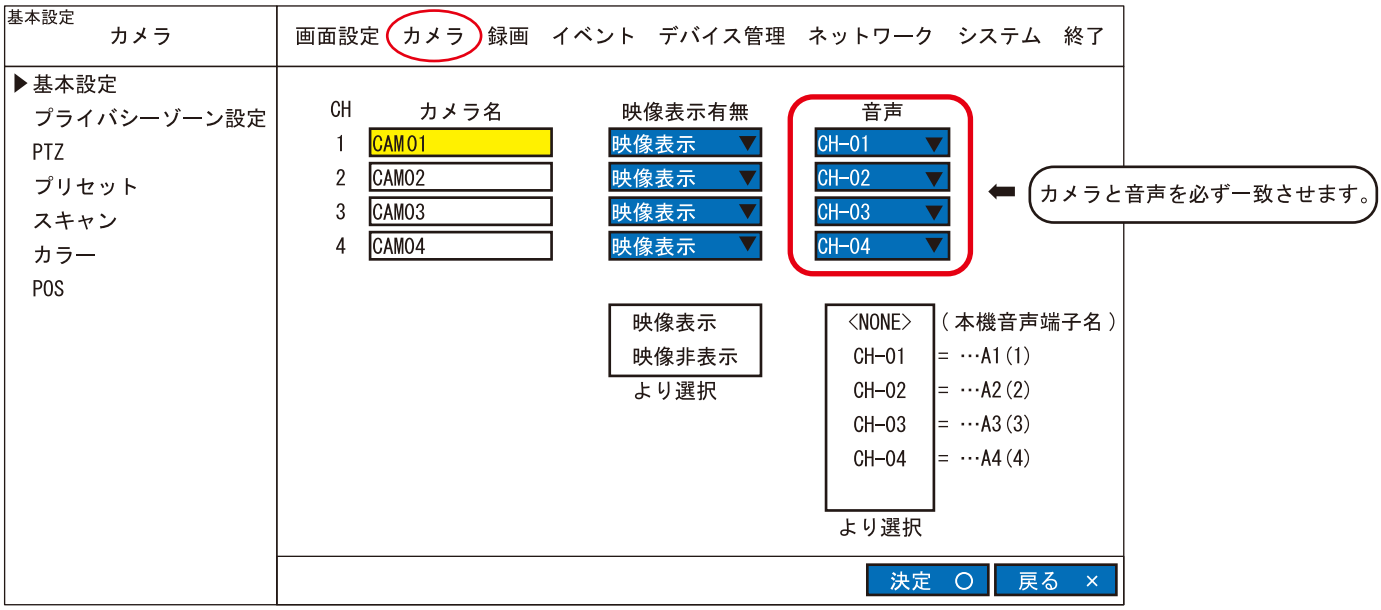


①「ON」にします。
②テストをするチャンネルを決めます。※テストは１台毎になります。
③音量「(小)1～9(大)」より、ボリュームの設定ができます。
（実際の音量設定もこちらになります。最後に「決定」を選択して、
この画面を閉じてください。）
④テストを「オン」にします。音が出ればテスト成功です。

《　実際に音声機能付きカメラや、外部マイクを設定しても音が出ない場合は!!　》

⬇

「5.1.2. カメラ」→「5.1.2.1. 基本設定 (P21)」も合わせて、設定方法をご覧ください。



①音声は単画面でのみ出力されます。音声設定をしているカメラをフルスクリーンにします。

それでも音が出ない時は、
②メニュー画面「基本設定」→「カメラ」→「基本設定」を表示します。
上記の「 例 」の通り、必ずカメラと接続中の音声を一致させてください。

5.4. スポット

本機にこの機能はありません。

5.5. バックアップ (1)

録画されたデータを USB メモリ等に保存することができます。
このページでは、USB メモリへバックアップする手順を説明します。

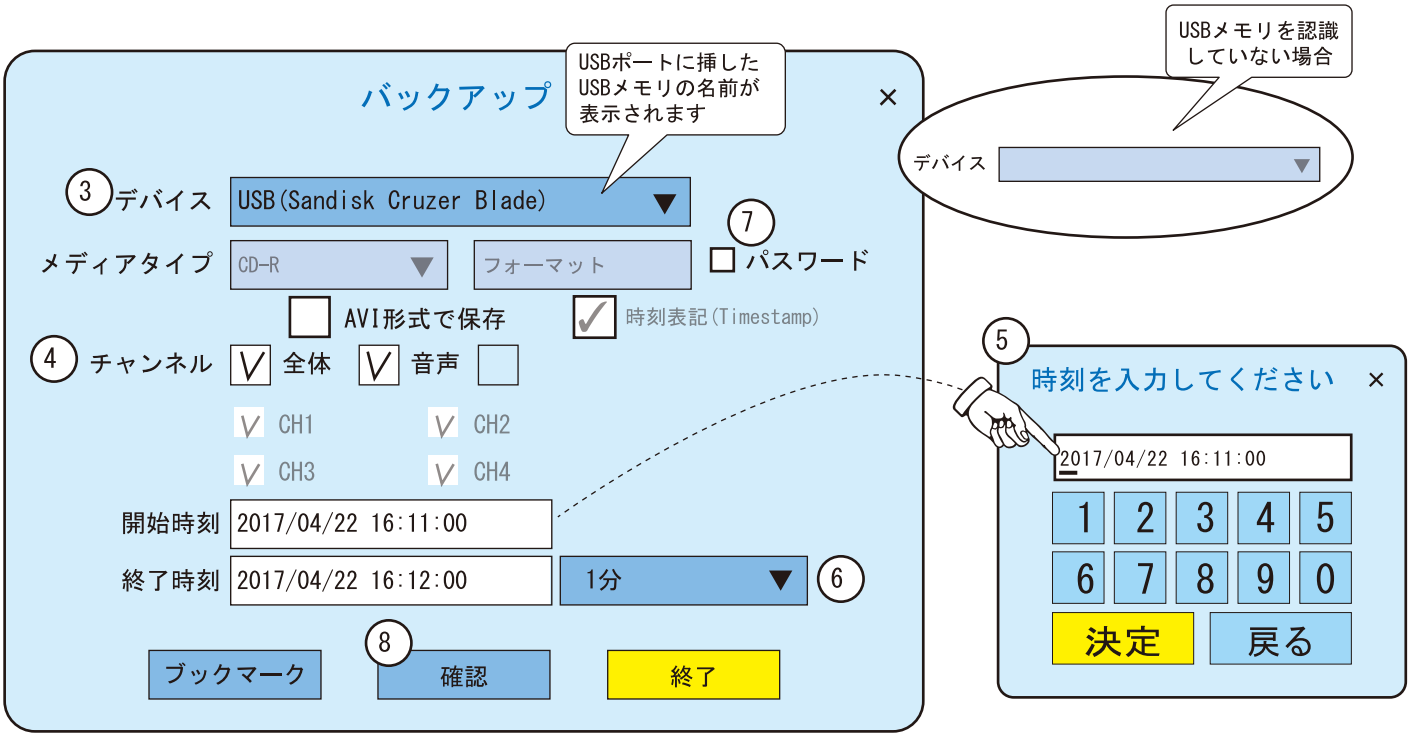
①バックアップ (USB メモリに保存) する前に、下記のことを行ってください。

・再生をして保存したい「日時分」をメモもしくは、「ブックマーク」(5.5 バックアップ (3) 参照) をしてください。

・USB メモリをご用意ください。

・USB ポートに USB メモリを挿してください。

②リモコンの [Backup] ボタンか、メニューアイコンの「バックアップ」か、「映像検索」→「検索」→「バックアップ」を選択すると下記のバックアップダイアログボックスが表示されます。



※機種により表記が異なります。

③デバイスに USB メモリの名前が表示されているかを確認します。表示されない場合は、USB メモリが認識されていないので、パソコンでフォーマットを行ってください。

④チャンネル、音声、AVI 形式での保存などを選択します。

□AVI 形式で保存･･･PS 形式でバックアップされ、閲覧ソフト (Pleyer) が自動的に USB メモリにコピーされます。
時刻も表示されます。

☑AVI 形式で保存　□時刻表示･･･「時刻表記」を選択できるようになります。チャンネルは 1 つのみ選択できます。
(パスワード設定はできません。WindowsMediaPlayer でご覧になった時、パソコンによっては時刻が表示されない場合もありますので、PS 形式でのバックアップをお勧めします。)

⑤開始時間を仮想テンキーを使って入力してください。(リモコンの [▲/▼] ボタンで数字が上下します。リモコンの数字キーでも入力できます。リモコンの [◀/▶] ボタンでカーソルが左右に移動します。)
入力した時間を決定する時は、リモコンの [Enter] を押します。戻る場合は、リモコンの [Menu] を押してください。

⑥「終了時刻」を右側のプルダウンメニュー「1 分～ 60 分」よりリモコンの [Enter] を押して選択します。
60 分以上の場合は、「終了時刻」を開始時刻と同じように、仮想テンキーを使って入力してください。
(長すぎる場合、考え中のまま固まることがあります。)

⑦パスワード設定が必要な場合は、「パスワード」にチェックを入れます。

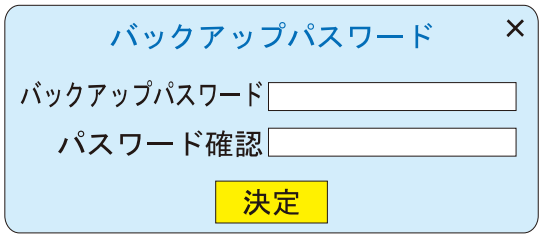
5.5. バックアップ (2)

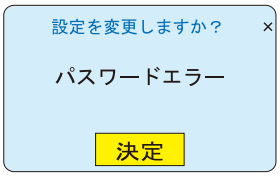
USB メモリへのバックアップ方法の続きと、バックアップした映像を見るためのパスワードを設定します。
(AVI 形式では、パスワード設定ができません。)

⑧「確認」を選択すると、

・「パスワード」にチェックが入っている場合、パスワードを聞いてきます。[図 1]
仮想キーボードやリモコンを利用して、任意の数字を入力し、同じ数字を確認用にもう一度入力し、「決定」します。
(忘れないようにメモをしてください。) ※パスワードは､16 桁まで設定できます。(NS-5041HDS は「4」桁のみ)
パスワードと確認用の数字が一致した場合、バックアップ可能かどうかを本機が計算を始めます。[図 2]

[図 1]

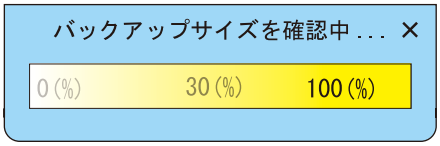




間違えた場合、上図が表示されます。
「決定」で前の画面に戻ってください。

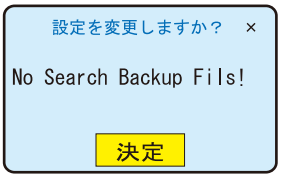
・「パスワード」にチェックが入っていない場合は、バックアップ可能かどうかを本機が計算を始めます。[図 2]
(外付け HDD にバックアップをとる場合等､「決定」や「確認」画面のまま､しばらく考え中になることがあります。)

[図 2]



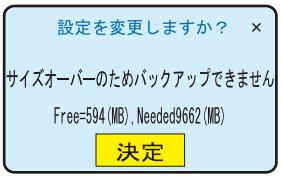
・データがない場合はメッセージ [図 3] が表示されます。もう一度再生して日時を確認してください。

[図 3]



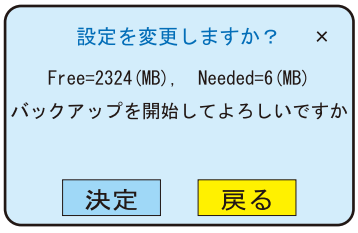
・メモリ不足の場合は [図 4] が表示されます。バックアップ時間を減らしてください。

[図 4]



⑨バックアップ可能な場合は、[図 5] が表示されます。バックアップを開始するために「決定」を選択してください。

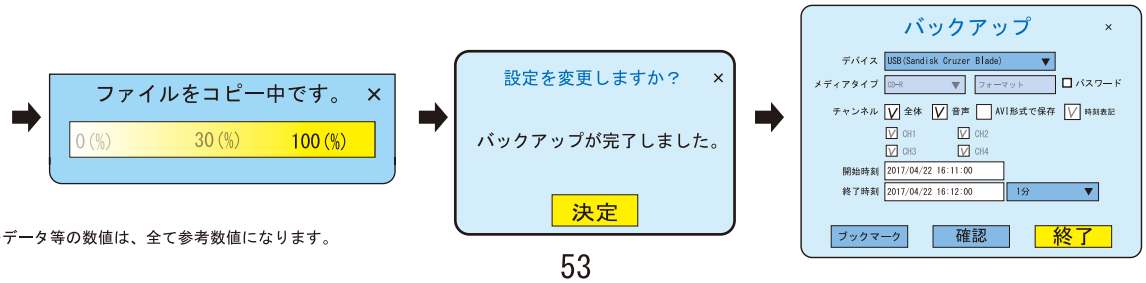
[図 5]



⑩ファイルのコピーを始めます。(バックアップ設定時間や映像、音声によって長時間かかる場合もあります。)

⑪バックアップダイアログボックス [図 6] が表示されましたら「終了」を選んで画面を閉じます。USB を抜いてください。

[図 6]



※この取扱説明書のデータ等の数値は、全て参考数値になります。

5.5. バックアップ (3)

ブックマーク機能の使い方と、USB などにバックアップした場合の、データの確認方法を説明します。

〈ブックマーク機能について〉

ブックマークリストから時間設定不要でバックアップを取ることができます。

❶あらかじめ再生画面よりブックマークをします。（下記「ブックマークリストの作成方法」参照）

❷「映像検索」→「検索」→「ブックマーク」から、ブックマークリストを開きます。

または、[図 7] の「バックアップ」ダイアログボックスの「ブックマーク」を選択し、ブックマークリストを開きます。

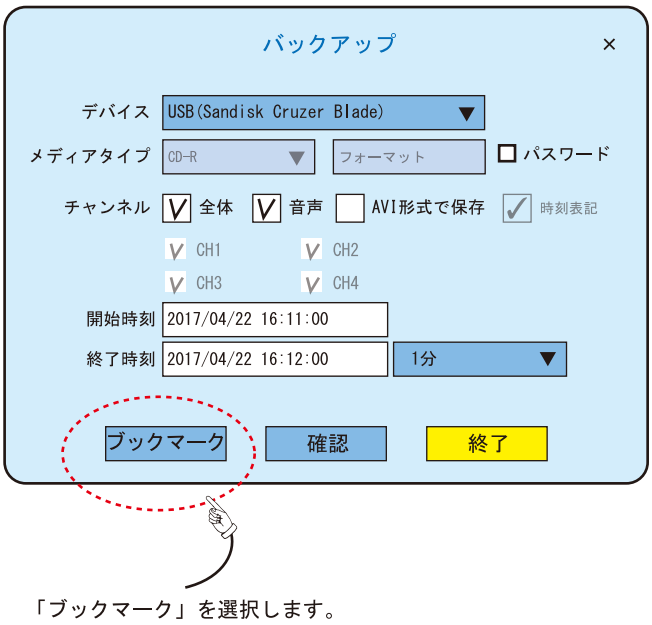
（設定画面は違いますが、操作は同じです。このページでは「バックアップ」ダイアログボックスからの設定方法を説明します。）

❸[図 8] よりバックアップしたいリストナンバーのバックアップアイコンを、リモコンの [Enter] ボタンで水色にします。

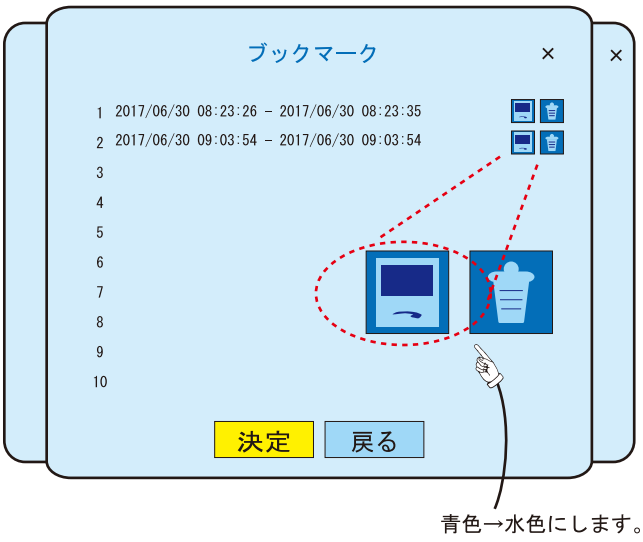
❹「決定」をすると選択したリストより、「バックアップ」ダイアログボックスに「開始時刻」と「終了時刻」が、自動で書き込まれます。（チャンネル選択などは、設定が必要です。）

❺前頁の⑦～⑪を行ってください。

[図 7]



[図 8]



ブックマークリストの作成方法

再生中に開始映像の場所で を押します。

終了映像の場所でもう一度 を押します。

1 つのブックマークが完成しました。

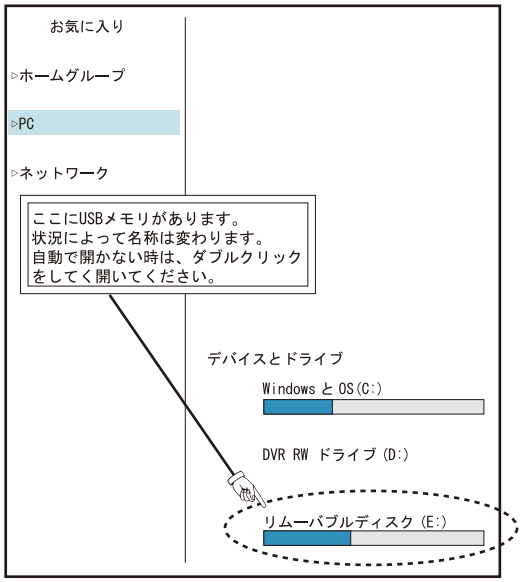
ブックマーク中

5.5. バックアップ (4)

※Windows パソコンのみご覧いただけます。

USBメモリに保存したバックアップデータを、専用ソフトを使ったパソコンでの再生方法を説明します。(その 1)

Windows8.1の場合



❶ お手持ちのパソコンの USB ポートに、本機から取り出したバックアップデータ入の USB メモリを挿入し、USB メモリを開きます。

(自動で開かなく、USB メモリのデータの場所がわからない場合は、パソコンご購入店などにご相談ください。)

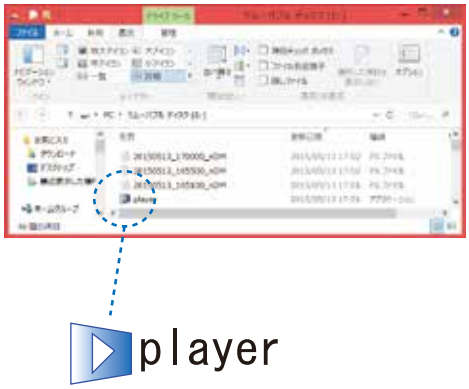
USB メモリを開くと player もしくは、

player

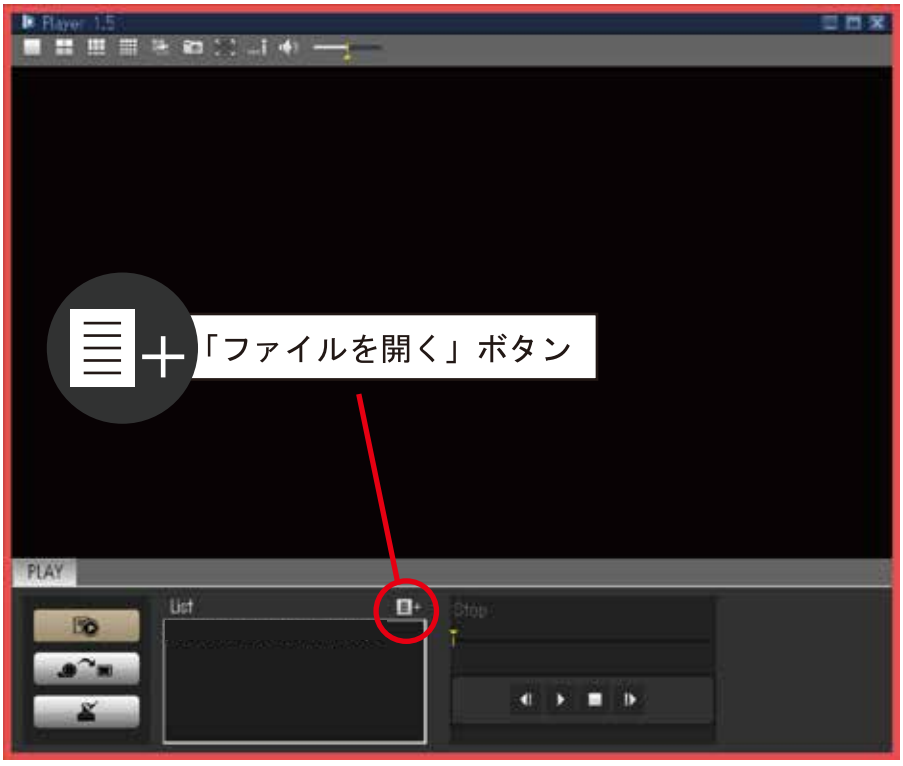
があります。

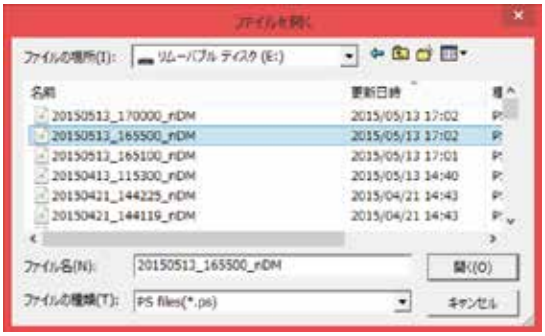
このアイコンをダブルクリックで開いてください。

※外付け HDD でも同様に再生できます。



❷ player の画面がパソコン上に表示されます。
「ファイルを開く」ボタンをクリックします。





※OS やバージョンによって表記に違いがあります。

❸ 左図の「ファイルを開く」という画面が表示されます。
※バックアップのデータ量や時間によって、表示されるファイル数は異なります。(ファイルが 1 つの場合もあります。)
ご覧になりたいファイルをダブルクリックします。

ファイル名について

20160421_144119_nDM

(2016 年 4 月 21 日)
バックアップの開始
年月日を表しています

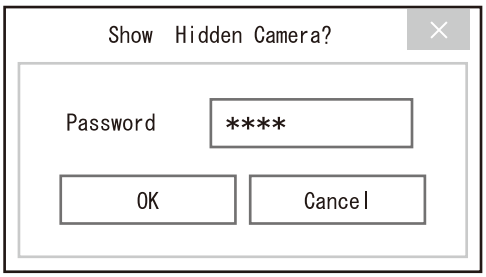
(14 時 41 分 19 秒)
バックアップの開始
時分秒を表しています

5.5. バックアップ (5)

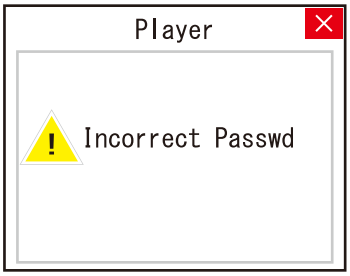
※Windows パソコンのみご覧いただけます。

USBメモリに保存したバックアップデータを、専用ソフトを使ったパソコンでの再生方法を説明します。(その 2)

［図 1］



※パスワードを間違えた場合、下図の画面が表示されます。正しい数値を入力してください。



❹ ファイルを開くと [List] の欄に選択したファイル名が表示されます。

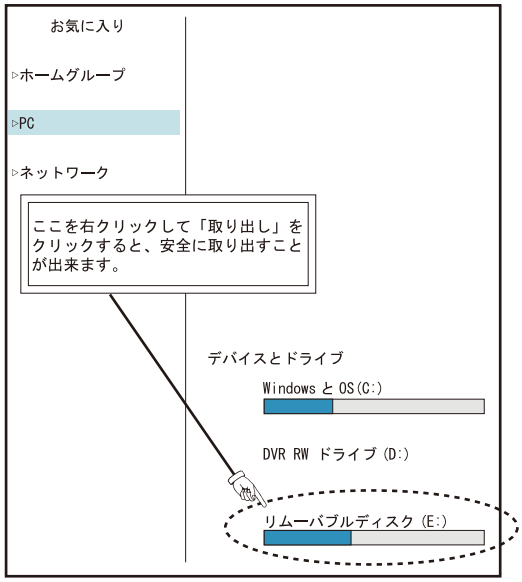
▼

❺ 再生ボタンをクリックしてください。

バックアップ画面でパスワード設定をした場合、ここでパスワードの確認をしてきます。［図 1］

❻ パスワードが一致した場合、バックアップデータの画像が再生されます。
パスワードを設定していない場合、再生ボタンを押しただけで、バックアップデータの画像が再生されます。

Windows8.1の場合　（※USBメモリ）



※OS のバージョンによって表記に違いがあります。

▼

❼ 他のファイルをご覧になるときは、❸に戻って選択してください。

▼

❽ 終了する時は、右上の［ × ］をクリックして閉じてください。

※USB メモリを抜くときは”安全に取り出せます”のメッセージを確認してから抜いてください。

5.6. ログ表示

どのようなイベントが発生したのかを一覧で確認することができます。

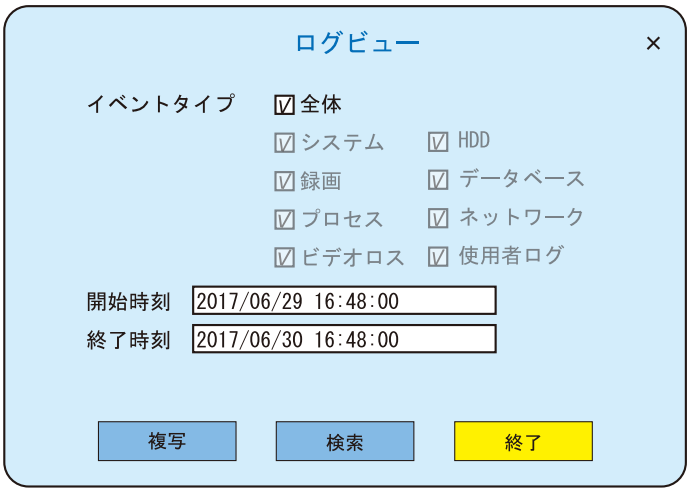
①リモコンの [Log] ボタンを押すか、メニューの「ログ表示」を選択します。

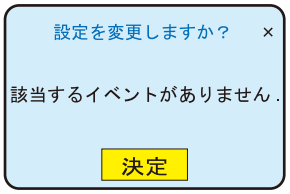
②イベントタイプを「全体」もしくは、「システム / 録画 / プロセス / ビデオロス /HDD/ データベース / ネットワーク / 使用者ログ」より選択（複数選択可）します。

③いつから、いつまでの分を調べるのかを、「開始時刻」と「終了時刻」の設定を仮想テンキーを使って入力します。

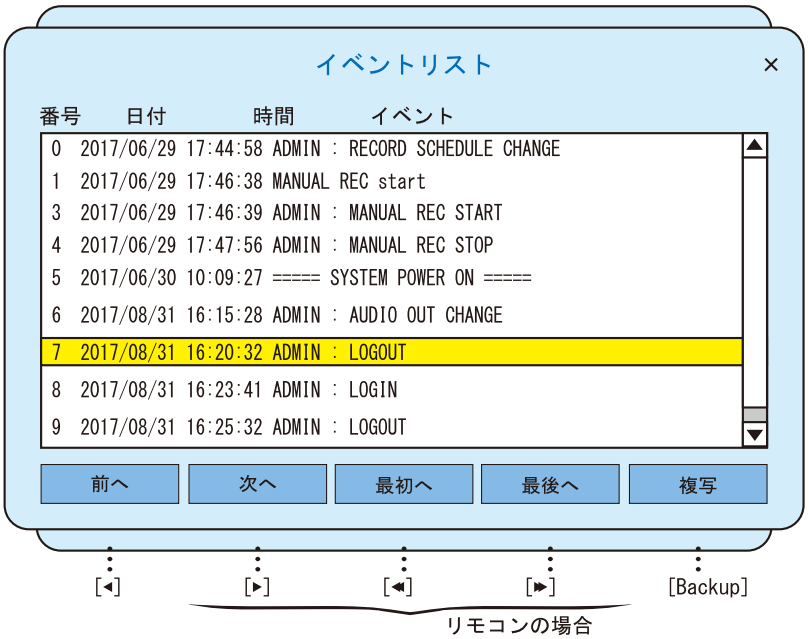
④「検索」を選択し決定すると、イベントが発生している場合のみ「イベントリスト」が表示されます。

※「全体」のチェックを外すと7種類より希望の項目が選択可能になります。





検索をしてもイベントが発生していない場合



リモコンの場合

黄色のカーソルの上でリモコンの[Enter]を押すと、
上図が表示されイベント内容が確認できます。
「×」で閉じても、「決定」で閉じても同じです。

「前へ」：「1ページ前へ」

「次へ」：「次のページへ」

「最初へ」：「最初のイベントへ」

「最後へ」：「最後のイベントへ」

「複写」：「リストのバックアップ」

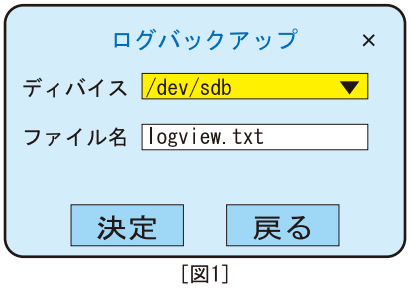
〈ログの情報のバックアップを取る場合〉

❶「複写」を選択します。[図1]の「ログバックアップ」が表示されます。

❷ USBが挿入されていれば「ディバイス」にドライバー名が表示され、挿入されていない場合は、「ディバイスがありません.」と表示されます。

❸「決定」でバックアップを始めます。

❹ [図2]の「Backup Success!!」が表示されれば、バックアップ成功です。「決定」で閉じてください。



[図1]

※ファイル名は仮想キーボードが出て変更可能です。

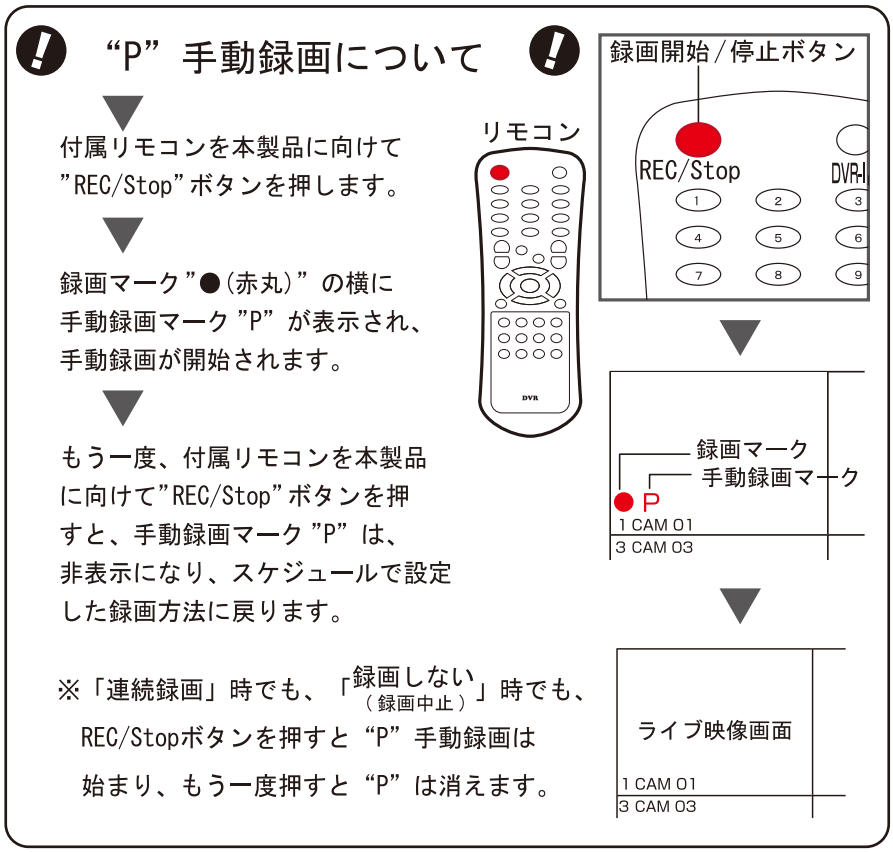
※ログリストはテキストファイル(.txt)でUSBに保存され
パソコンで見ることが可能です。全リストが保存されます。

[図2]

5.7. 録画

手動録画をします。手動録画の場合の録画設定は、イベント録画となります。(P28)
リモコンの [REC/Stop] ボタンか、メニューアイコンの「録画」を選択します。
※スケジュール設定の内容によっては、この機能は使用できません。

画面上に「● P」が表示されます。もう一度押すと消えます。
※連続録画に設定している場合は、すでに「●」が表示され、押す度に「P」が付いたり消えたりします。
※「基本設定」→「録画」→「その他」(P29) にある「PANIC REC」を「オフ」にすると、この機能は無効になり、リモコンのボタンを押しても手動録画はされません。



5.8. OSD 表示切替

手動録画をします。
リモコンの [OSD] ボタンか、メニューアイコンの「OSD 表示切替」を選択します。

メニューの「基本設定」→「画面設定」→「OSD 表示」で設定した OSD の項目を、モニター上で「表示」⇄「非表示」します。

5.9. ログアウト

ログアウトします。
（ログアウトしない設定中の場合も、ログアウトします。）
メニューアイコンの「ログアウト」を選択します。

ログアウト状態では、本機は設定変更の操作などができません。再度ログインするためには、リモコンを押すか、マウスをクリックしてください。
※メニュー「基本設定」→「システム」→「使用者」の、画面下方にあるモニターの設定が「オン」になっている場合、 本機がログアウトした時、全てのチャンネルの画面が黒くなりますが故障ではありません。（ログインでもとに戻ります。）